

コンピュータによる 旧字旧仮名が文書 作成入門 2024改訂版

押井徳馬 著

やちまた Web版（試作版）

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうと見當がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いて
い"た"事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間といふ"もの"を見た。しかもあとで聞くとそれは書生といふ'人間'中で一番寧ろ悪な種族であったさう"だ。

やちまた Web版（試作版）

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうと見當がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いて
ゐ"た"事だけは記憶してゐ"る。吾輩はここで始めて人間といふ'もの'を見た。しかもあとで聞くとそれは書生といふ'人間'中で一番寧ろ悪な種族であったさう"だ。

やちまた Web版（試作版）

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうと見當がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いて
ゐ"た"事だけは記憶してゐ"る。吾輩はここで始めて人間といふ'もの'を見た。しかもあとで聞くとそれは書生といふ'人間'中で一番寧ろ悪な種族であったさう"だ。

漢字・假名遣切替

名遣切替

正字+初四假名遣切替

誤脱除去

リセット

正字(二水迄)

正字(四水迄)

正字(Unicode)

假名

正假名

はなごよみ

新字
新仮名も

新字
旧仮名も

旧字
旧仮名も

コンピュータによる
旧字旧かな文書作成入門
2024 改訂版

押井 徳馬

(國語問題協議會常任理事)

発行 はなごよみ

目 次

「旧字」「旧かな」は減びたはずでは？	3
そもそも「旧字」「旧かな」とは？	5
死んだ表記？ 生きた表記？	13
明治～昭和の旧字旧かな文書	14
文字コードについて	20
必要なソフト	23
Mozc for Classical Kana Spelling	25
ATOK の文語モード	26
Google 日本語入力	29
Microsoft IME	32
iPhone 用旧仮名キーボード	36
スマートフォンの手書き入力	37
ATOK for iOS	38
「まるやるま君」でテキスト一括変換	41
「正字君」でテキスト一括変換	42
「やちまた」で双表記テキストを作成	43
本文書体には旧字フォントを	47
一太郎での旧字入力	48
Word での旧字入力	50
Adobe アプリでの旧字入力	51
Glyphconv での字体整理	53
T _E X	56
フォント埋込とライセンス	60
最大の難関は「大人の事情」	61
旧字旧かな原稿の入稿と校正	64
旧字旧かな文書作成の未来は？	70
附録：国語表記の歴史を振り返る	73
附録：InDesign スクリプトについて	84
附録：「契沖」「Japanist」「EDICOLOR」	87
附録：文書サンプル	102
参考文献	108

「旧字」「旧かな」は滅びたはずでは？

「現代は新字新かなで文章を書く事になっている。言葉はコミュニケーションの道具なんだから、みんなが読めない旧字旧かなで書くなて、相手に読ませる気のない独り善がりだ」

こんな風に思った事はありませんか。しかし、今でも文書を「旧字」や「旧仮名遣」で作りたいといふ需要は根強く存在します。

1. 国語改革以前に書かれた文章を原文のまま引用・出版するため
→過去の資産を残す
2. 戦前の文章を真似てレトロ感を出す等、懐古趣味として
→昔の人々を演じたり、昔の文化の影響を受けた作品を作る
3. 俳句や短歌をはじめとした、伝統的な芸術表現として
4. 敢えて国語改革に従はない表記を選択したいといふ信念として
→昔の言葉としてではなく、現代の言葉として活用する

現代はアマチュアがコンピュータを使用して文書を作成し、印刷を行ふやうになりましたが、残念ながら、戦後の国語改革以後に登場したコンピュータでは、新字新かなで文章を作成する事が当たり前の設計となつてをり、旧かなや、ましてや旧字となると、少々ハードルが高いものです。

たとへば、こんなお悩みはありませんか。

大学で卒業論文などを書く時に、旧字で書かれた文献を書き写すが、文字コード表から漢字を一文字一文字探しながら苦労して入力。

俳句や短歌の同人誌を作る時に、歴史的仮名遣と現代仮名遣いとで異なる部分がうまく変換されないので、毎回消して書き直し。

戦前の書籍の復刻や、レトロな旧字旧かなによる作品を制作する時、新字を一つ一つ手作業で旧字に直したり、それでも新字体が残つたり。

そんな中、「コンピュータで旧字旧かなを扱いたい」といふ情熱を持った人々は、Windows パソコン普及以前の昔からみて、その為に役立つ様々なソフトやツールが作成されてきました。また、技術の進歩もあつて、現代は個人で旧字旧かなの本を作成するのも決して夢物語ではなくなってきました。

旧字旧かなの文書は作れます——あなたのコンピュータで。

私は旧字旧かなによる同人誌を定期的に発行するサークル「はなごよみ」を主宰してゐます。また、同じく旧字旧かなによる國語問題協議会の機関誌『國語國字』の組版も、令和元年（2019 年）以降、前任者から引き継いで担当してゐます。一般的な誤解と異なり、旧字旧かなで現代の言葉を書く人の多くは、その知識を自分達だけで独占するのが本当は大嫌ひです。むしろ、興味ある一人でも多くの方が旧字旧かなによる文書の読み書きに慣れて欲しい、コンピュータで旧字旧かな文書を作成するのなら、そのノウハウをお分けしたい、と思つてゐます。

本書はそのやうな冊子を制作した経験も交へながら、コンピュータで旧字旧かな文書を作成する方法を少しづつ紹介していきます。もちろん、「旧字旧かな専用のコンピュータにする」といふ意味ではありません。当たり前の事ですが、今まで通り新字新かなを使へて、必要なら旧字旧かなも使へる「共存環境」ですので、ご安心ください。

国語の「正しさ」は「許容範囲のある正しさ」

数学には正解が一つしかない事が多いものですが、国語には複数の正解が許される事がよくあります。「十分」「充分」や「行つた」「行なつた」のどちらで書いてもいい、頬を「ホオ」「ホホ」のどちらで読んでもいい、の類です。「木」の字の縦棒をはねてもはねなくても、「天」の横棒のどちらを長く書いても、許容範囲内ですが、「干」を「于」と書いたり「未」を「末」と書くと許容範囲から外れて別の字になります。

「旧字旧かなは堅苦しくて厳しい決まりがあるのでは」と思つて始めてみると、そのうち、新字や新かなに比べて許容範囲が広い事に戸惑ふものです。「節」「節」のどちらかが正しいのではなく、どちらでも良い、といった具合です。これを「多様性」と見る人もあれば「不統一」と見る人もゐるでせうが、「許容範囲のある正しさ」に是非慣れてください。

そもそも「旧字」「旧かな」とは？

「昔は歴史的仮名遣で書いたり、漢字も現在と異なる『旧漢字』で書いた」事をご存知の方も多いでせう。ここでクイズです。その様な表記から、私達の普段使用する「現代仮名遣」や「新漢字」に変わったのはいつの事で、誰が変へたのでせうか。

- ① 江戸時代の終盤に、昔の日本語の姿を研究した国学者により
- ② 明治時代の「言文一致運動」で口語体を作り上げた文豪により
- ③ 第二次世界大戦終了後、日本政府により

「教科書に載る明治の文豪の作品は現代仮名遣いなので」と②を選んだ方、実は不正解です。現代は明治の文豪の作品も現代仮名遣いに「直されて」教科書や文庫本に載りますが、元々は「旧漢字」や「歴史的仮名遣」で書かれました。

正解は③です。終戦翌年の1946年に「現代かなづかい」（現在の「現代仮名遣い」に相当）と、使用可能な漢字の数を制限する「当用漢字表」（現代の「常用漢字表」に相当）が内閣から告示され、1949年には「当用漢字字体表」により漢字の簡略字体が採用されました。その他にも国語の決まりがいろいろ変わったのですが、これを「国語改革」と呼びます。

これらの新しい国語の決まりに従はないからといつて、罰則はありません。今もありません。従来の国語の決まりを根本から大きく変更した改革で、不満を持つ人も多く、従来の表記のまま書き続けたり本を出版したりした「抵抗勢力」も、当初は今と比べ物にならない位に大勢居ました。

しかし、学校ではもう新しい漢字に新しい仮名遣での教育が始まり、新社会人は「従来の表記は読み辛い、書き慣れてない」といふ時代がやつて来ました。政府や自治体の出す印刷物だけでなく、新聞も雑誌も次第に新しい表記に切り替へていき、印刷所の活字も急速に新漢字への切替が進んで、旧漢字での印刷がだんだん難しくなつていきました。1950年代後半には、大半の出版物が新漢字・現代かなづかいに置き換はる程、それはそれは急激な改革でした。

しかし現代はコンピュータが普及し、印刷所に頼らずとも個人で綺麗なフォントを使つた文書を昔より安価に作つたり、印刷すらせずにインターネットに文書を書き載せられる時代になりました。個人でも思ひ立つたら、国語改革以前の表記を

使つて情報発信や表現活動を行ふ事が断然楽になつたのです。

ところで、「旧仮名遣と歴史的仮名遣つて同じもの？」等と疑問に思ふ人もあるでせう。こちら辺で整理しておきます。

旧仮名遣・旧仮名・歴史的仮名遣・正仮名遣・正仮名

新仮名遣・新仮名・現代かなづかい・現代仮名遣い

「仮名遣」とは、厳密には、「い・ひ・ゐ、え・へ・ゑ、お・ほ・を、など、同じ音に対する仮名の書き分け」の意味です。

現代かなづかい以前の表記では、簡単に説明すると「古代の書き方をお手本にして仮名を使ひ分ける」方式を採用し、皆さんご存知の様に、その「古代の書き方」とは古代の発音に従つた書き方だつたのですが、発音が変化した後も、ご先祖達は書き方の決まりを今の発音通りに変更する必要性までは感じてみませんでした。細かな決まりで流派はあれども、「昔の書き方に倣ふ」といふ大筋だけは一貫してみました。

これは「日本語だけ後れた書き方の決まりを採用してゐた」といふ意味ではなく、英語をはじめ表音文字で書く多くの外国語で、「発音よりも意味を優先する」方式を採つてゐます。一見難しく見えますが、たとへば nation と national、Canada と Canadian など、発音は異なつても同じ語源だとすぐにわかる利点もあります。日本語でも、「稲妻」を現代仮名遣いでは「いなづま」と書きますが、「いなづま」と書いた方が「いね」＋「つま」の関係がわかりやすくなります。

現代かなづかいより前からある仮名遣をまとめて「旧仮名（遣）」と呼びます。「歴史的仮名遣」「正仮名（遣）」は、まるで同義語の様に使はれる事が多いのですが、厳密な区別としては、「旧仮名遣の中の一つの流派」です。最初に仮名遣の決まりを文章にまとめたのが、小倉百人一首の選者としても有名な藤原定家（そしてこの仮名遣を「定家仮名遣」と呼ぶ）ですが、江戸時代に契沖が過去の文献の研究により、定家のまとめた仮名遣の細かな部分を修正し（「契沖仮名遣」、現代では「歴史的仮名遣」とか「正仮名（遣）」と呼ばれてゐます。私達が普段接する事の多い旧仮名遣は、契沖の方式を受け継いだ後者です。なほ、和語の旧仮名遣を「国語仮名遣」、漢字の音読みしおんの旧仮名遣（こちらは本居宣長の研究により基礎が固められた）を「字音仮名遣」と呼びます。

そして、「新仮名（遣）」とは、仮名遣（＝仮名の使ひ分け）の大部分を無くして根本から改革した、1946年の「現代かなづかい」と、1986年に改訂された

クイズ

戦後の国語改革では、国語の色々な部分が一気に変へられていきました。

例文①～⑧は、選択肢イ～チのどれに当てはまるでせうか。

- () ① 言はれてゐる → 言われている
- () ② 拉致犯に復讐 → ら致犯に復しゅう
- () ③ 油を差す、日が射す、目薬を點（点）す
→ 油を差す、日が差す、目薬を差す
- () ④ 義捐金、函數（数） → 義援金、関数
- () ⑤ 學校の櫻 → 学校の桜
- () ⑥ 入るべからず → 入らないでください
- () ⑦ 語本日 または 日本語 → 日本語
- () ⑧ いはゆるみんしゅくわ 所謂民主化 → いわゆる民主化

イ. 旧漢字→新漢字

ロ. 歴史的仮名遣→現代かなづかい

ハ. 文語体→口語体

ニ. 右横書き・左横書き→左横書き

ホ. ふりがなをなるべく使用しない

ヘ. 漢字数を制限

ト. 漢字の読みの種類を制限

チ. 制限した漢字に別の漢字を宛てる

(ロ+) ㊦⑧ ㊧④ ㊨⑨ ㊩⑤ ㊪⑦ ㊫⑥ ㊬② ㊭①

「五十音図」と「あいうえお表」

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	ゐ	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
	う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	ゑ	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

上の表を「五十音図」と呼びます。これは単なる「ひらがな一覧表」ではありません。「ヤ行」や「ワ行」にも「い」「え」や「う」が重複して、「ん」を除き 50 文字入つてゐますが、これは「母音と子音の組合せ表（例外もあり）」や「用言の活用表」も兼ねてゐるからです。この五十音表を見ながら文語と口語の「消ゆ」と「消える」、「植う」と「植ゑる」を比べてみると、同じヤ行やワ行である事がすぐにわかります。

右は、五十音図ではなく「あいうえお表」「ひらがな表」と呼ばれるタイプのものの抜粋です。こんな表に可愛いキャラクターの絵が付いて児童教育用に市販されてゐます。

わ	ら	や
	り	
を	る	ゆ
	れ	
ん	ろ	よ

「教育用」の表としては、現代仮名遣いで教育するにしても、百人一首や中学の古文の授業で「ゐ」「ゑ」の字には遅かれ早かれ接するので、上の「五十音図」が理想ではないか、と私個人は思ひます。その理由を除いても、「を」が「才段」ではないのはとても残念です。でも、もしこの種の表が既に家にあるとしても、表を見ながら、「を」は位置がずれてゐるけど本当は「お」～「ろ」と同じ「お」の仲間だ、と教へる事は出来るでせう。

もちろん、名簿やソフトウェアキーボード等では重複を防いだりスペースの都合で変則配列が必要な事もありますから、話は別です。

「現代仮名遣い」の事です。

使用実態はなかったが、昭和時代の標準語の発音を基に「これが我々の理想に近い」とした書き方を有識者が創作して教育で広めた「現代かなづかい」と異なり、「旧仮名遣」は「昔の人が書き残した書物を基に、かなの書き分けの法則を研究して導き出した」のが特徴です。約八百年にわたる研究で大半は解明したものの、極たまにある「昔の書物でなかなか見付からない言葉を含め、どちらの仮名遣が正しいのか不明な言葉（疑問仮名遣）」は研究者を悩ませる問題で、今なほ研究が続けられ、現代の国語辞典に併記された歴史的仮名遣もアップデートされてゐます（一例として、戦前は「あるひは」と書かれてゐたのが、戦後は「あるいは」とされるやうになつた）。

「千年以上前の綴りで書く文明国は日本以外にない」と金田一京助（現代かなづかいを推進した人の一人）に批判された歴史的仮名遣でしたが、「千年以上前の言葉が今でも沢山残る日本語としては、その言葉が書き言葉になつた当初の骨組みを大きく変へず、読む時の発音だけ変へれば、書き方の方は決まりを長持ち出来る。でももし発音通りの書き方にするなら、異なる時代や地域ごとに書き方も変へなければならない」、といふのが歴史的仮名遣を支持する側の言ひ分でした。

仮名遣は、普段漢字で書かずにかなで書く部分を特に覚える必要があります。たとへば用言の活用語尾や助詞などです。一例として、旧仮名では「八行四段活用動詞」、新仮名では「ア・ワ行五段活用動詞」と呼ばれるものの例を挙げてみます。

	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形 已然形	命令形
文語・旧仮名	使	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ
口語・旧仮名	使	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ
口語・新仮名	使	わ／お	い	う	う	え	え
		- ナイ - ズ - ウ	- マス - タリ		- トキ	- バ	

「使はない」は「ツカワナイ」、「使はう」は「ツカオー」と読みます。

旧漢字・旧字体・旧字・正字体・正字・康熙字典体
新漢字・新字体・新字

インターネットで「旧字」のキーワードを検索すると、下の①～⑥を指して使はれてゐるやうです（誤用を含む）。ここで問題です。印刷用語としての「旧字」とはどれを指すでせうか。

- ①櫻（桜）、澤（沢）など、国語改革で字体が変更される前の字（厳密な意味での旧字）
- ②鷗、掴（拡張新字体は鷗、掴）など、常用漢字表外字だが旧漢字的な部品を含む字
- ③高に対する高、崎に対する嵯など（「高」や「崎」の異体字）
- ④数字の「壹」「弍」「参」（大字）
- ⑤「ゐ」「ゑ」の字（「ワ行の『ゐ』『ゑ』」、通称「旧かなの『ゐ』『ゑ』」）
- ⑥二筆（二画）で書く「そ」の字（一筆の「そ」と字形の異なる字）

人名の文字の問題となると、上記の①だけでなく、②と③も「旧字」に準ずる扱いをする事がありますが、新字新かなで書く場合も②と③は普通に使ひますし、③も「高」「崎」の字が昔から使はれてゐます。厳密な意味での「旧字」ではありません。

日本の国語国字問題（国語はどんな書き方を標準とすべきかの問題）や、印刷用語としては、上記の①を「旧漢字」「旧字（体）」「正字（体）」と呼び、変更後の字、つまり昭和 21（1946）年の「当用漢字表」や昭和 24（1949）年の「当用漢字字体表」で「簡易字体」が採用された漢字を「新漢字」「新字（体）」「略字（体）」と呼びます。この意味での「旧字」から④～⑥は確実に外れますし、②や③も含めないのが普通です。

厳密には、「正字（体）」といふ言葉は別の意味で使はれる事もあるのですが、「新字（体）」と比べて使はれる場合は、この意味で使はれると思つて良いでせう。

漢字の標準的な字形のお手本となつてきたのが、中国で編纂された字典でした。楷書体については、科挙の採点の都合から標準的な字形を決める必要性に迫られて、唐代に「干禄^{かんろく}字書」が作られました。明朝体の字形のお手本として昔から参考^{かんろく}にされてきたのが、1716 年に清の康熙^{かうし}帝が編纂した「康熙字典」です。そして、康熙字典の漢字字体を「康熙字典体」と呼びます。しかし、康熙字典は漢字の字体については不完全な部分もあり、文字部品の形の不統一や、皇帝の本名の最後の画を「畏れ多いから」と、わざと欠いた字形（「玄」の字の最後の点のない字など）を採用してゐる等、一部問題もあります。そのため、「細かな部分は康熙字典体と異なるが、大筋は康熙字典に倣つた、近・現代の日本で正統とみなされてきた活字体」を「所謂^{いは}康熙字典体」と呼ぶ事もあります。

新漢字の多くは、中国や日本での昔からの楷書・行書・草書の書き方や、昔からの略字を、活字体にも取り入れたものです。活字文化に手書き文字の習慣を取

り入れる問題や、略字を正式な字に格上げする問題がありますが、新仮名遣とは異なり、多くが「使用実態のある字を採用したもの」です。

「旧漢字なんてほとんど見た事がない」と云ふ方でも、人名や団体名などの固有名詞に限っては、今でも旧漢字に頻繁に接するのではないでせうか。

人名の例：澤（沢）口、廣（広）田、櫻（桜）井、萬（万）田

団体名の例：氣志團（氣志団）、讀賣（読売）新聞、文藝（芸）春秋、

慶應（応）義塾大学、國學（国学）院大學（学）、佛（仏）教大学

その他：株式會社（会社）、發（発）の麻雀牌

「古文」「文語体」「旧字」「旧かな」はそれぞれ別なもの

中学校や高校の「古文」の授業では、「古文」で「文語体」で「歴史的仮名遣」で書かれた作品しか出て来ません。そのため、「歴史的仮名遣」を「古典文法」と呼ぶなど、用語はしばしば混同されがちですが、本当は違ふものですので、整理しておきませう。

「古文」とは、平安文学のやうな古い時代の文章の事です。しかし、古文＝文語体ではありません。現代でも文語体の歌詞の校歌があつたり、俳句や短歌を旧かなの文語体で詠む人がゐますが、どちらも「現代の言葉」として書いたものです。

「文語体」と聞くと、「書き言葉の事？」とか「旧仮名遣の事？」と反応が返つて来る事も多いものですが、文語体＝旧かなではありません。

「文語体」とは、千年以上昔から使はれ続けてきた書き言葉の文体の事です。それに対し「口語体」とは、明治時代以降普及した、より話し言葉に近い文体の事を指します。現在は「新かなは口語体専用、旧かなは文語体専用」とみなされがちですが、戦前は「口語体を旧かなで書く」事が普通に見られました。

	文語体	口語体
旧かな	働かざる者食ふべからず	働かない者は食ふな
新かな	働かざる者食うべからず	働かない者は食うな

戦後の国語改革では両方が同時に变つたので混同しがちですが、「旧字・新字」は漢字の問題、「旧かな・新かな」は仮名の書き方の問題です。

	旧かな	新かな
旧字	學校に來てゐるのでせう	學校に來ているのでしょうか
新字	学校に來てゐるのでせう	学校に來ているのでしょうか

まとめると、以下のやうになります。

「古文・現代文」「文語体・口語体」→文体の違い

「旧かな・新かな」→同じ音に対するかなの書き分け方の違い

「旧字・新字」「いろは四十八字・変体仮名（万葉仮名の草書体）」→字体の違い

「正字」＝「それ以外の漢字は間違い」ではない

漢字に複数の字形がある場合、伝統的に「正統な字形」とみなされてきたものを「正字」と呼びます。先ほど説明した通り、明朝体では、康熙字典体が漢字圏の実質的な標準字形とされてきました。

正字は「改まつた書き方」、略字などの別の字形は「カジュアルな書き方」と説明すれば話は早いかもしれませんが。誤解されがちなのですが、「正三角形」の反対が「誤三角形」、「正社員」の反対が「誤社員」にならないのと同じで、印刷用語としての「正字」の反対は「誤字」ではありません（「新字」「略字」と呼ぶ）。

	活字体	改まつた書き方	カジュアルな書き方
戦前	様	様	様 𠂔
戦後	様	様	

戦後の日本では、戦前に「カジュアルな書き方」とされてきた略字体の多くが当用漢字表・常用漢字表に入り、「改まつた書き方」にされてきました。

「活字体」と「書写体」は別物

アルファベットの「a」「g」を手で書く時、活字体そのままの字形で書く人は、ほとんどみないはずです。「活字体」と「手で書く時の字形（書写体）」は異なる事を知つてゐるからです。

これは現代の日本の常用漢字にも一部あります。「令」や「鈴」は、手書きでは「令」「鈴」と書きます。前者が旧字で後者が新字、ではなく、両方同じ字です。

戦前の漢字も、「活字体だけの旧字」があります。「近」「進」などの之繞は、活字体では「近」「進」と二点之繞が一般的でしたが、書写体は大抵「近」「進」と一点でした。「絆」は常用漢字表外字なので昔も今も活字体では点がハの字ですが、書写体は昔も今も「絆」とソの字でよく書かれます（ハの形も間違いではない）。

死んだ表記？ 生きた表記？

1. 「旧字旧かな」や「古文」についてよく知つてゐる
2. 「旧字旧かな」を昔の文章だけでなく、現代の文章にも喜んで使ふ

実は、1. に当てはまる人だからといつて、必ずしも2. とは限りません。

実際、1. の立場の人々は、「私は旧字旧かなを否定するわけではない」と主張するかも知れません。しかしその中には、「旧字や旧かなで『現代の言葉』を書く」事を嫌がる人が少なからずゐます。「旧字旧かなは、あくまでも昔の文章を旧字旧かなで残すためのもので、現代の言葉に使うのはやめてくれ」といふわけです。「旧かなを現代語に使ふ」人口の一番大きな集団は俳句や短歌のグループかも知れませんが、それでも「現代人の俳句や短歌に旧かなはふさわしくない」と主張する人も一部にゐます。それも、文部省（現・文部科学省）や国語審議会といった国語表記のプロからも、この種の発言がよく聞かれたものです。

このやうに、同じ「旧字」「旧かな」に詳しい者同士であつても、「現代の言葉に使ふべきかどうか」で揉める事がよくあります。「旧字旧かなを現代語に使ふ事を快く思はない人」は、歴史的仮名遣を「正^{せい}かなづかひ」と呼んだり、旧字旧かなを「正^{せい}字正^{せい}かな」と呼ぶ事も嫌がります。「旧字旧かなは国語表記の規範としては未整備で、とても正統な国語とは思えない」とか、「国語表記は所詮人間の決め事だから昔の書き方に固執する必要はなく、新たな書き方を作つてもいいし、常用漢字と現代仮名遣いこそ現代の『正字正かな』だ」、と思つてゐるからです。

一方、「旧字旧かなを敢へて現代語に使ふ人」は、「旧字旧かなには未整備の部分があつたり、枝葉の部分では揺れがあつたり仮名遣がきちんと守られてこなかつた事は認めるが、漢字の書き方や仮名遣（＝仮名の使ひ分け）の根本原則は昔から今まで大筋では変らないし、その伝統を継承していきたい」と思つてゐます。

2. の中には、「旧字」「旧かな」とは「古臭いイメージの言葉で嫌ひ」と云ふ方もいらつしやるかも知れません。しかし私は2. には当てはまらない方にもお読みいただきたくて本書を書きました。昔の本の引用など受け入れられる範囲でいいので、出来れば実践もしていただけると嬉しいのです。そのため、一部を除き、世間で通りの良い「旧字」「旧かな」で用語統一した事を最初にお断りしておきます。これが国語表記として正統か否かの問題は、また後で考へれば良いでせう。



(第二)

夏目漱石

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたか。頓と見當がつかぬ。何ても暗薄いじめじめした所でニャー泣いて居た事。丈は記憶して居る。吾輩はこゝで始めて人間といふものを見た。然もあとで聞くとそれは書生といふ人間で一番癡惡な種族であつたさうだ。此書生といふのは時々我々を捕へて煮て食ふといふ話である。然し其當時は何といふ考もなかつたから別段恐しいとも思はなかつた。但彼の掌に載せられてスーと持ち上げられた時。何だかフハフハした感じが有つた許りである。掌の上で少し落ち付いて書生の顔を見たが所謂人間と

===== 1 =====

吾輩は猫である 夏目漱石・著
明治 38 (1905) 年初版 (大倉書店・服部書店)

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたか頼と見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。然もあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獐悪な種族であつたそうだ。この書生というのは時々我々を捕えて煮て食うという話である。然しその当時は何という考もなかつたから別段恐しいとも思わなかつた。但彼の掌に載せられてスーと持ち上げられた時何だかフワフワした感じが有つたばかりである。掌の上で少し落ち付いて書生の顔を見たのが所謂人間というものの見始であらう。この時妙なものだと思つた感じが今でも残っている。第一毛を以て裝飾されべき筈の顔がつるつるしてまるで薬罐だ。その後猫にも大分逢つたがこんな片輪には一度も出会わした事がない。加之顔の真中が余りに突起している。そうしてその穴の中から時々ぶうぶうと煙を吹く。どうも煙せばくて実に弱つた。これが人間の飲む煙草というものである事は漸くこの頃知つた。

この書生の掌の裏でしばらくはよい心持に坐つておつたが、暫くすると非常な速力で

第二十二課 トマス、エジソン

電燈の發明せられたるは、今より約百二十餘年前のこ
となり。當時は單に理化學の實驗用として使用せらる
るに過ぎざりしが、次第に改良せられて、四五十年の後
には燈臺などにすゑ附けらるゝに至りぬ。然れどもこ
は今日のアーク燈に類するものにして、公園・街路等の
照明用としては適當なれども、室内に用ふるには、大仕
掛にして光力強きに過ぎ、實用に適せず。これ等の缺點
なき電燈の出現は當時の人の最も希望する所なりき。



生きてゐる……
貴嬢の姿の再現
寫眞
紀念寫眞帳

229

と眞夏用うす地

坊っちゃん嬢ちゃんの

可愛い御洋服

涼しそうなのが揃つて居ります

別御注文は御寸法肩線は同じます

御一報下さいます

47

昭和モダンアート3 p47, p229。2004年発行（MPC）。

（大正14・15年発行「図案化する実用文字」「絵を配した図案文字」の復刻版）

「旧字旧かな＝毛筆が一番」？ 実はこんな素敵なレタリングも。

もままにおちる



割洗粉

鯨油と椰子油から抽出した高級アルコールを配合せる洗滌効果優秀無比専賣特許の新洗剤

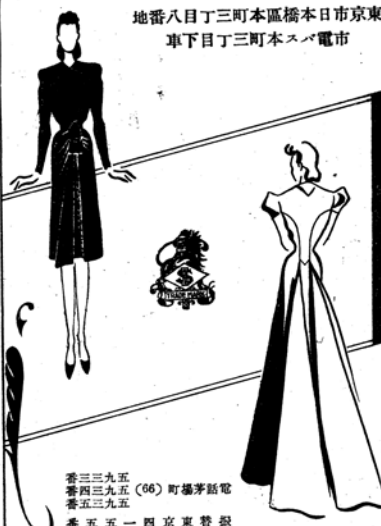
モマスにオチル

日本油脂株式

ス・フ人絹等の地質を傷めず毛織物を洗つて延び縮みしない

・而も髪洗ひに使つて美髪効果満點・

地番八目丁三町本區橋本日市京東
車下目丁三町本スバ電市



石河羅紗店

婦人服地部

き向春新

地生装洋

見本發行

地服人婦級高

番三三九五
番四三九五(66)町橋茅新電
番五三九五
番五五一四京東替扱

昭和 15 (1940) 年の雑誌広告より。上が左横書き、右が右横書き。
国語改革の前は右横書きが多かったものの、今と同じく左横書きが使はれる事もあった。

文字コードについて

コンピュータで日本語を扱ふ際には、ひらがなやカタカナや漢字等、一つ一つの文字に番号を付けて扱ひます。漢字については、1978年にJISで規格化され、その後もコードが改定されて漢字が追加されたり、他にも様々な体系のコードが誕生しました。現在は特に、JISの規格を基にした「Shift-JIS」や、中国・韓国の漢字を含め世界中の文字の網羅を目指す「Unicode」が多く使用されてゐます。

しかし、残念ながら、Shift-JISやUnicodeで使用可能な範囲の漢字を使つて文章を書いても、多くの日本語用フォントは新字で書く事を前提に設計されてゐて(下図の①～③または①～③+④の一部)、旧字の字形を完全にはサポートしてゐません。

表1 コンピュータで扱へる漢字の例

① JIS 第一・第二水準 常用漢字 国、沢、高、漢、海など 人名用漢字、表外漢字 弘、國、澤など	シフトJIS または Unicode ↑
② NEC 特殊文字・IBM 拡張文字 高、礪など	
③ JIS 第三・第四水準 漢、海(伝統的な字形)など	↓ Unicode のみ*
④ 上記以外の、Unicode 漢字 吳、彦(伝統的な字形)など 謝、发(簡体字)など	
⑤ Adobe-Japan 1 又は汎用電子の異体字 近、飾、前、忍など	

* 厳密にはシフトJISでもJIS第三・第四水準漢字を処理できる規格はあるが、Windowsがサポートしなかつたので普及しなかつた

とはいへ、出版の世界では旧字の字形が必要になる事もあります。実は、旧字の字形の入ったフォントも最近少しづつ登場してきました。「Adobe-Japan 1-4」（または同 1-5 ～ 1-7）対応と書かれたフォントがそれです。Adobe CS や CC に附属の「小塚明朝」「小塚ゴシック」、MacOS や Morisawa Fonts 等で使用可能な「ヒラギノ明朝」「ヒラギノ角ゴ」をはじめ、各社から続々と登場してゐます。Windows 8.1/10/11 には Adobe-Japan1 の異体字セレクトに対応した「游^{ゆう}明朝」「游ゴシック」が搭載され、Word2013 以降をはじめ様々なソフトで使用可能です（ただし、後述する CID 指定の場合は番号が 2 つずれてゐる模様）。

また、これとは異なる「汎用電子」といふ規格に基づいて旧字の字形を用意したフォントも登場してゐますが、フォントはまだまだ少なめです。

表 2 Adobe-Japan1 対応フォントの代表的な規格。Adobe-Japan 1-4 以降のフォントは旧字の字形を数多く収録し、「異体字切替」に対応したソフトでその字形を使用可能。名称に N が附くのは JIS2004 対応の意。Adobe-Japan 1-7 は「令和」の合字の追加のみ。

名 称	規 格	文 字 数	旧 字 対 応
OpenType Std/StdN	Adobe-Japan 1-3	9,354	△
OpenType Pro/ProN	Adobe-Japan 1-4	15,444	○
OpenType Pr5/Pr5N	Adobe-Japan 1-5	20,317	○
OpenType Pr6/Pr6N	Adobe-Japan 1-6	23,058	○
OpenType Pr6/Pr6N	Adobe-Japan 1-7	23,060	○

そして、ワープロソフトや組版ソフト等も、この旧字の字形の取扱に対応したものを用意する必要があります。新字と旧字の字形の切替方法はソフトにより異なりますし、ソフトにより以下のどれをサポートしてゐるかも異なります。

1. ソフトの異体字入力・異体字切替機能を使用し手動で入力
2. 旧字の文字コードを指定したタグ付きテキストファイルを取込
3. 異体字セレクト (IVS) を付けた Unicode テキストを入力

Adobe-Japan1 対応フォントには、文字一つ一つに CID と呼ばれる番号が付いてゐます。2. の場合は、CID を指定しての文字入力を、タグ付きテキストファイルに記述する事で、異体字による組版が可能です。プログラムを使用して旧字の字形に一括置換したい場合は、この方法が便利です。

「異体字セレクト」とは、Unicode の「枝番号」のやうなものです。たとえば、

文字コード 9063 は「遣」、文字コード 9063 E0101 は枝番号 1 番の文字として、二点之繞の「遣」になります。一部のアプリで対応してゐます。

表 3 タグ付きテキスト、またはソースファイル (TeX) でのコード指定方法。実際にはこれに加えて文書の様々な指定も必要。文字の下のコードは、上から Shift-JIS、Unicode、CID の順。(* は異体字セレクト対応フォントとソフトの組合せでのみ使用可)

新字	旧字	記述
歴 97F0 6B74 4026	歴 - 6B77 13398	InDesign: <6B77>
		EDICOLOR: <CODE NUMTYPE=UC NUM=6B77>
		TeX: \UTF{6B77}
遣 8CAD 9063 1891	遣 - 9063 E0101* 13754	InDesign: <cSpecialGlyph:13754><001A><cSpecialGlyph>
		EDICOLOR: <CODE NUMTYPE=UC NUM=9063 GLYPH=13754>
		TeX: \CID{13754}

*UTF-16 ではサロゲートペアを使用して 9063 DB40 DD01 となる。

踊り字の入力方法

歴史的仮名遣自体の決まりではないので、使はなくても構ひませんが、使ふ事も可能です。実際、国語改革以前は使ふ事が多かつたものです。かな漢字変換で入力する際は、IMEにより異なりますが、「おなじ」「おどりじ」「くのじてん」「ゆすり」等の読みで入力出来ます。

文字	名前	用途	使用例
ゝ、	一の字点	清音で繰返し (左がひらがな、右がカタカナ)	あゝ こゝろ そこゝゝ 一つづゝ
ゞ、	一の字点	濁音にして繰返し (左がひらがな、右がカタカナ)	すゞ ぶゞ 漬け
くゝ	くの字点	縦書きで二文字以上繰返し (右は濁音化。コンピュータでは二文字を繋げて使用)	おそれ くゝ
ゝゝ	二の字点	縦書きで、繰返語の漢字に使用 (右下に小さく付ける)	各々 屢々

必要なソフト

パソコンでの入力

旧字旧かなに対応したかな漢字変換ソフトをおすすめします。最初から対応したものもありますし、後から変換辞書をインストールできる場合もあります。

それがない場合は、「かなづかひ」と入力して変換しても「金塚被」のやうに間違つた候補ばかり出て来ますし、旧字も一つ一つ単漢字変換や文字コード表から調べなくてはなりません。対応したソフトがあるとストレスを軽減できます。

かな入力の場合は ATOK 又は Mozc for Classical Kana Spelling をお勧めします。Shift キーを押しながら「ひ」「へ」で「ゐ」「ゑ」が入力出来ます。

スマートフォン・タブレットでの入力

旧字旧かなに対応したキーボードアプリですが、残念ながら、選択肢は今のところあまり多くありません。Android の場合は、かな漢字変換ではなく手書き入力（Gboard の手書き入力など）もご検討下さい。iPhone では最近「旧仮名キーボード」といふ便利なキーボードアプリが登場しました。

非公認の方法なのでどの環境でも動くとは限りませんが、ATOK for iOS（有償）に旧字・旧かな対応の変換辞書をインストールする方法もあります。

フォント

新字旧かな、つまり旧仮名遣だが漢字は新字、の組合せの場合は、新字新かなの文書を作成する時とあまり変わりありません。和文フォントには「ゐ」「ゑ」の字も大抵きちんと入つてゐます。

旧字の場合、JIS 第一・第二水準、または第一～第四水準までしか対応しない事も多く、二点之繞に巳二つに共と書く「選」など一部の字は入つてゐません。先に挙げた「Adobe-Japan 1-4～1-7」または「汎用電子」の異体字に対応したフォント（前者は游明朝・游ゴシック、小塚明朝・小塚ゴシック、ヒラギノ明朝・ヒラギノ角ゴなど。後者は IPAmj 明朝など）であれば、対応するワープロソフトや組版ソフト等でその字を呼び出す事が可能です。

ただし、本文書体にはいはゆる「旧字フォント」（JIS 第二または第四水準までの範囲で入力すると、その範囲では新字しかない文字を旧字にしてくれる特殊なフォント）を使用することをおすすめします。異体字入力の手間が省けます。

残念なお知らせですが、「MS 明朝」「MS ゴシック」等の昔からある Windows フォントや、フォント名末尾に「Std」「StdN」とあるフォントは、旧字を完全にサポートしていません（たとへば常用漢字表にある文字の殆どは、対応する二点之繞の旧字がありません）。同じフォントファミリーでも、ウェイト（太さ）によって Pro 以降ではなく Std 対応の事もあるのでご注意ください。

なほ、「JIS2004 対応フォント」と銘打つて、「葛」や「鷗」の字が伝統的字体になつた事を強調した宣伝を見掛けますが、必ずしも「Adobe-Japan 1-4（またはそれ以降）対応」とは限りませんのでご注意ください。

OS・ワープロソフト・組版ソフト等

本書の初版が発行された 2015 年当時と異なり、OS やワープロソフトの対応はかなり進んできました。現在のほとんどの OS や大抵のワープロソフト（Word、Word Online、一太郎、OpenOffice.org、LibreOffice、Pages 等）では、IVS（異体字セレクト）に対応してゐます。Adobe InDesign などでは IVS の使用に難がありますが、独自の異体字切替機能があります。

参考までに、本書は組版ソフトに「Adobe InDesign CC」の Windows 版、フォントは主に「ヒラギノ明朝 ProN／ヒラギノ角ゴ ProN」を使つて作成しました。このフォントは旧字旧かなにも新字新かなにもマッチする綺麗な書体です。「ヒラギノ明朝」「ヒラギノ角ゴ」は MacOS に附属する他、パッケージソフトや、年間契約で沢山のフォントが使ひ放題の「Morisawa Fonts」で使用する事も出来ます。

供給がないからこそ

同人誌・個人誌の世界の「辞書」に「需要がないから書かない」といふ言葉はありません。どんなにニッチな分野でも、誰も書いてくれないなら、自分で書きたくなるものです。

私は旧字や旧かなによる同人誌や個人誌を制作してゐますが、同じく「需要がある・ない」よりも「供給がないから」こそ書いてゐます。そして、これまで供給がなかつた分野で書けば、需要がなぜか湧いてくるものです。

Mozc for Classical Kana Spelling

[https://drive.google.com/drive/folders/](https://drive.google.com/drive/folders/1yVPKO_gsHkEv3YbyyXFfSxWmnuPj48Fo)

1yVPKO_gsHkEv3YbyyXFfSxWmnuPj48Fo (ダウンロード)

<https://t.co/JsRIIbmPfi> (上記の短縮アドレス)

<https://twitter.com/i/events/1060093912893669376>

(開発者によるまとめ)

「契沖」「ATOK」に引き続き、旧字旧かな辞書が最初から入った、恐らく史上三番目のかな漢字変換システムが登場しました。しかもフリーソフト（Google 日本語入力のオープンソース版「^{モズク}Mozc」の改造版）で、Windows と Mac の両方に対応します。2024 年現在での最新版は「M6」です。

Windows 版は、Windows10 を含む新しい OS 向けの TSF 版と、古い OS 向けの IMM 版の、それぞれ 32 ビット版と 64 ビット版があります。Windows10・11 の 64 ビット版の場合、tsf64_install.bat を右クリックし「管理者として実行」を選択するとインストールできます。逆にアンインストールする時は、tsf64_unregister.bat を右クリックし「管理者として実行」を選択します。

「ゐ」「ゑ」は、ローマ字入力の場合は「wyi」「we」で、かな入力の場合は ATOK と同じく、シフト＋「ひ」とシフト＋「へ」で可能です。

単語登録も歴史的仮名遣向けに拡張済で、ハ行四段活用はもちろんの事、上二段活用・下二段活用等、文語の活用も選択可能です。

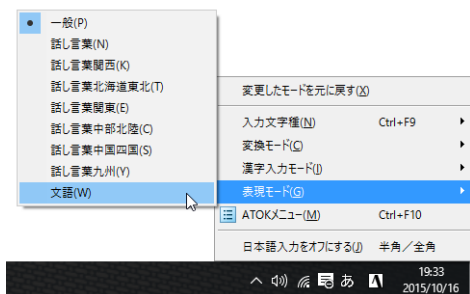
書かう歴史的仮名遣ひ



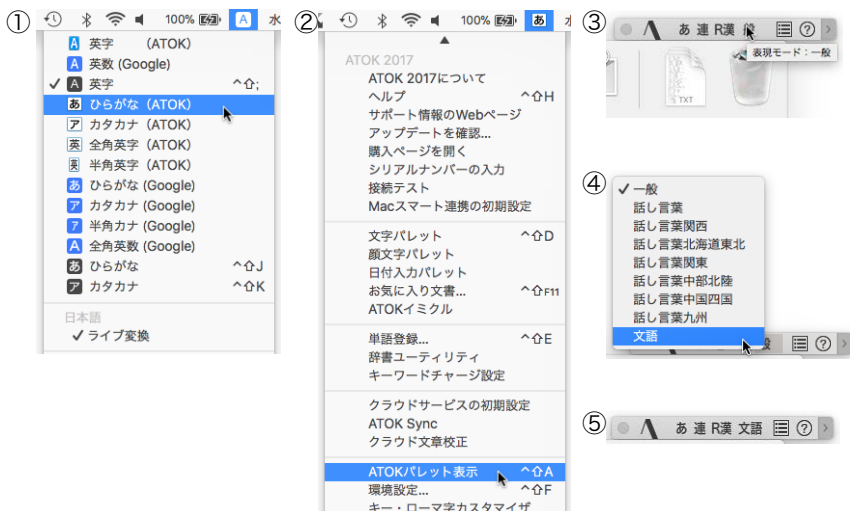
三式明朝と Mozc for Classical Kana Spelling による旧字旧かな入力

ATOK の文語モード

ATOK16 以降（Windows 版・Mac 版。iOS 版や Android 版は未対応）では、「文語モード」に切替えるだけで、すぐに旧字旧かな／新字旧かな（候補は両方出る）の入力が可能です。名前は「文語モード」ですが、口語体の入力も可能です。

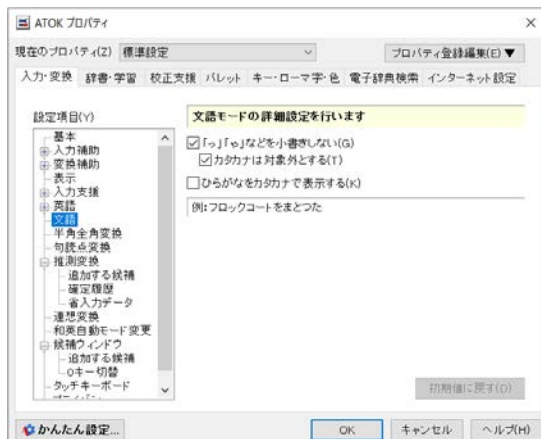


Windows 版では、通知領域（タスクトレイ）の言語入力モードのアイコン（「あ」の表示された部分）を右クリックでメニューが表示される。「表現モード」を「文語」にすると、文語モードになる。

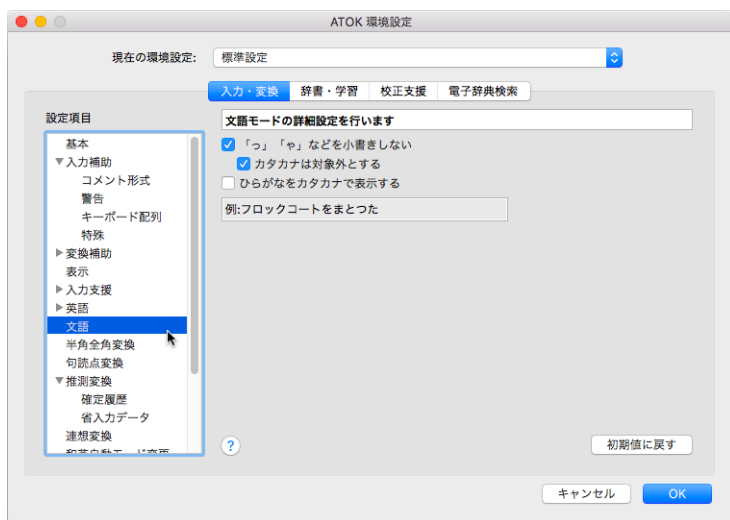


Mac 版では、入力メニュー（画面右上の「あ」「A」等と表示されたところ）をクリックし、「ひらがな（ATOK）」を選ぶ（①）。もう一度入力メニューをクリック

し、「ATOK パレット表示」を選ぶ (②) と、ATOK パレットが表示される (③)。
ATOK パレットの「般」(表現モードがデフォルトの「一般」の時)をクリックし
「文語」を選ぶ (④) と、文語モードになる (⑤)。



Windows 版では通知領域の言語入力モードのアイコンを右クリックし、ATOK
メニュー> ATOK プロパティを選んだ後、「入力・変換」タブ内の設定項目から
「文語」を選ぶことで入力設定が可能

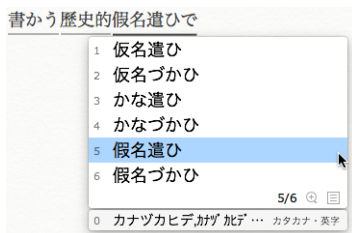


Mac 版では、入力メニューで ATOK が選ばれた状態で (前ページ①も参照)、入
力メニューから「環境設定」を選んだ後、「入力・変換」タブ内の設定項目から
「文語」を選ぶことで入力設定が可能

書かう歴史的《環境依存文字：歴》假名遣ひで



変換中の表示 (Windows 版)



変換中の表示 (Mac 版)

KAKAUREKISITEKIKANADUKAHIDE

と入力して変換したのが上の例です。「ゐ」「ゑ」は、ローマ字入力では「WY I」「WY E」で、かな入力では Shift キーを押しながら「ひ」「へ」で入力可能です。拗音や促音（や・ゆ・よ・っ）は小書きで入力しても大書きに変換されます。

変換候補は、新字旧かなおよび旧字旧かなから選択出来ます。国語仮名遣(和語の仮名遣)にはほぼ対応しますが、字音仮名遣(漢語の仮名遣)は「様(やう)」「絵(ゑ)」等の一部しか対応しないので、漢語は現代仮名遣いで入力します。

なほ、JIS 第一・第二水準に入っていない漢字は「環境依存文字」「IVS」との注意書きが出ます。最新バージョンでは、文語による活用(上二段活用・下二段活用等)や、異体字セレクタ(IVS)を使用した文字を単語登録することも可能なようです(後者は、単語登録のテキストボックスに貼り付けても正しい字形で表示されないが、登録自体は正常に行はれる)。

かな入力や親指シフト入力で「ゐ」「ゑ」を入力するには

ATOK のかな入力なら標準対応ですが、それ以外は「やまぶき」「DvorakJ」等のキー配列エミュレータと、拙作の定義ファイルで対応可能な事があります。詳しくは以下のサイトにまとめてありますのでご覧ください。

<https://osito.jp/minkana/ime/>

Google 日本語入力

Windows や Mac では、無料の Google 日本語入力に有志の作成した旧字旧かな変換辞書をインストールすると、旧字旧かな入力ができます。ここでは変換辞書の幾つかを紹介した後、「Google 日本語入力用正字正かな辞書」のインストール方法を紹介します。他の変換辞書でも同様の手順でインストール可能です。

■ Google 日本語入力

<https://www.google.co.jp/ime/>

■ Google 日本語入力用正字正かな辞書

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~w3c/kotoba/IME/GoogleIme.html>

「正字正かな」を現代の言葉として実際に愛用してゐる野嵜氏による変換辞書。国語国字問題や思想哲学といった真面目な用語からアニメやネットスラング等気楽な話題の用語まで、インターネット向けの語彙が豊富。

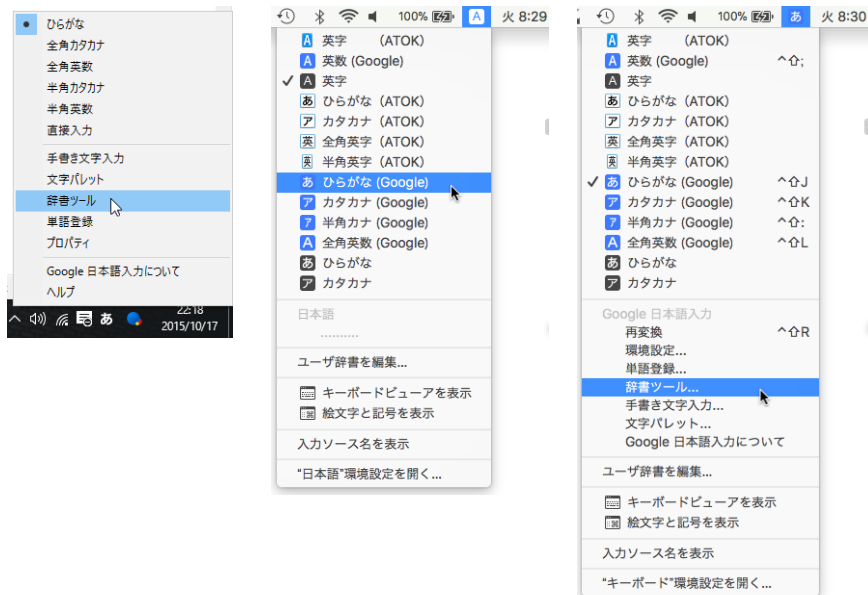
■ 快適仮名遣ひ テキストファイル (Google 日本語入力形式)

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA051930/>

「快適仮名遣ひ」の Google 日本語入力対応版。語彙はオーソドックス。

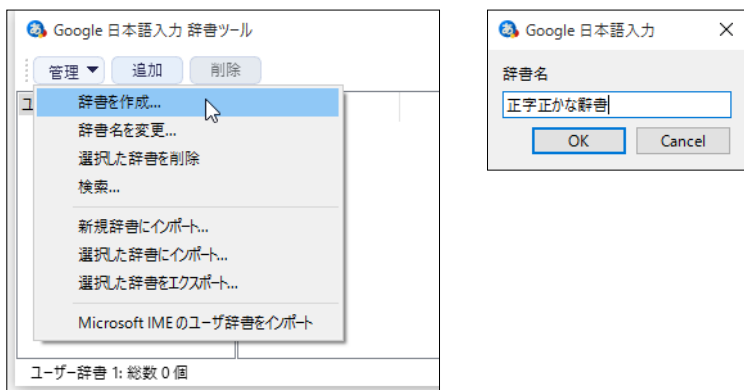
ダウンロード > GoogleImeSeikana20150320			
名前	更新日時	種類	サイズ
 GoogleImeSeikana20150320.txt	2015/10/17 22:25	テキスト文書	3,997 KB

① 上記サイトから「Google 日本語入力」をダウンロードしインストール。次に「Google 日本語入力用正字正かな辞書」もダウンロードし、ZIP ファイルを展開(画像は Windows の場合。Mac の Safari ではダウンロードするだけで ZIP ファイルが自動展開されて、中のテキストファイルが「ダウンロード」フォルダに入る模様)。このテキストファイルをユーザー辞書として登録して使用する。

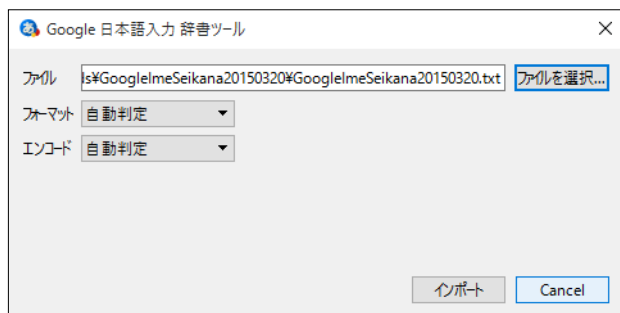
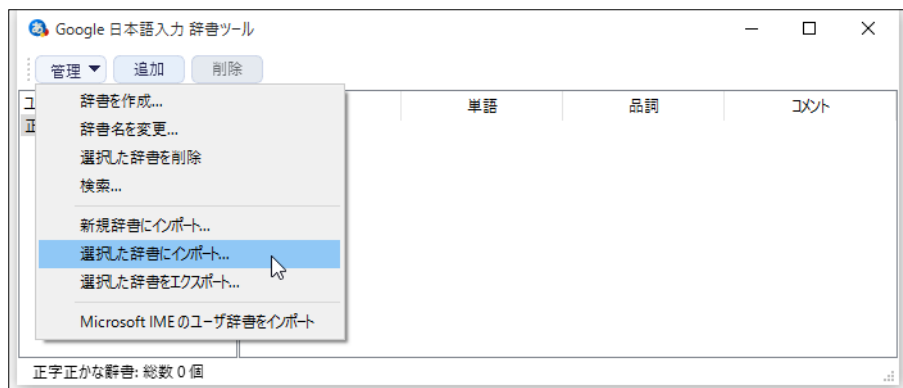


② Windows 版では、通知領域（タスクトレイ）の言語入力モードのアイコン（「あ」の表示された部分）を右クリックし「辞書ツール」を選ぶ（左）。

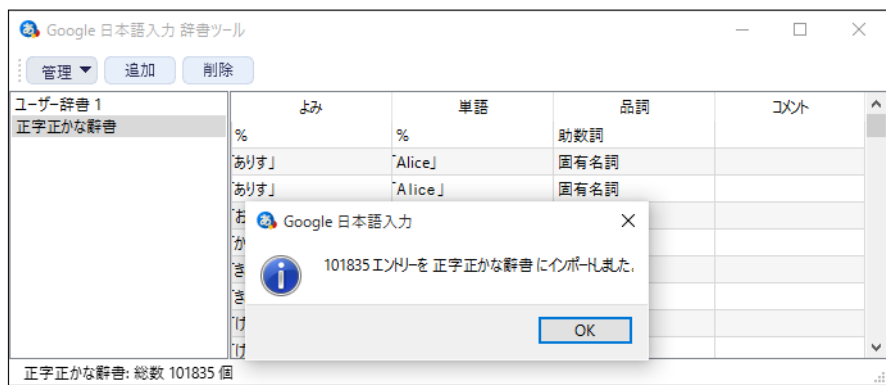
Mac 版では、入力メニュー（画面右上の「あ」「A」等と表示されたところ）をクリックし、「ひらがな（Google）」を選ぶ（中）。もう一度入力メニューをクリックし、「辞書ツール」を選ぶ（右）。



③ この先は Windows 版・Mac 版とも同じ手順になる。
管理＞辞書を作成 ... を選択し、辞書名（何でも良い）を入力する。



③ 管理>選択した辞書にインポート ... を選択し、①でダウンロード・展開した辞書ファイルを選んでから「インポート」ボタンを押す。



④ このメッセージが表示されたら辞書登録完了。

Microsoft IME

Microsoft IME に変換辞書を別途インストールする事で、旧字旧かな／新字旧かなの入力ができます。ここでは「快適仮名遣ひ」（有償）を紹介します。

<https://hp.vector.co.jp/authors/VA051930/>

- ① 上記サイトから「快適仮名遣ひ」をダウンロードし、ZIP ファイルを展開（購入時のパスワードが必要）。



互換性

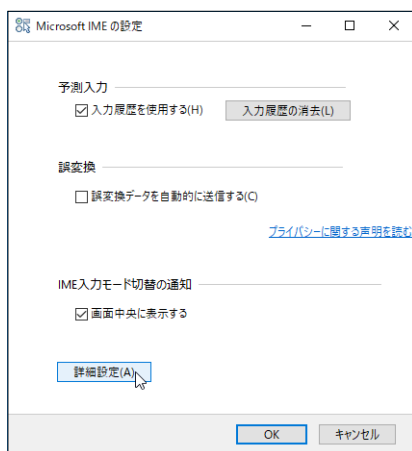
Microsoft IME は新しいバージョンにアップグレードされましたが、すべての機能に互換性があるわけではありません。問題が発生した場合は、以前のバージョンに戻すことができます。

以前のバージョンの Microsoft IME を使う

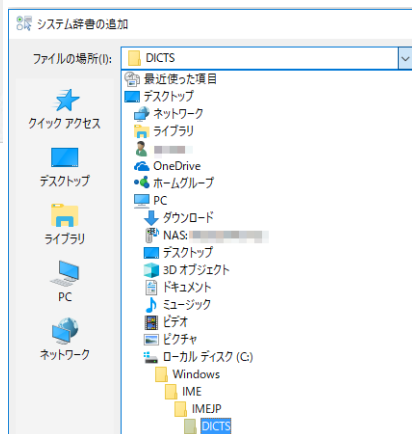
☒ オン

[詳細情報](#)

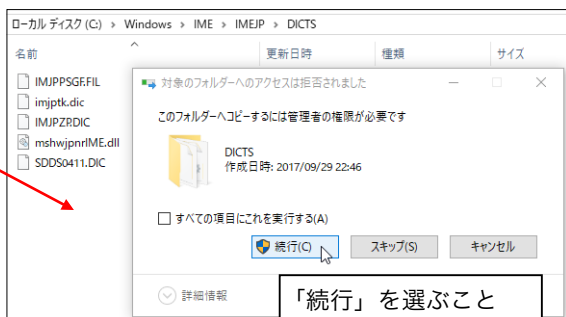
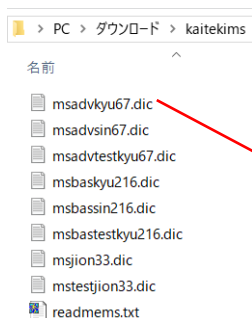
- ② 通知領域の言語入力モード（「あ」）を右クリックすると「プロパティ」ではなく「設定」とある場合は、旧 Microsoft IME に切替へる。[設定]-[全般]-[互換性]にある「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」をオンにする。



- ③ 通知領域の言語入力モード（「あ」）を右クリック>プロパティ>詳細設定



④ システム辞書の「追加」ボタンを押してファイル選択画面を開き、「ファイルの場所」に表示されたフォルダをメモ。



⑤ エクスプローラーで、④で調べたフォルダに①の辞書ファイルをコピー。



⑥ もう一度この画面を開き、「追加」ボタンで先ほどコピーした辞書ファイルを選択し追加。基本版・拡大版のそれぞれ舊（旧）漢字版・新漢字版が入るので、基本版のみ、または基本版＋拡大版のいずれかをチェックする。

假名遣ひ

- 1 假字遣
- 2 假名遣ひ
- 3 假名遣
- 4 假名
- 5 かなづかひ
- 6 カナヅカヒ
- 7 拡大版・新漢字「快速仮名遣ひ」67... >>

⑦ 以下の通り入力して変換した例。

KANADUKAHI

ローマ字入力では「ゐ」は「WY I」、「ゑ」は「WY E」で入力。

かな入力では「ゐ」は「うい」、「ゑ」は「うえ」で代用入力可。

拗音や促音（や・ゆ・よ・っ）は大書きで入力すれば大書きの変換候補が出る。

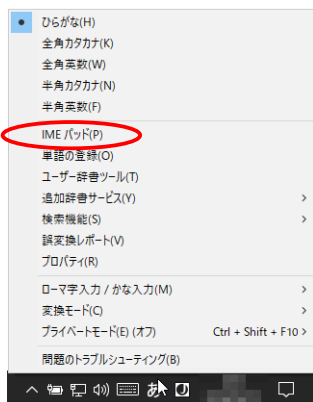
なほ、「拡大版」の辞書では字音仮名遣による入力も或程度対応してゐる模様。

Microsoft IME で異体字セクタ (IVS) を入力

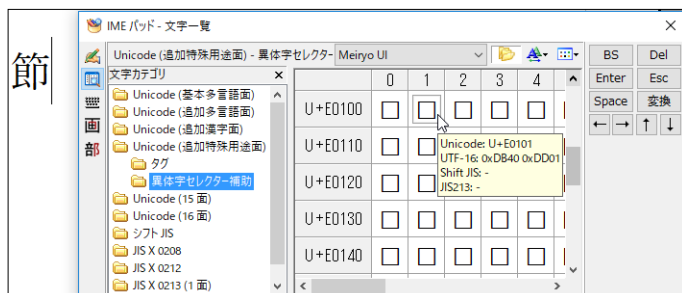
異体字セクタ対応ソフトと対応フォントでは、親字の後に異体字セクタ（文字扱い）を挿入する事で字形が変わります。

節

①親字の後にテキストカーソルを置く。



節



②通知領域の言語入力モード（「あ」）を右クリックし、IME パッドを選択。「文字カテゴリ」から「Unicode（追加特殊用途面）＞異体字セクター補助」を選択し、U+E0100 ～のどれかをシングルクリックし Enter を押す。

節 節

③左が「節」に U+E0101 を、右が「節」に U+E0102 を付けた例。
（参考までに、旧字としてはどちらも通用する字）

iPhone 用旧仮名キーボード

iPhone の場合、旧字旧かなの入力に特化したキーボードアプリがあります。「iPhone 用」とありますが、iPad でも大きな画面のフリック入力になるものの使用可能です。

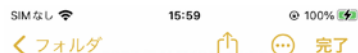
<https://cjk.yoshy-toshy.com>



「ゐ」「ゑ」は「ま」の下を左または右にフリックします。

字音仮名遣（漢字の音読みの仮名遣）に対応しないかな漢字変換辞書が多い中、このキーボードアプリは字音仮名遣に完全対応してゐます。ある意味スパルタンな仕様ですが、これは仕様です。使つていくうちに、よく使ふ言葉の字音仮名遣は覚えてしまふかも知れません。

設定画面では、変換候補を旧字旧かな、新字旧かな、旧字新かなから選ぶことができます。また、IVS（異体字セレクト）付きで旧字を出力する事も可能です。



iPhone で正字正假名！
この文章は「舊假名キー
ボード」で入力しました
てふてふがとんでゐる



スマートフォンの手書き入力

スマートフォンやタブレットの場合、旧字旧かなの入力に特化したキーボードアプリがなくても、「手書き入力」でかな漢字交じり文を入力する方法があります。

特に Android では旧字旧かな辞書の登録可能なキーボードアプリが今のところありません（旧字旧かな辞書の登録が可能だった Google 日本語入力は現在ダウンロードできませんし、ATOK for Android も最新版では実際に取込可能な単語数が少なくなつたのか、旧字旧かな辞書の登録に失敗します）。

Android 附属の Gboard の場合、「キーボードを追加」（設定メニューのどこにあるかは機種によつて異なります）から「日本語」を選び、キーボードレイアウトとして「手書き」にチェックを入れて「完了」を惜します。

追加したキーボードは地球儀アイコンで切替可能です。



ATOK for iOS

■ ATOK for iOS

https://www.atok.com/ios_pro/



■ 餅辞書モバイル版

<https://osito.jp/minkana/ime/mochidic/>

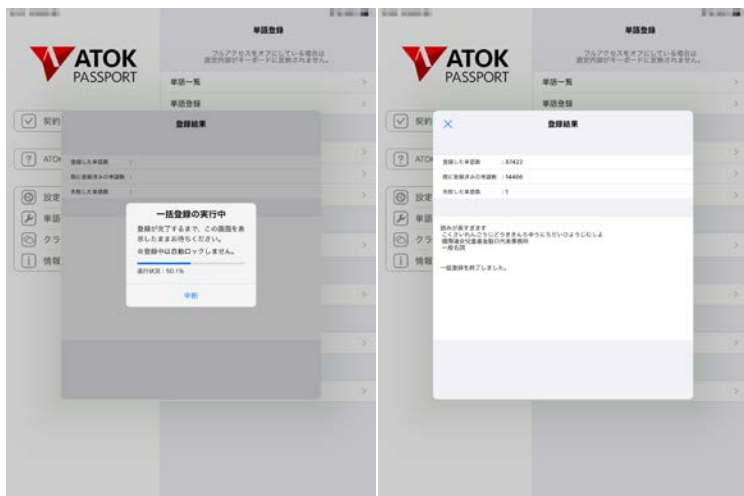


iPhone や iPad への辞書ファイルの取り込みには、iTunes をインストールしたコンピュータ（Windows でも Mac でも可）が別途必要です。

サイズの大きな辞書の取込は、開発元が動作を保証しない使い方ですので、あらかじめ動作確認し、うまく動かない場合はあきらめて下さい。当然のことですが、この件についての開発元への問合せはご遠慮下さい。

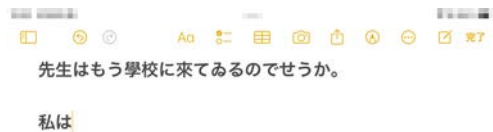
- ① 「ATOK for iOS」(有償) をあらかじめインストールしておく。
- ② 次に iTunes をインストールした Windows PC または Mac で、「餅辞書モバイル版」を上記サイトからダウンロードする（ブラウザの種類や OS にもよるが、右クリックして「対象をファイルに保存」、または類似の項目を選択してダウンロード可能）。このテキストファイルをユーザー辞書として登録して使用する。
- ③ ②のコンピュータ（Windows または Mac の方。iPhone や iPad ではない）で iTunes を起動し、ケーブルで iPhone または iPad と接続する。まだ一度も同期したことがなければ、設定をあらかじめ済ませておく。





ても、使はなければ無視してよい)。

⑧ 取込が完了したら、文字を入力可能なアプリで、正常に旧字旧かなの候補が出るかどうか、処理は重くないか、入力テストを行ふ。



※なほ、「餅辞書モバイル版」では、フリック入力できない「ゐ」「ゑ」を「うい」「うえ」で代用入力できます。

まるやるま君でテキスト一括変換

■「正(旧) 仮名遣ひ⇄現代(新) 仮名遣い」相互変換～まるやるま君

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA022533/tate/komono/Maruyaruma.html>

新字と旧字、新かなと旧かなの相互変換が可能。機械的な置換へなので、たまに間違ふ事もあります。きちんとご自分の目での最終確認をお願いします。

このソフトで変換可能な旧字の範囲は JIS 第一・第二水準の範囲のものだけです。組版に使用する場合は、必要に応じ、拙作「正字君」等も併用して下さい。

「正(旧) 仮名遣ひ⇄現代(新) 仮名遣い」相互変換～まるやるま君

＜使い方と注意事項＞

1. IE4/NC4以上でのみ使用可。(Netscape6 PR3は動作可)
2. 漢字を使える語句は出来る限り漢字を使う。(特に「行く」「言う」等の基本漢字は使うべし)
3. unnecessaryな改行はしない。(前後の助詞等を変換のために参照している)
4. 新漢字を使った正(旧) 仮名遣い文章もそのまま変換できる。
5. 「送り仮名」は出来るだけ正しいもの(短縮形)を使う(ほうがよい)。
6. 「やるま君」では変換レベルが上がる(ほど)ひらがな単語⇒漢字表現への変換レベルが上がる。
 - ・「レベル0」はこの変更を行わない。書き手の文体をそのまま生かすのである。
 - ・「レベル1」では「いう⇒云う」に変換。
 - ・「レベル2」では「し(しば)⇒腰々」などの副詞、及び「は(はずだ)⇒咎た」などを漢語表現に変換。
 - ・「レベル3」では「できる⇒出来る」「なる⇒成る」に変換。(不完全じゃ)
 - ・「レベル4」では接続詞の漢語表現が中心で「レベル2」よりやや難解な語彙も変換。(レベル2/3の区別はいいかん)
 - ・「レベル5」では「その⇒其の」等の代名詞まで御紹介変換する。(一部地名漢字も含む)
7. 「青空文庫」形式のルビ《(ほ)げ(ま)の》の削除機能もある。ルビがあると上手く変換できないので標準では【ルビ】削除が選択してある。なお、【#(ほ)げ(ま)の】の青空文庫形式脚注も同時に削除するが、これらの削除をしたくない場合には【ルビ 残す】を選択されたし。但し、送り仮名や助詞が分断されるため、上手く変換できなくなることに注意。
 - ※ NN4.01-4.05では「ルビ無」で誤動作する可能性あり。(特定の文字の組合せを誤認識する⇒滅多に無いと思うが...)
 - ※ ((ほ)げ(ま)の)の形式のルビも削除できる。【(ルビ) 削除】を選ばれたし。
8. いわゆる「字音仮名遣い」は登録単語が殆どなく変換できないと考えた方がよい。

レベル0 ▾ まるやるま君(新⇒正) 漢字(正⇒新) 【ルビ】削除 ▾ まるやるま君(正⇒新) 漢字(正⇒新)

【新仮名遣い】
世の中には「正(旧) 仮名遣い」で書いた文章も存在する。現代仮名遣いで読みたい場合にこの「やるま君(正⇒新)」を使われたし。
一方、正仮名遣いに興味を持ちながら、その使い方が分からぬ場合には「まるやるま君【#(ほ)げ(ま)の】(新⇒正)」による「正仮名遣い」変換を試されたし。それっぽい文章になるじやろう。

↑移動↑ ↓選択↓ 消去 ↓WRAP解除

【新仮名遣い】
世の中には「正(舊) 仮名遣い」で書いた文章も存在する。現代仮名遣いで読みたい場合にこの「やるま君(正⇒正)」を使われたし。
一方、正仮名遣いに興味を持ちながら、その使い方が分からぬ場合には「まるやるま君(新⇒正)」による「正仮名遣い」変換を試されたし。それっぽい文章になるじやろう。

【正(舊) 仮名遣い】

正字君でテキスト一括変換

■正字君

<https://apps.osito.jp/seiji/>

拙作の新字→旧字変換ソフトです。InDesign/EDICOLORのタグ付きテキスト(変換結果をテキストエディタ等に貼り付けて保存して使つて下さい)、TeX表記、異体字セレクト付きUnicodeテキストへの変換機能があります。游明朝／小塚明朝／ヒラギノ明朝といった代表的なフォントでの簡単な確認も可能です。

正字君 ver.0.3

下のテキストエリアに文章を入力して「変換」ボタンを押してください。

先日、東京駅丸の内線舎の建物に出掛けて来ました。約七十年前ぶりに大正當時の三階建てとドーム屋根の姿に復元された東京駅。路上にも駅舎内にも大勢の見物客がいました。戦前の姿を知る年配の見物客が多いかと思ひきや、意外な事に、どこを見ても二十代前後の若者達が半分以上を占めてゐて、スマートフォンや一眼レフカメラを手に写真を撮つたり、装ひ新たにした駅舎の完成を祝福するかのやうに、嬉しそうに声を上げながら眺めてゐる姿をあちこちで見掛けました。戦後生れの人々にとって、大正當時の姿の丸の内線舎とは、白黒写真といふ「手を触れる事の出来ない、二次元空間内の存在」に過ぎなかつただけでなく、「二階建てに八角形の屋根」が「東京駅として當り前の姿」だと長らく思ひ込んでゐたものです。しかし、ドーム屋根の三階建てが三次元空間の実際の建物として蘇つた今、「これまで見てゐた駅舎は驚くまでも偽の姿で、本来はこんな姿だったんだ！」と驚いただけでなく、大正時代の設計なのに「古びてゐる」印象など殆ど無く、今なほ「高級感」を感じるデザインなのは何とも新鮮でした。

さて、「歴史的假名遣が現役で使はれてゐる姿」も、東京駅丸の内線舎の本来の姿と同じく、次第に忘れ去られようとしてゐます。

私のやうな環境ジュニア世代だと、祖父母が「日常語かな」を日常的に用ゐる姿を見るのは、決して珍しい事ではありませんでした。年配の人が経営してゐる商店では、店内の掲示が正字正かなになつてゐるのは時々見掛ける風景でした。私の祖父も一生正字正かなで書き綴つてきた人で、家訓啓の手段となると、所々に変体假名も混ざつた達筆の行書で書かれてゐるのを、母が「解説」しながら読むといつた具合でした。私も「解説」したいと思ひつゝも、子供には無理だと思はれたのか、あまり読ませてもらへず残念に思つたものです。このやうに、戦後世代でも

フォント游明朝

●Unicodeテキスト(IWS/Adobe-Japan) ●InDesignタグ ●EDICOLORタグ ●TeX

変換 IWS Editor

先日、東京駅丸の内線舎の建物に出掛けて来ました。約七十年前ぶりに大正當時の三階建てとドーム屋根の姿に復元された東京駅。路上にも駅舎内にも大勢の見物客がいました。戦前の姿を知る年配の見物客が多いかと思ひきや、意外な事に、どこを見ても二十代前後の若者達が半分以上を占めてゐて、スマートフォンや一眼レフカメラを手に写真を撮つたり、装ひ新たにした駅舎の完成を祝福するかのやうに、嬉しそうに声を上げながら眺めてゐる姿をあちこちで見掛けました。戦後生れの人々にとって、大正當時の姿の丸の内線舎とは、白黒写真といふ「手を触れる事の出来ない、二次元空間内の存在」に過ぎなかつただけでなく、「二階建てに八角形の屋根」が「東京駅として當り前の姿」だと長らく思ひ込んでゐたものです。しかし、ドーム屋根の三階建てが三次元空間の実際の建物として蘇つた今、「これまで見てゐた駅舎は驚くまでも偽の姿で、本来はこんな姿だったんだ！」と驚いただけでなく、大正時代の設計なのに「古びてゐる」印象など殆ど無く、今なほ「高級感」を感じるデザインなのは何とも新鮮でした。

さて、「歴史的假名遣が現役で使はれてゐる姿」も、東京駅丸の内線舎の本来の姿と同じく、次第に忘れ去られようとしてゐます。

私のやうな環境ジュニア世代だと、祖父母が「日常語かな」を日常的に用ゐる姿を見るのは、決して珍しい事ではありませんでした。年配の人が経営してゐる商店では、店内の掲示が正字正かなになつてゐるのは時々見掛ける風景でした。私の祖父も一生正字正かなで書き綴つてきた人で、家訓啓の手紙となると、所々に變體假名も混ざつた達筆の行書で書かれてゐるのを、母が「解説」しながら読むといつた具合でした。私も「解説」したいと思ひつゝも、子供には無理だと思はれたのか、あまり読ませてもらへず残念に思つたものです。このやうに、戦後世代でも「日常語かな」に日常的に接してゐた人々は、書く事は自信が無いが、少しづつみるみる讀める。と云ふ事が多いものです。

しかし、今では祖父母も戦後教育世代といふ人が多くなりました。昔のフォークソングの題名を授つて云ふなら「假名遣を知らない子供たち」です。「元々何を書くんだ」と、祖父母が正字や正かなを教へてくれる事はありません。正字正かなの祖父母の蔵書を「あすこい」と言ひながらペラペラめくる事もあります。歴史的假名遣に接するは國語の古文の授業だけで、現代文の歴史的假名遣の存在など知りません。夏目漱石や芥川龍之介も現代假名遣に愛はられた版しか見た事が無いので、「戦前は文

「正字君」の技術解説

変換前・変換後の文字やコードを CSV 形式のデータで持ち、それを基に JavaScript で文字列置換を繰り返すだけの、単純な原理のプログラムです。完全にオフラインで動作してゐるので、原稿データが漏洩する心配もありませんし、ダウンロードして改造し、ローカル環境で動かす事も可能です。

『やちまた』で双表記テキストを作成

AutoHotkey というスクリプト言語環境と組合はせて使ふ Windows 版と、インストール不要で PC・スマートフォン・タブレットから使用可能なウェブ版があります。ここではウェブ版の操作を解説します。

やちまた Web 版

<http://kokugomondaikyo.net/yachimata/>

※蛇足ながら、「やちまた」と言つてもチーバくんの頬のあたりにある市（千葉県八街市）とは特に関係ありません。



新字／正字、新仮名（新假名）／正仮名（正假名）の複数の表記で文書を提供する必要がある場合、別々のテキストとして管理するよりも、両表記を生成可能な情報を持たせた同一テキスト（これを「双表記テキスト」、愛称「Yモード」と呼ぶ）として管理し、必要に応じて表記を切り替へる方が整合性の点では有利です。

この「双表記テキスト（Yモード）」による文書作成を支援したり、Yモードテキストから新字／新かな、正字／正かなのテキストを生成するためのアプリが「やちまた」です。また、単なる新字と正字の変換ツールとしても利用できます。

■やちまた Web 版の使い方

1. まづは「新かな」による文章が必要です。今回は夏目漱石『我輩は猫である』新字・新かな版の冒頭を用意しました。

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうんを見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪な種族であったそうだ。

2. これをやちまた Web 版のテキストエリアに貼り付け、「初回假名遣変換」ボタンを押します（「正字＋初回假名遣変換」を押すと正字への変換も同時に行ひます）。するとこのようになります。

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうと見當がつかぬ。何でも薄暗いぢ'めじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶してゐ"る。吾輩はここで始めて人間といふ'ものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生といふ'人間中で一番憐悪な種族であつたさう"だ。

仮名遣が「正仮名」に変換された事がおわかりかと思ひますが、「ゐ"」の「"」や「いふ'」の「'」は何でせうか。これは「この部分は『正仮名』と『新仮名』で仮名遣が変る」事を示す目印、いはば「訓点」です。内蔵されたデータベースを基に、コンピュータが或程度自動認識して、仮名遣が変る部分に自動的に訓点を付けてくれるのです。訓点が附かない場合、たとへば「ゐ"る」ではなく「いる」のままの場合は「要る」「射る」など『正仮名』と『新仮名』で仮名遣が同じ扱ひになります。

3. 実は、コンピュータによる自動的な仮名遣変換は、時々間違ひもあります。上の例では「いぢめ」と誤認識してか「ぢ'めじめ」と変換されたり、「泣いてゐ"た」とすべき部分が「泣いていた」のままになってゐます。その文字+訓点、または文字の後をクリック・タップしてカーソルを置き、「漢字・仮名遣切替」ボタンを押すと順に候補が表示されます。

「ぢ'」の後にカーソルを置いて「漢字・仮名遣切替」ボタンを押し、「じめじ

やちまた Web版（試作版）

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうと見當がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いてゐ"た事だけは記憶してゐ"る。吾輩はここで始めて人間といふ'ものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生といふ'人間中で一番憐悪な種族であつたさう"だ。

漢字・仮名遣切替

初回仮名遣変換

正字+初回仮名遣変換

訓点除去

リセット

新字

正字(二水迄)

正字(四水迄)

正字(Unicode)

新仮名

正仮名

め」に、「泣いていた」の「い」と「た」の間にカーソルを置いて「漢字・仮名遣切替」ボタンを二度押し、「泣いてゐ"た」に変換してみます。

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いてゐ"た事だけは記憶してゐ"る。吾輩はここで始めて人間といふ'ものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生といふ'人間中で一番獰悪な種族であったさう"だ。

4. これでYモードテキストが出来ました（これはこのアプリの仕様ですが、相互変換の都合上、「や」「ゆ」「よ」「つ」は新旧とも小さいままです）。あとは「新假名」や「正假名」ボタンを押すと、文章が新仮名や正仮名に切替ります。「新字」「正字(二水迄)」「正字(四水迄)」「正字(Unicode)」ボタンを押すと新字や正字に切替ります（「二水迄」「四水迄」「Unicode」は、どの範囲の漢字コードに対応させるかによつて選択します）。

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いてい"た事だけは記憶してい"る。吾輩はここで始めて人間という'ものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という'人間中で一番獰悪な種族であったさう"だ。（新字・新仮名）

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いてゐ"た事だけは記憶してゐ"る。吾輩はここで始めて人間といふ'ものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生といふ'人間中で一番獰悪な種族であったさう"だ。（新字・正仮名）

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いてゐ"た事だけは記憶してゐ"る。吾輩はここで始めて人間といふ'ものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生といふ'人間中で一番獰悪な種族であったさう"だ。（正字(Unicode)・正仮名）

5. これを印刷したりブログ等に載せる場合は訓点が邪魔なので、「訓点除去」ボタンを押すと除去する事が出来ます。その後、テキストエリアにある文章をお使ひのアプリにコピー＆ペーストしてお使ひ下さい。

■ Yモードテキストの未来

ウェブサイトの文書をYモードテキスト化する事で、ボタン一つで「正字／新字」「正仮名／新仮名」の表示切替が出来る機能を開発中です。皆さんは「青空文庫」で「旧字・旧かな版しかないけど、新字・新かな版でも読みたい」とか、逆に「新字・新かな版ではなく旧字・旧かな版で読みたい」と思つた事はありませんか。青空文庫には現在そんな機能はありませんが、Yモードテキスト化した文章ではこれが簡単に実現出来るはずです。次はこの機能の実現を目指してみます。

新字・新仮名

正漢字（旧漢字）と歴史的かなづかいの自動変換サンプル

先日、東京駅丸の内駅舎の見物に出掛けて来ました。約七十年前ぶりに大正当時の三階建とドーム屋根の姿に復原された東京駅。路上にも駅舎内にも大勢の見物客がいました。戦前の姿を知る年配の観光客が多いかと思ひきや、意外な事に、どこを見ても二十代前後の若者達が半分位を占めていて、スマートフォンや一眼レフカメラを手に写真を撮ったり、装い新たにした駅舎の完成を祝福するかのやうに、嬉しそうに声を上げながら眺めている姿をあちこちで見掛けました。

新字・旧仮名

正漢字（旧漢字）と歴史的かなづかいの自動変換サンプル

先日、東京駅丸の内駅舎の見物に出掛けて来ました。約七十年前ぶりに大正当時の三階建とドーム屋根の姿に復原された東京駅。路上にも駅舎内にも大勢の見物客がいました。戦前の姿を知る年配の観光客が多いかと思ひきや、意外な事に、どこを見ても二十代前後の若者達が半分位を占めていて、スマートフォンや一眼レフカメラを手に写真を撮ったり、装い新たにした駅舎の完成を祝福するかのやうに、嬉しそうに声を上げながら眺めている姿をあちこちで見掛けました。

正字・正仮名

正漢字（舊漢字）と歴史的かなづかいの自動変換サンプル

先日、東京駅丸の内駅舎の見物に出掛けて来ました。約七十年前ぶりに大正当時の三階建とドーム屋根の姿に復原された東京駅。路上にも駅舎内にも大勢の見物客がいました。戦前の姿を知る年配の観光客が多いかと思ひきや、意外な事に、どこを見ても二十代前後の若者達が半分位を占めていて、スマートフォンや一眼レフカメラを手に写真を撮ったり、装い新たにした駅舎の完成を祝福するかのやうに、嬉しそうに声を上げながら眺めている姿をあちこちで見掛けました。

漢字と縁起担ぎ

中華料理店では、「囍」（双喜）、「𪛗」（倒福）、「招財進寶」を一字にまとめた字など、漢字を使つた縁起物をいろいろ見掛けます。日本人も漢字で縁起担ぎをするのが好きと見えて、「氣」の字の中の「米」は八方にエネルギーを発散する形に見えろとか、「宗神主」を一字にまとめた字（そしじ）は縁起が良いとか言ふ人がゐます。そこまでなら良いのですが、「GHQが言靈^{ことだま}の力を恐れて縁起の悪い字に改悪した」「古来からある字だが、GHQがその字を滅^{うさんくさ}ぼして証拠^{ひれ}を消された」の類の尾鰭^{ひれ}がつくと、途端に、何だか胡散臭い話に化けてしまひます。鵜呑みにしないやう、ご注意ください。

本文書体には旧字フォントを

現在お使いのワープロソフト等でフォントを変更するだけの簡単操作で、JIS 第一・第二水準に新字の字形しかない漢字を旧字で表示・印刷出来る特殊なフォントがあります。中には、JIS 第一・第二水準に漢字があるかどうかに関係なく、すべての新字を旧字に直して表示・印刷出来るものもあります。

あせび 馬酔木明朝	https://metasta.github.io/asebi/
Oradano 明朝	http://www.asahi-net.or.jp/~sd5a-ucd/freefonts/Oradano-Mincho/
三式明朝	https://github.com/nagoya313/Type3Mincho (解説) https://github.com/nagoya313/Type3Mincho/releases (ダウンロード)
暫定正字明朝	https://www.pcc.or.jp/basechar/seijimincho.html
みづのとひつじ 癸 羊 明朝	http://www.asahi-net.or.jp/~sd5a-ucd/freefonts/QuiMi-mincho/

すべての新字を旧字に変換するフォントの例

元の文章	学ぼう歴史的仮名遣
馬酔木明朝	學ぼう歴史的假名遣
Oradano 明朝	學ぼう歴史的假名遣

JIS 第一・第二水準にない旧字のみ変換するフォントの例

元の文章	學ぼう歴史的假名遣
三式明朝*	學ぼう歴史的假名遣
暫定正字明朝	學ぼう歴史的假名遣
癸 羊 明朝	學ぼう歴史的假名遣

* このフォントの場合は、JIS 第三水準に旧字の含まれる字（「歴」など）は、その字で書く必要がある。JIS 第一水準の「歴」だと新字のまま。

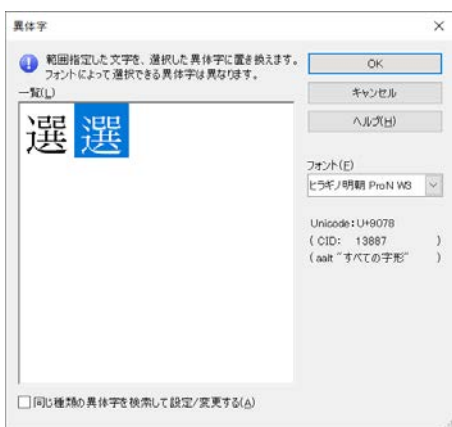
一太郎での旧字入力

今ではすっかり少なくなつた国産ワープロソフト、「一太郎」を忘れないください。実は今でもファンの多いソフトです。

まづ、対象箇所のフォントを Adobe-Japan1-4 以降対応のフォントにして下さい（異体字セレクトによる指定の場合は、游明朝・游ゴシックでも大丈夫です）。

■手動で字形変更（CID による指定）

- ① 文書中の、旧字にしたい文字の前にカーソルを移動するか、文字をドラッグして選択
- ② メニューの 挿入>記号/リーダー/スペース>異体字 を選択し、「異体字」ダイアログを表示
- ※ 「基本編集ツールパレット」の文字>異体字>異体字にも同等の機能あり
- ③ 適切な漢字をダブルクリック（またはクリックした後、[OK] ボタンを押す）



漢字を選ぶ前に「同じ種類の異体字を検索して設定/変更する」にチェックを付けておくと、文書内の同じ文字について、一つ一つ確認しながら置換していく事が出来るので便利です。



なほ、この方法で選択した字にはルビが振れない等の制限があるため、一太郎 2014 以降では、異体字セレクト（IVS）での字形切替をお勧めします。

■手動で字形変更（異体字セレクトによる指定）

- ① 「基本編集ツールパレット」の文字>異体字> IVS を開いておく
- ② 文書中の、旧字にしたい文字の前にカーソルを移動するか、文字をドラッグ

して選択

- ③ 適切な漢字をダブルクリック

書
體
選
び



■異体字セレクト付き Unicode テキストを貼り付け

一太郎 2014 以降では、異体字セレクト付き Unicode テキスト（拙作「正字君」でも作成可能）をクリップボード経由でコピー＆ペーストする事も可能です。

文化に政府が介入する事の功罪

「文化に政府が介入する」のは、良い面もあれば悪い面もあります。全国民が統一された国語を学ぶ、お金の掛かる映画の制作に補助金が出る、歴史的建造物等の文化遺産が法的に保護される等の利点が確かにあります。一方、「クールジャパンと言つてオタク文化を持ち上げる政府」に不信感を持つ人々は多いものです。「良い作品」と「悪い作品」を政府が区別して都合の悪い考へが取り締まられるのではないかと、といふ心配からです。

国語の分野では、国策により統一された国語の普及で、表記や方言の多様性が失はれるのではないかと、といふ心配もあります。日本が戦後に進めたやうな、言語を「スクラップ・アンド・ビルド」する大胆な改革も、先人達が築き上げてきた文化資産を事実上捨てる事になるリスクや、代りに導入された表記が余計な混乱を引き起こすリスクもあり、やるとしても慎重に慎重を重ねて進めないと、取り返しの付かない結果になりかねません。

Wordでの旧字入力

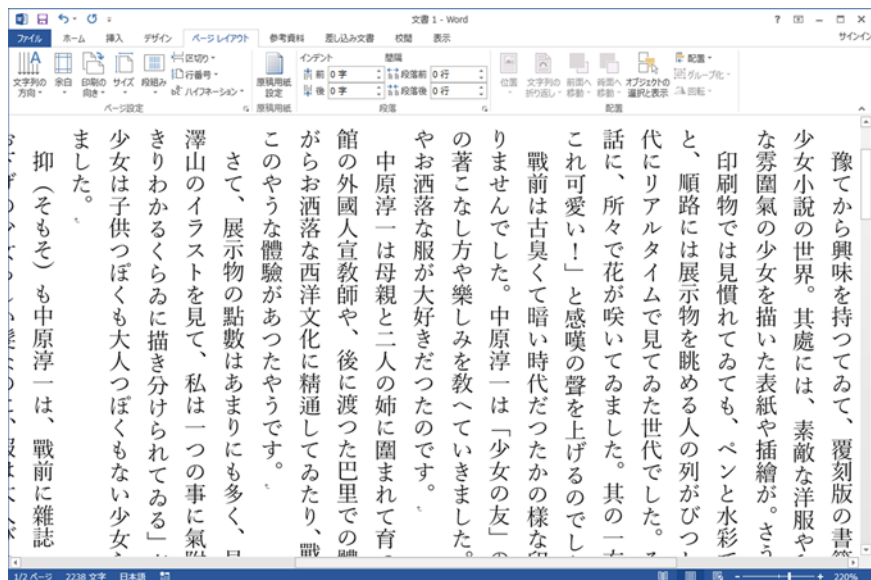
Word2013以降で、異体字セクタ (IVS) に対応しました。また、Windows8.1以降には、Adobe-Japan1 に対応した「游明朝」「游ゴシック」が附属するので、これらの OS 上で普段から Word2013 以降をお使いの方なら、これ以上の追加投資無しで旧字を扱ふ事が可能ですから、お手軽に始められます。

■手動で字形変更

Word には、InDesign や一太郎等の異体字選択機能と同等の機能は存在しない様です（もしご存じでしたら教へて下さい）。

■異体字セクタ付き Unicode テキストを貼り付け

Word2013 以降では、異体字セクタ付き Unicode テキスト（拙作「正字君」でも作成可能）をクリップボード経由でコピー＆ペーストする事が可能です。



Adobe アプリでの旧字入力

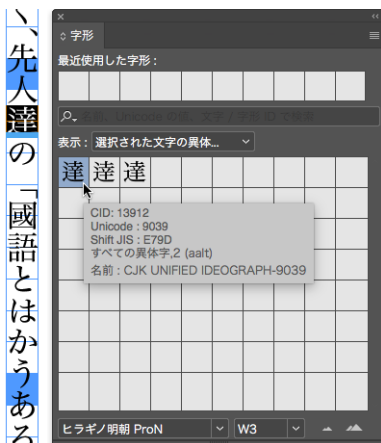
組版ソフトとして一番人気の InDesign
での例を紹介します。Windows 版
でも Mac 版でも操作はほぼ同じです。
Photoshop や Illustrator でも似た操作です。

まず、対象箇所のフォントを Adobe-
Japan1 対応のフォントにしてください。

■手動で字形変更

- ① メニューの ウィンドウ>書式と表
字形 で、「字形」パネルを表示し、「表
示：」の右のリストから「選択された
文字の異体字を表示」を選択
- ② 旧字に変換したい文字を選択
- ③ 「字形」パネルから、適切な字をダブルクリック

※ 字の上にマウスポインタを置くと、その文字の各種コード等が表示される



一度選んだ異体字は、InDesign の中に限り、同じ字形のままコピー&ペースト
が可能です。また、Unicode で同じコードになる異体字は「検索と置換」ダイア
ログでの一括置換は出来ませんので、ご注意ください。

■異体字セレクト付き Unicode テキストについて

異体字セレクト付き Unicode テキストは、あまり安定して動作しないやうで
す。InDesign では、タグ付きテキストファイルの取込をおすすめします。

■「正字君」で出力したタグ付きテキストの読込 (InDesign のみ)

- ① 「正字君」で作成したタグ付きテキストをテキストエディタに張り付け、テキ
ストファイルとして保存
- ② 貼り付け先のフレームを選択し、貼り付け先にカーソルを移動
- ③ InDesign のメニューの ファイル>配置 を選択、ファイル形式は「Adobe
InDesign タグ付きテキスト」を選び、①で保存したファイルを選ぶ

なほ、旧字変換を数多くこなす場合は、次章で紹介する「Glyphconv」をお薦めします。InDesign の画面から直接処理を実行出来て便利です。

■分割禁止で禁則処理もどき？

InDesign の禁則処理は新かなに特化してゐます。「ゝ」「ゞ」等が次行の先頭に行かないやう禁則処理する事は設定次第で可能ですが、「くの字点」を含む単語や、拗音・促音の大書きには対応してゐません。

もし必要なら、「分割禁止」の機能を使用します。分割したくない文字をドラッグして選択し、「文字」パネルメニューから「分割禁止」を選びます。

■ PDF 出力

少部数の場合は、そのままプリンタで印刷して製本すれば冊子が出来上がります。両面印刷ユニットのあるプリンタの場合は、プリンタドライバの設定により、両面に面付けして製本印刷出来る場合がありますので是非ご活用下さい。その機能がない場合でも、PDF 出力してから Acrobat の「小冊子の印刷」機能が使用可能です。

印刷所に発註する場合は、PDF 形式で出力したファイルを入稿します（印刷所によつて対応してゐない場合もありますので、予めご確認ください）。その際は、必ず、フォントを埋め込む設定にして出力します。

旧かな辞書や旧かな一括変換プログラムは「スペルチェッカー」ではない

正しい仮名遣かどうかチェックするのに、旧かな辞書で変換してみたり、旧かな一括変換プログラムに掛けてみる事は、私はおすすめしません。旧かなと新かなの辞書を共用するタイプのものでは、新かなの候補が出る事があります。かな漢字変換システムの AI も新字新かな用ですから、旧字や旧かながなぜか誤りとみなされて新字新かなに訂正されてしまふ場合もあります。

旧かな一括変換プログラムは、ソフトにより精度が違います。『い』『え』をランダムに『ゐ』『ゑ』に変換した「偽旧かな風の文章」を作るプログラムは、控へめに言つても玩具です。「まるやるま君」のやうに比較的精度の高いものもありますが、それでも完璧ではなく、たまに変換ミスもあります。また、旧かなと新かなの混在した文章を読み込ませて正常に変換出来る保証はありません。最後はあくまでも人間の目でのチェックが必要です。

Glyphconvでの字体整理

■ Glyphconv

<https://github.com/igawa-seizo/glyphconv2>

Adobe InDesign CS6 以降で、「拡張新字体」から「所謂康熙字典体」に、またはすべての漢字を「所謂康熙字典体」(旧字)に一括置換します。

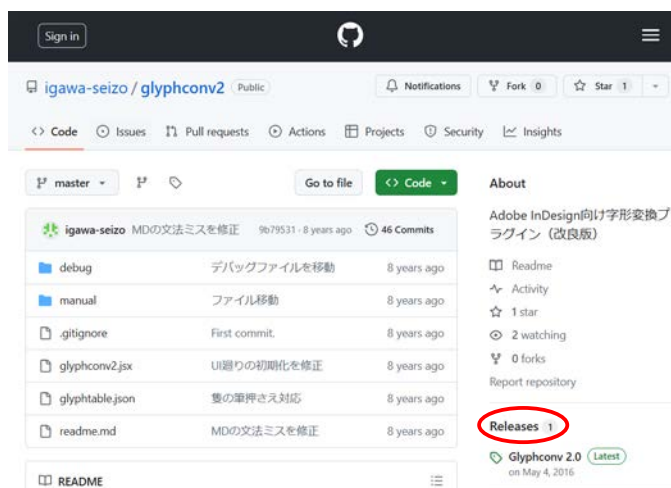
「拡張新字体」とは、「鷗」に対する「鷗」、「瀆」に対する「洿」、「藪」に対する「藪」など、常用漢字表外の漢字の略字体の事です。商業印刷の世界では表外字に所謂康熙字典体を使ふのが一般的でしたが、コンピュータの世界では特に1983年に改訂されたJIS規格により、この種の文字が増え、一般的な印刷の常識と乖離した状態が続いてきました。近年は文化庁もJISも表外字は所謂康熙字典体を原則とする方針に戻りつつあります。

私の主宰する歴史的仮名遣による文芸同人誌「正かなづかひ 理論と実践」や後継誌「みんなのかなづかひ」では、このソフトを活用して上記の字体整理を行った事があります。「新字旧かなや旧字旧かなの原稿の版を組む」といふ現場のニーズから生まれ、作者や私が実際に使ひながら改良を重ね育てきたソフトです。

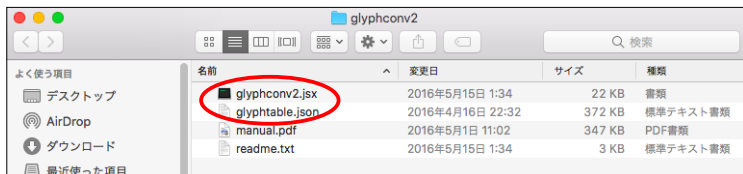
作者はMacでの動作確認はしてゐないものの、Macでも動くやうです。

■ダウンロードとインストール

① Glyphconvのサイトの右側の、「Releases」と書かれた部分をクリックする。

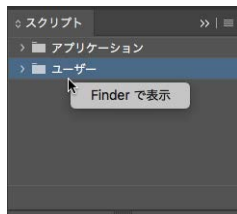


② Assets の「glyphconv2.zip」をクリックするとダウンロードが始まる。



③ ZIP ファイル内の glyphconv2.jsx と glyphtable.json を、InDesign のスクリプトフォルダにコピーする。

参考までに、InDesign のスクリプトフォルダは、InDesign のメニューの ウィンドウ>ユーティリティ>スクリプト で「スクリプト」パネルを表示し、Windows 版：「ユーザー」を右クリックし「エクスプローラーで表示」を選択



Mac 版：control キーを押しながら「ユーザー」をクリックし「Finder で表示」を選択

で開く事が出来る。

エクスプローラや Finder から直接開く場合は

Windows 版：C:\Users\（ユーザ名）\AppData\Roaming\Adobe\InDesign\（バージョン名）\ja_JP\Scripts\Scripts Panel

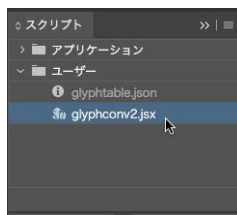
Mac 版：Macintosh HD/ ユーザ /（ユーザ名）/ライブラリ /Preferences/ Adobe InDesign/（バージョン名）/ja_JP/Scripts/Scripts Panel

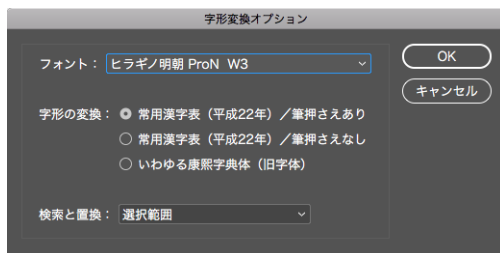
■使用方法

① フレーム上の選択範囲を文字変換対象にしたい場合は、あらかじめ選択する。

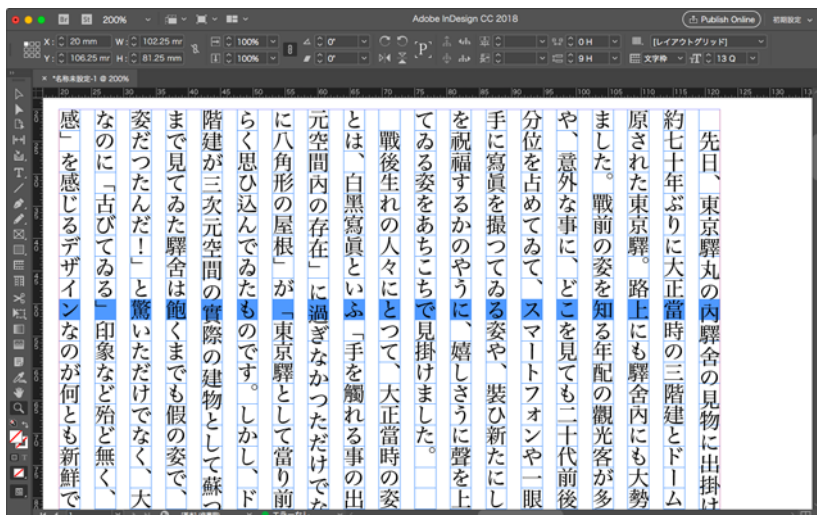
② 「スクリプト」パネルが表示されてゐない場合は、InDesign のメニューの ウィンドウ>ユーティリティ>スクリプト で、「スクリプト」パネルを表示。

③ 「ユーザー」の下に「glyphconv2.jsx」をダブルクリックする。





③ フォント（一覧にない場合は「全ての OpenType Pro 以上のフォント」、字形の変換（旧字の場合は「いわゆる康熙字典体」、検索と置換を行ふ範囲（「ドキュメント」「ストーリー」、文字が選択された場合は「選択範囲」）を選択し「OK」ボタンを押す。



⑧出力結果例。なほ、フォントによっては文字がうまく変換出来ない事もあるので、確認する事をおすすめる（本書執筆時点では、Windows 版・Mac 版とも、游明朝・游ゴシックの字形変換が一部うまくいかない模様）。

TeX (テフまたはテックと読みます。E の字を下げて書くのが正式な名称ですが、さうしない場合は TEX ではなく TeX と、小文字で書く決まりになつてゐます。この記事では、電子書籍版から皆さんがコピー & ペーストして利用する際の利便性を考へて、以降、小文字で記述します。) と云ふ無料の組版ソフトをご存じですか。大学の理数系の学部に入つてゐる人であれば、数式を含むレポートの作成に使つた事があるかも知れません。これはアメリカのドナルド・クヌース博士により 1978 年に初版がリリースされたソフトで、自著の組版の品質に完璧さを求めるあまり、自分でコンピュータ組版ソフトと専用のフォント (METAFONT) を製作したのが切つ掛けださうです。商業印刷にも堪え得る高品質の組版が可能で、特に、数式を多用する文書の組版となると、TeX の右に出るものはなかなかありません。

このソフトはフリーソフトとして頒布され、様々なコンピュータで利用可能となつてゐるだけでなく、日本語組版対応、PDF ファイル出力、OpenType フォント対応等、有志により様々な改良が行はれ続けてゐます。

一般的な DTP ソフトやワープロソフトと異なり、TeX には WYSIWYG (What You See Is What You Get = 出力結果通りのレイアウトが表示される形式) 的な編集画面は有りません。少し似たものを挙げるなら、皆さんが日頃御覧のウェブページ (ホームページ) は、HTML といふマークアップ言語で書かれてゐます。HTML ファイルはメモ帳等のテキストエディタで編集可能なファイルで、文章と一緒に、「ここは見出し」「ここは本文の段落」「ここに画像を埋め込む」の様な指示が書かれてゐます。そしてブラウザはその指示に従つて文章をレイアウトして表示するのです。TeX は HTML と異なり、画面表示ではなく紙への印刷に特化したマークアップ言語ですが、テキストファイルとして記述する事や、文章と一緒に「ここは見出し」「ここは脚注」「ここにこの数式を入れる」の類の指定をするといふ発想は同じです。

近年は PDF ファイルが印刷所への入稿やネットでの電子文書頒布に広く用ゐられるやうになつたため、TeX と PDF との連繫、つまり TeX の形式で記述したテキストファイルを PDF 形式に変換して印刷所に入稿したりプリンタで印刷する事が一般的になりました。

本書の初版が発行された 2015 年と異なり、TeX は使ひやすいソフトになりま

した。PC へのインストールが不要なクラウド版も登場し、日本語文書にも対応してあるだけでなく、近年は「源ノ明朝」「源ノ角ゴシック」の改造版で Adobe-Japan 1-6 にも対応する「^{ほら あじ}原ノ味明朝」「^{ほら あじ}原ノ味角ゴシック」が TeX 用の和文標準フォントとして使はれ始めています。そのため、本書の前の版にあつた、ヒラギノフォントの初期設定についての複雑な手順は、今回バツサリカットしました。もはやその必要がほぼなくなつたからです。

Cloud LaTeX (クラウド版の TeX 環境)

<https://cloudlatex.io>

なほ、TeX は Word の様に親切に作られてゐるソフトではありません。今では統合環境ソフトやクラウド版も登場して以前よりは手軽に使へるやうになりましたが、本来はコマンドシェル (Windows では「コマンドプロンプト」) からキーボードで命令を打ち込んで使用するソフトですし、英語でエラーメッセージが表示されるのが普通です。ですから、「わからない言葉があつたら辞書を引かずに人に聞く人」「パソコンを使つてみてトラブルが発生したら、夜中だらうがお構ひ無しに知り合ひのパソコンオタクに長電話を掛けて、付きつきりのサポートをさせる人」には、このソフトは絶対に向いてゐません、と、お約束通り脅かしておきます。面倒な事が大嫌ひな方には、一太郎や Word や InDesign をお勧めします。

なほ、TeX の参考資料としては、奥村晴彦／黒木裕介著『LaTeX2e 美文書作成入門』(技術評論社) や、ウェブサイト「TeX Wiki」(<https://texwiki.texjp.org>) も併せてご覧ください。

TeX ソースファイルのコンパイル

TeX 形式のファイルは、テキストエディタを使用して作成します (これをソースファイルと呼びます。拡張子は .tex です)。そのファイルを TeX のプログラムにより dvi 形式のファイルに変換します (プログラミング言語と同じやうに、一般に「コンパイル」とも呼ばれます)。dvi ファイルを直接表示・印刷出来るソフトもあるにはあるのですが、TeX 独自のこの形式のままではなく、使い勝手の良い PDF 形式に変換して表示・印刷する事が今では一般的です。

クラウド版の Cloud LaTeX では、「マイページ」の中の「新規プロジェクト」を選択し、「空のプロジェクト」を選ぶと、一覧にプロジェクトが追加されます。そのプロジェクトをクリックすると、テキストエディタが起動します。ここに TeX のソースファイルを書き、ツールバーの「コンパイル」を押せばコンパイルされ

て PDF ファイルが作成されます。

クラウド版や統合環境ではなく、コマンドプロンプトから実行するタイプの TeX 環境の場合は、TeX のソースファイルをテキストエディタで作成後、以下のコマンドを入力する事で、TeX ファイルをコンパイルして PDF ファイルを作成する事が出来ます。(TeX ソースファイル名が test.tex の場合。最終的に test.pdf が作成されます。)

```
platex test.tex
dvi2pdf test.dvi
```

それでは、以下の内容のファイルを作成した後、コンパイルして PDF ファイルを作成してみませう。

```
\documentclass[12pt,a5j]{article}
\usepackage{otf}
\AtBeginDvi{\special{pdf:pagesize width 148mm height 210mm}}
\begin{document}

It's fine day today.

\UTF{6B77}\CID{13451}\CID{13945}假名\CID{13754}は生きてゐる

\[ x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \]

\[ F = \int_a^b f(x) dx \]

\end{document}
```

実行結果は次の頁の通りです。

`\usepackage{otf}` と記述する事で、「OTF パッケージ」を使用可能です。そして本文で `\UTF{Unicode での文字コード}` または `\CID{CID での文字コード}` と記述することで、Shift-JIS にない範囲の文字を指定する事が出来ます。

このように、旧字での組版が出来るだけでなく、英語の合字 (fi の部分) や数式も綺麗なフォントで出力される事がわかりでせう。



It's fine day today.
歴史的假名遣は生きてゐる

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

$$F = \int_a^b f(x)dx$$

漢字の字源を鵜呑みにすべからず

「漢和辞典に書かれてゐた説だから」「著名な研究者が言つてゐたから」「テレビのバラエティ番組で大学教授が説明してゐたから」だけの理由で漢字の字源を鵜呑みにするのは危険です。専門家がまるで相手にしない怪しい説である事がよくあり、我々には判断が難しいものです。

漢字の形を何か霊的な力と結び付けるやうな、オカルト染みた字源の説明もよく見掛けますが、これも専門家はまづ相手にしない説です。

フォント埋込とライセンス

PDF ファイルには「フォント埋め込み」機能があります。フォント埋め込みを有効にして PDF ファイルを作成すると、文書で使った文字の分だけですが、フォントも一緒に PDF ファイルに埋め込まれます。ファイルを受け取った側のコンピュータにそのフォントが無くても、埋め込まれたフォントを使用して元々の書体通りに表示や印刷をする事が出来るのです。つまり、PDF ファイルを作る側の PC さへ旧字対応してゐれば、PDF ファイルを閲覧する側の PC には旧字対応のフォントが入つてゐなくても大丈夫といふ事です。

しかし、フォントを埋め込んだ PDF ファイルの頒布は、フォントの作者や販売元の許諾が別途必要になるケースがあるので御注意ください。この点、Adobe Creative Suite/Creative Cloud 附属の小塚明朝・小塚ゴシック（無料の Acrobat Reader に附属のものはフォント埋込ライセンスが附属しないので注意）や、株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズのヒラギノフォント等は、商業印刷にも堪える品質であるだけでなく、フォントの埋め込まれた PDF ファイルの頒布も比較的自由です。

なほ、個人のウェブサイトやブログに、「××というフォントは PDF へのフォント埋め込みが禁止されている」の類の情報が掲載される事がありますが、情報が古くて現在は解禁されてゐたり、販売元に確認してみると実際には大丈夫だったり、不確実な情報が載せられてゐる事も少なからずあるので、決して鵜呑みにせず、どうしても不安であるなら、販売元に直接確認なさる事をお勧めします。

現状では、「紙媒体では商業目的でも自由に利用出来るが、ウェブサイトでの利用や PDF ファイルへの埋め込み等は別途ライセンス料が必要」とするフォントも少なからずありますし、そもそも電子書籍で利用可能なライセンスなのかわかりづらい事も時々あり、これは日本での電子書籍普及の障碍としか思へません。電子書籍作成においても面倒な手続きが不要で、出来れば小規模出版でも手頃なライセンス料で利用できるフォントが今後増える事を期待してゐます。

最大の難関は「大人の事情」

あまりネガティブな事は言いたくないのですが、遅かれ早かれ直面する事ではあるので、ここで書く事にします。

「旧字旧かなを覚える」のも、「それをコンピュータで使ふ技術を習得する」のも、確かに大変です。しかし率直に言ひます。一番大変なのは、「旧字旧かなに対する反対意見に対応する事」です。

そんな事は気にせず堂々と「旧字旧かな」や「新字旧かな」の文章の作成に挑戦してください、それが文化活動ですよ……と言ひたいところですが、突然反対意見に遭遇するよりも、予め心の準備が出来てゐた方が良いでしょう。以下に、十分想定される反対意見を山ほど書いておきますので、覚悟しておいて下さい。

「こんな一部の人がしか読まないものを作っても採算なんか取れないよ」

「採算が取れない上に労力も余計に掛かるよ、旧字旧かなの校正が出来る人なんてほとんどいないけど、そんな人なんか確保出来ないよ」

「学校では新字新かなで習ってるから、児童・生徒に旧字旧かなの文章なんか読ませたら混乱するよ^{〔要出典〕}」

「言葉に正しいも正しくないもない。みんなが使っている言葉が実質的に正しいんだ。お前の『正しい』を押し付け^{〔要出典〕}ないでくれ」

「言葉はコミュニケーションの道具なのに、みんなが^{〔誰?〕}読めない旧字旧かなで本を出すなんて相手に読ませる気がない独り善がりだ^{〔要出典〕}」

「何だ、新字新かなでも書けるのか。ならいつも新字新かなで書けよ」

「そんなに旧字旧かなで書きたければ、会社の書類も含め全部旧字旧かなで書け。それが出来ないなんて、旧字旧かなを通す覚悟がないのか」

「そんなに旧字旧かなの文章が書きたかったら、旧字旧かなに戻すよう政府に働きかけて、それが通ってからにしろ^{〔なぜ?〕}、絶対無理だけど」

「そんなに古い書き方が好きなら、カタカナ語は一切使わず、文語体で書け、漢文で書け、変体仮名で書け、万葉仮名で書け^{〔なぜ?〕}」

「旧字旧かなで文章を書くなんて、まるで新字新仮名で書く人が非難されてる^{〔要出典〕}みたいでいい気はしないね」

「戦前教育世代が旧字旧かなを使うのは仕方ないし、プロの作家がそれ

で書くのもいいけど、戦後教育世代の一般人が一生懸命真似をしたところで『痛い』ものにしか見えない^{「なぜ？」}」

「そんなに旧字旧かなを使いたいのなら、一字一句間違えるな」

「古文っぽい文体ではなくて、ただ仮名遣いを古文っぽくしただけで、それを直せば普通の現代文の書き言葉になるような中途半端な文章を書く人ばかりで、生理的嫌悪感が湧く。漱石や芥川も現代仮名遣いで書いた^{「要出典」}のに」

「旧字旧かななんて一般人には難しいんだから、エリートだけに任せればいいんだ」

「言葉は時代によって変わるものなのに、時代の変化^{「いつ？」}を受け入れずに古い書き方にこだわるのは賢明ではない」

「難しくて面倒な旧字旧かなを捨てて、簡単で便利な新字新かなを我々が民主的に選んだ^{「要出典」}歴史を否定するつもりか」

「旧字旧かななんか軍国主義的な政府による押し付けで^{「要出典」}、今でも使ってるのは戦前回帰したい右翼くらいのもんだ^{「要出典」}、我々は自由で民主的で^{「要出典」}誰もが読み書き出来る新字新かなを使うべきだ」

「歴史的仮名遣は国語の伝統ではない^{「要出典」}し、必死にしがみつくのは馬鹿だ、あれは明治政府の創作した『作られた伝統』だ^{「要出典」}」

等々……。なほ、真面目な反対よりも、挑撥目的の事が多いものです。

旧字旧かなが「『古風で非日常的』の枠内で大人しく」してゐる限り、文句を言ふ人も少ないものです。ところが、その枠を越えて「現代の歴史的仮名遣」「日常の歴史的仮名遣」を書くと、途端にこの種の反対意見に遭遇します。

「それでも敢へて私は旧字旧かな、または新字旧かなで文章を作成したいのだ」といふ事でしたら、これらの意見にどう対応するか、予め準備しておく事を強くお勧めします。本書には回答例は書きませんので、各自お調べ下さい（私自身の回答例はこのサイトにあります：<https://osito.jp/minkana/qa.html>）。

そして最後にこの反対意見も追加しておきます。

「うわあ、俺は事実を言っているだけなのに、何だかわけのわからない反論をしてきて気持ち悪い！ ストーカーだ！^{「なぜ？」}」

「私がこうやって正直な意見を言うのは言論の自由なのに、それにいちいち突っかかってくるのは言論の自由の侵害だ！」

「旧字旧かな信者はどうしていちいち言い返すの？ そんな事しているから余計に『触れてはいけない頭がアレな人』だと思われるのでは？ 大人の対応は出来ないの？」

「私は旧字旧かなは愛するが、旧字旧かな信者は駄目だ。旧字旧かな信者自身がこんな風に旧字旧かなの評判を損ねていて、あなた方の界限から人が離れていく^{〔要出典〕}原因を作っている。それが嫌なら、そんな人を排除する自浄作用を働かせろ」

なるほど、一見正論に見えます。でも本当にそれで良いのでしょうか。

言ふまでもない事ですが、何らかの組織やグループに所属してそこから本を出す場合には、必要に応じて「ここは旧字や旧かなを採り入れても良いのでは」といふ提案をしたり、実際にそれが実行に移される事もあるとはいへ、最終的にはグループで決まった方針を尊重しなければなりません。そこで無理な抵抗をする事は、私は決してお勧めしませんし、それこそ、反論封じやいぢめの口実ではなく本当に「界限の評判を損ねる」事になるでせう。

その代り、個人的に本を出したり、ウェブサイトやブログ等を書く分には、どんな言語で書かうが、どんな表記を採用しようが全く自由ですから、そこでその自由を大いに満喫しませう。

時には社会の「はみ出し者」扱ひされがちな、毀譽褒貶^{きよほうへん}相半ばする「旧字」や「旧かな」。しかしこれも「日本の文化」。過去の表記としてであれ、現代の表記としてであれ、適切な機会があれば今でも是非活用したいものです。

言葉は「コミュニケーションの道具」だけのもの？

「言葉はコミュニケーションの道具だし、読みづらい人に配慮して旧かなは遠慮すべきだ」と言ふ人がゐます。確かに学校の授業や会社を含めた共同作業等では周囲に合せた方が良いでしょう。しかし「旧かなでこそ読みたい」人もゐます。そして言葉は「思考の道具」「表現の道具」「記録・保存の道具」でもあります。「旧かなによる昔の本から知らない事を学ぶ」「旧かなによる表現の可能性に挑戦する」のは専門家だけの特権ではなく、みんなに門戸が開かれてゐます。もし機会があれば是非挑戦してください。

旧字旧かな原稿の入稿と校正

☐新字 ☐旧字

☐新かな ☐旧かな（捨て仮名の使用） ☐ひらがな ☐カタカナ

その他ご要望()

※旧字は印刷用フォントにある範囲内で対応致します。新字→旧字変換
もこちらで致しますので、新字が混ざった状態でも大丈夫です。

※原稿はメール本文にお書きくださるか、またはメールにテキストファイルを添付してお送りください。旧字で書かれた PDF ファイルをお送りくださる場合も、テキストファイルでの原稿を一緒にお送りください。

原稿フォーマット

短歌や俳句の同人誌をはじめ、「旧かな」での投稿や、場合によっては「旧字」も受け付けて本を作成する場合は、上のやうな表記指定を原稿と一緒に提出してもらふ事をお勧めします。ただし、私の経験からすると、表記指定と原稿の表記が食い違ふのはザラです。「新字旧かな」指定なのに原稿に一部旧字が混ざつてゐる、「捨て仮名（「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」等の小書きの仮名。旧かなでは使用しない事も多いが、どちらでも良い）を使はない指定だが、原稿に捨て仮名が混じつてゐる」等。一部であれば表記指定に合わせて修正すれば良いでせうが、あまりにも多い場合は執筆者に確認ませう。なほ、手書き原稿では戦前でも略字を多用するのが普通でした。その代り、活字に起こす時には正式な字になります。

原稿の電子入稿は、電子メールが便利ですが、「**テキストファイルまたは Word の文書ファイルで受け付ける**」事を原則とする事をお勧めします。特に、Word の文書ファイルには、「校閲」機能、つまり修正箇所やスタッフのコメント等を記録する機能があるのが、校正および執筆者への確認の際に便利です。

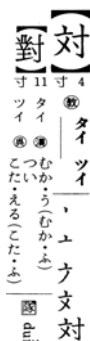
時には「TeXのソースファイル」とか「『今昔文字鏡』のフォントを使った旧字旧かなのPDFファイル」等、想像もしてゐない色々なフォーマットが来る可能性がありますし、私のサークルでも実際来た事がありますが、その際も必ずプレーンテキストファイルを一緒に送つてもらふやうにしてください。「執筆者が想定する旧字やレイアウトのイメージ」にはPDFファイルが適してゐますが、InDesign等で原稿をレイアウトし直すには元のプレーンテキストが必要だからです。

なほ、Word で原稿を送つてもらふとしても、「執筆者が Word 等で行つたレイアウトを InDesign でもそのまま活かす」事は、完全には難しいので、原則として、執筆者のレイアウト例を参考にしながら、InDesign で組み直す方が良いでしょう。

新字旧字変換および校正

「漢字の新字旧字変換はこちらで出来ますので、旧字に直すのは無理なく出来る範囲で大丈夫です」と、予め知らせておくのも親切です。旧字体に完全対応したソフトをわざわざ揃へない限り、入力・表示出来る旧字体には限界があります。たとひ揃へてゐたとしても、執筆の際には、Shift-JIS や Unicode で表現出来る範囲で旧字を使ふ方が無理なく入力出来ます。最終的には、組版時にきちんとした旧字体に直せばいいのです。

さうなると当然、組版には、昔の活版印刷の職人に近いくらゐ、旧字体に関する知識が求められます（昔の職人は、略字も多用した手書きの原稿を見ながら、正式な字を拾つたものです）。私の場合は、常用漢字の書き方に関する市販の書籍が大変参考になりました。この種の本には、旧字体と常用漢字の略字体との対応表や、表外漢字の書換一覧が付いてゐるので、逆に新字から旧字への置換へを知るのにも役立ちます。漢和辞典にも新字に対応する旧字が掲載されてゐます（右は明治書院発行「新釈漢和辞典〔新訂版〕」。私の同人サークルでは、執筆者からの要望が特になければ、原則としてこの漢和辞典を基準に字体を選定した）。



たまに、新字が複数の旧字に対応する場合があります。「弁」は単語により「辨」「辯」「瓣」になります。「障害」は元々「障礙」「障碍」「障害」と書かれてゐた中から、国語改革で一つだけ残つたものです（「同音の漢字による書きかえ」の類は、国語改革以前は書換前の表記しかなかつたとは限らず、書換前と書換後の両方の表記が存在したケースが多い事に注意）。国語改革以前は、「着」と「著」を書き分けずどちらも「著」にする事もあれば（台湾の中国語でも似た使ひ方を見掛けます）、現代と同じく書き分ける事もありました。書き分けない場合は、「着物を着る」「到着」を「著物を著る」「到着」と書きます。原稿がどちらかに統一されてゐればいいのですが、もし混在してゐる場合は、どちらを基準にするのか執筆者に確認して下さい。

また、現代で新たに旧字旧かなの文書を作ると云ふ事は、旧字と新字の両方の字体が混在した環境で原稿を書くと云ふ事でもあります。日本語入力は新字新か

なに特化して設計されてをり、旧字旧かなは対応してみたとしても、AI 変換のやうなハイカラな機能は無く、現状飽くまで「おまけ機能」の域を超えませんから、気を付けないと旧字のつもりが新字、或いは逆になる事がよくあります。また、旧字旧かなに熟練した人も、使ひ始めて日が浅い初心者もいますが、いずれにしろ、文芸とネットでのみ使つて日常生活では用ゐない人が多いでせう。

その為、原稿の仮名遣の誤りや、旧字と新字の不統一等は、新字新かなと比べて、どうしても起こりやすいですから、入念なチェックが必要です。先に挙げた「漢字は旧字を使ふのか新字を使ふのか」「『っ』等の捨て仮名を使ふか、大書きにするか」だけでなく、原稿によつては「『ゝ』『ゞ』や、くの字点を使ふか」「ルビは字音仮名遣にするか」等にも注意し、もし不統一があつたら執筆者に確認させよう。固有名詞や引用文だけ新字新かなと云ふ事もありますから、旧字体への一括変換ではくれぐれもお気を付けください。忘れがちですが、ペンネームは旧字体にするかどうか確認すると良いでせう。

仮名遣の確認ですが、古文でない限りは古語辞典の出番はあまりありません。現代語の国語辞典の幾つかには、対応する歴史的仮名遣も掲載されてゐます。私の場合、「広辞苑」（右は見出し語の一例）や「角川国語辞典」（歴史的仮名遣だけでなく、旧字も掲載）に加へて、戦前に発行された「言海」「広辞林」も参考に使つてゐます。ただし、この時代の歴史的仮名遣の規範は古い事があります。たとへば、どちらも「或ひは」を正しい仮名遣として載せてゐますが、現在は歴史的仮名遣でも「或いは」が正しいとされてゐます。「どの時代の仮名遣が基準なの？」としばしば聞かれますが、昔の文章の復刻や、特定の時代の作風を真似るのではなく、現代の言葉としての俳句や短歌や小説や随筆等を書くのであれば、「現代語の国語辞典通りの、21 世紀の現代の歴史的仮名遣」です。

なほ、旧字旧かなだからと云つて、必ずしも縦書きにこだはる必要はありません。とは云へ、右横書きと云ふ意味ではありません。戦前の算術や英語の教科書を見る機会があつたら、右から左ではなく、今と同じく左から右の横書きである事にきつと驚く事でせう。本書を含め、私のサークルで発行してきた本は、それに倣つて、左横書きが相応しい記事はそのやうにしてゐます。

「校正」と「添削」は異なる、といふ事も念頭に置いて下さい。つまり「漢字や仮名遣の誤りを直す」事と「この文章では意味が通りづらいので、こんな表現が良いのでは」と提案する事とは、似て非なる物です。前者は、執筆者に明らかな意

れふ-やふとむ[修正]

図があつて標準的でない漢字や仮名遣を使つてゐる場合を除き、なるべく直すべきですが、後者は「この表現に直すべき」といふより「この表現はいかがですか、といふ提案」に留め、直すにしても執筆者の同意の上で直すのが原則です。校正スタッフを複数置ける場合は、漢字や仮名遣を中心に担当するスタッフと、全体的な表現や事実関係のチェック等を中心に担当するスタッフに分けるのも良いかも知れません。

また、文語体の歴史的仮名遣に慣れてゐても、口語体の歴史的仮名遣には慣れてゐない人もゐるかも知れません。他のスタッフに、口語体の歴史的仮名遣を「文語の活用通りではない」「文語では普通使はない音便だ」等と間違つて誤字扱ひされても鵜呑みにせず、口語体の歴史的仮名遣のモノサシで再チェックしませう。

間違へやすい仮名遣

まづ、現代仮名遣いで書かれた文章を歴史的仮名遣に直す場合は、直し忘れにご注意下さい。仮名遣は「いる→ゐる」とア・ワ行五段活用動詞→ハ行四段活用動詞（言う→言ふ等）の使用頻度が高いものですが、それでもこの直し忘れが結構多いものです。私自身も気付かずスルーしてしまつた失敗がかなりあります。

次に、「～よう」と「～やう」の書き分けです。簡単な見分け方として、漢字で「様」と書ける方が「やう」になります。「見よう」「さうしよう」は「様」ではないので「よう」、「そのやうに」「有りやう」は「様」なので「やう」になります。

「ヤ行下一段活用動詞」の畧にも要注意です。

	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形 已然形	命令形
①	言	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ
②	言	へ	へ	へる	へる	へれ	
③	消	え	え	える	える	えれ	えろ・えよ
④	消	え	え	ゆ	ゆる	ゆれ	えよ
		ナイ・ズ	マス・タリ		トキ	バ	

「②と③はどう区別すればいいのだらう」と思ふでせう。その「補助線」となるのが、①と④です。②は、ハ行四段活用動詞に由来する可能動詞なので、ハ行で活用します。一方③は、文語ではヤ行の「ゆ」「え」での下二段活用（④）です。口語では下一段活用になるので、「ア行」と説明される事も多いのですが、文語との関係で見ると「ヤ行」と覚えた方がわかりやすいでせう。ア行にしるヤ行にしる、ハ行での活用ではないので、「消へる」にはなりません。似た例として、「老いる」「報いる」も、文語では「老ゆ」「報ゆ」になるので、同じヤ行での活用

になり、「老ひる」「報ひる」にならないのです。

他にも「イ」と読むが「ひ」や「ゐ」と書かない例もあります。「いらつしやる」「ございます」は「ゐらつしやる」「ござゐます」にはなりませんし、形容詞の「～い」や「ない」は「～ひ」や「なひ」にはならず、「～い」「ない」のままです。元々「い」で書く語に由来したり、「ござります→ございます」「美しき→美しい」のやうに音便で「い」になる場合は、「い」のままです。

旧字旧かなの校正に慣れる秘訣

旧字旧かなに慣れる秘訣は「よく読みよく書く」事です。まづ、読む事から。古本屋にも時々ある覆刻版とか文学全集でも良いし、「国立国会図書館デジタルコレクション」<https://dl.ndl.go.jp>にある電子化されたものでも良いので、旧字旧かなの出版物を沢山読みませう。「古文は苦手だなあ」とお思ひの方も、明治～昭和の口語文なら、思つた程難しくないかも知れません。自分にとって興味深い分野から入つて読んでみませう。

次に、旧字はともかく旧かなは、「毎日書く」事が、覚える為の早道です。旧字は機械的な変換にだいふ頼れますが、旧かなばかりは人間の目による確認がどうしても必要なので、こちらが優先です。私が旧かなで文芸作品を執筆したりインターネットでも時々使ふ事があるのは、腕を鈍らせない為でもあります。ただし、旧字や旧かなを快く思はない文芸同人誌に旧字や旧かなで入稿したり、旧字や旧かなで返事されるのを快く思はないネットユーザに旧字や旧かなで返事する事はトラブルの原因となり得るので、くれぐれもご注意ください。私の場合は、「不特定多数が読む文章と、現代語を旧かなで書く事に好意的だと明らかにわかる人への返事は新字旧かなか旧字旧かな、見知らぬ特定の人に返事する場合は新字新かな」を原則とし、あとは臨機応変に対応してゐます。

旧字旧かなの本において校正は重要任務

商業出版ならともかく、同人誌の世界では、私の観察する範囲では、校正専門の担当者を置く事はあまり見掛けません。新字新仮名で書くには、コンピュータの日本語入力システムが誤字を親切に指摘してくれますし、学校で習ひ日常的に使つてゐる表記なのでまづ迷ふ事はありません。コンピュータでの組版システムも新字新かな表記をベースに設計されてゐます。ですから、編集者や組版担当者が校正担当を兼任する程度で十分な事が多いものです。

しかし、新字旧かなや旧字旧かなとなると話は違ひます。コンピュータが標準

では対応してゐない表記である上に、日常的には使つてゐない人も多い事、そして新字新かなで書いた文章を新字旧かなや旧字旧かなに直す際に直し漏れが出やすい事と、ハードルは幾つもあります。私の主宰してきた「正かなづかひ 理論と実践」誌では、兼任ではない校正担当者が校正を行ふやうになつてから、劇的に誤植が少くなつた過去があります。

世間では、「品質管理」の仕事は裏方と看做され、あまり表に出る事が無いものです。たとへばコンピュータプログラム開発の世界では、とすると「テスト担当者」は「プログラマ」よりも下つ端の誰でも出来る仕事のやうに誤解されがちですが、実際には「仕様を誰よりも、S Eやプログラマが忘れかけてゐる事でさへも熟知して（忘れてゐるからバグが出るもの）、的確に指摘出来る事」「変化に敏感に気付ける事」「一見想定外の事を想定出来る事」といつた高度な事柄が求められる仕事です。

新字旧かなや旧字旧かなの原稿の校正も、単なる旧字や旧かなの知識つまり「理論」以上の、「実践」を含めた知識が求められます。俗語や方言などはどこまでの範囲を表記の許容とみなすか、旧字旧かなと新字旧かなの入り組んだ文章（商業出版では旧字に寄せる事も多い）が正確に組まれてゐるか、読んできちんと意味の通る内容か、内容に矛盾は無いかな等、やはり高度な事柄が求められます。それに加へ、独り原稿に向き合つて格闘すると云ふ、芥川龍之介『トロツコ』の終盤の主人公のやうに時には心細さも感ずる、孤独な戦ひでもあります。

もつとも、これらの事柄は、戦前の文献を読むのが大好きで、旧字旧かなを日常的に使つてゐる人であれば、多くは自然と身に着いていく事ばかりですので、旧字旧かなの校正者を目指していraftしやる方はご安心下さい。

このやうに、旧字旧かなの文書は、普段作成してゐる新字新かなの文書に比べると、執筆も校正も組版も手間が掛かる事は否めません。しかし、その作業を通して旧字旧かなを学ぶ良い機会にもなるでせう。また、コンピュータの限界に挑戦してみるのも楽しいものですし、パソコンオタクで理系人間の私が敢へて旧字旧かなでの出版に手を出す切つ掛けの一つでもありました。プログラミングに興味のある方は、新字新かなから旧字旧かなへの変換支援ソフトや、旧字旧かな文書の校正支援ソフトを作つてみるのも面白いでせう。

本書から、個人レヴエルでも旧字旧かなの文書や文芸同人誌等を作成する事が出来る事を知つて頂ければ、そして幾らかでもその為の助けになれば幸いです。

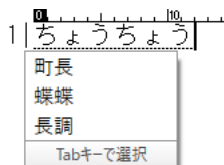
旧字旧かな文書作成の未来は？

コンピュータのなかつた昭和 21(1946) 年は、漢字と歴史的仮名遣を「厄介もの」とみなし、「漢字制限で新聞社の印刷所の活字棚を減らせ」「漢字をなくしてタイプライターで打てる国語にしよう」「仮名遣もやめて、なるべく発音通りに統一しよう」と思つた専門家が「当用漢字表」「現代かなづかい」(後の「現代仮名遣い」)を作り、教育現場に導入しました。

1976 年の書籍『漢字と図形』(渡辺茂、NHK ブックス 264) には、「漢字の欠点と思われるものに、タイプライターのないことがある。もちろん職業用のものはある。しかし、文字盤を見ないで指先だけで打てるものがない。つまり英文タイプに匹敵する和文タイプがない。ないというより、できる道理がないのである。」とあり、1970 年代までは、「タイプライターの鍵盤で漢字を打てる機械など出来るはずがない」と信じられてみました(なほ、渡辺茂氏は後の 1983 年に「ワープロの出現によつて訂正する必要が出てまゐりました」と語つてゐます(「日本語とワードプロセサー」、『國語國字』第 119 号、pp9-15、國語問題協議會))。

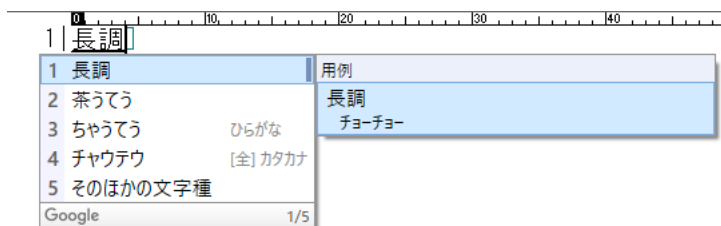
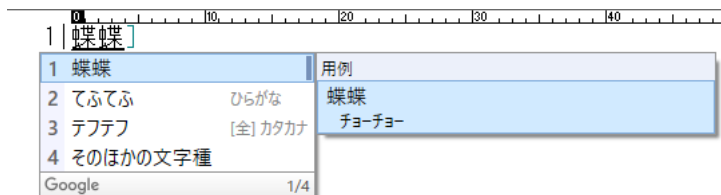
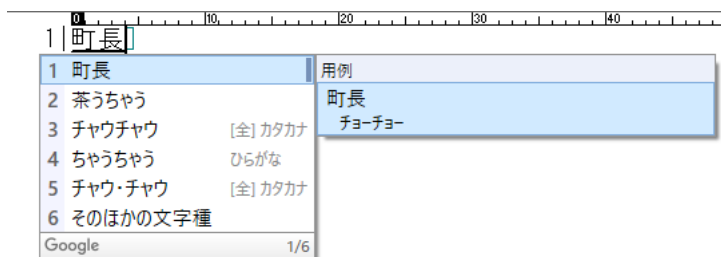
ところが、1970 年代終盤には「タイプライターの鍵盤で漢字を打てる」夢の機械である、かな漢字変換による日本語ワードプロセッサが現実のものとして登場しました(漢字表をペンでタッチする方式ならその前からあつた)。「当用漢字の 1850 字でも多過ぎる、もつと減らせ」どころか、常用漢字の数はさらに増えてゐますが、コンピュータ技術の活用で不便どころかむしろ便利になつてゐます。

それでは、仮名遣はどうでしょうか。あんなに「厄介もの扱い」された歴史的仮名遣が、もしかしたら「同音異義語を絞り込みやすくする救世主」になるかも知れません。「覚えるのも難しい」とされてゐたはずが、コンピュータを毎日使ふだけで知らないうちに仮名遣が覚えられる、魔法のやうな時代が来るかも知れません。たとえば、こんな具合です。



現代仮名遣いによるかな漢字変換システムの場合。

「ちょうちょう」と入力すると「町長」「蝶蝶」「長調」の候補が出る。



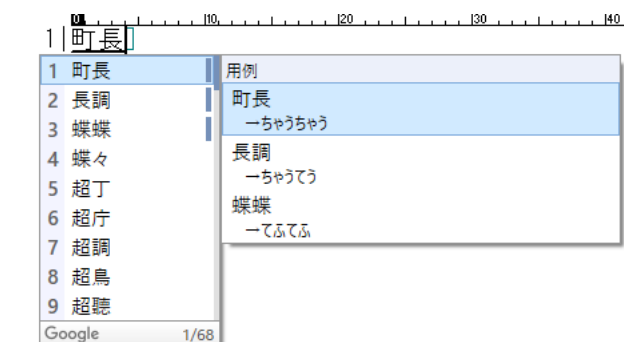
歴史的仮名遣によるかな漢字変換システムのアイディア（上）。

「ちやうちやう」→「町長」

「てふてふ」→「蝶蝶」

「ちやうてう」→「長調」の候補が出る。

全部知らないと文章が書けないわけではない。忘れたら「ちょうちょう」と入力すれば、全候補と仮名遣が表示されるので、都度覚えて次から使へる（下）。



新字新かなが広く使はれてゐる現在、コンピュータの旧字旧かな対応は「ニッチ」な分野である事は否めません。それでも、細々と需要もあるのは確かです。先に挙げたものの他に、このやうなものも今後求められるでせう（既にどこかで研究中のもの、実現してゐるものも含む）。

- ・スマートフォン対応 IME（特にフリック入力）
- ・旧かなによる自動ルビ振り（総ルビの本の復刻に便利）
- ・旧かなスペルチェッカー
- ・旧字旧かな対応 OCR、崩し字対応 OCR
- ・旧字対応フォント
（文字鏡契沖のやうに字形に統一性のあるものを明朝とゴシックで）
- ・旧字旧かな練習ドリル（入力者の学習用）



附録：国語表記の歴史を振り返る

初期の国語は漢字を借りた「万葉仮名」で書いてゐた、といふ話や、その後に発音が変化してかな表記と食ひ違ひが生れて、古典でおなじみの仮名遣が生まれた、といふ話は、いちいち説明しなくても、皆さん既にご存じの事でせう。

「発音が変つたのなら、その時にかなもその当時の発音に合わせて直せば良かったのに」といふのは現代人的な発想で、当時の人々にとつては「話し言葉は話し言葉、書き言葉は書き言葉」でした。つまり、書き言葉に話し言葉の決まりをそのまま持ち込むのではなく、「書き言葉には書き言葉に適した決まりがある」と考へたのです。発すればすぐに消える話し言葉と異なり、書き言葉は何百年、何千年も残りますから、根本的な決まりは同じままが良いものですし、音声言語ではなく文字言語に特化した決まりの方が良い。そこで、細かな部分は変化したもの、仮名遣、たとへば「イ」の音に対し「い」「ひ」「ゐ」のどれが当てはまるかといった「仮名の使ひ分け」の事ですが、根本的な書き方は古来の書き方をそのまま受け継いでいきました。

古来の仮名遣をそのまま受け継いでいくのは不便かといふと、音と表記が必ずしも一対一対応しないので、確かに不便な面はありました。しかし、一旦覚えれば便利な面も多かつたのです。動詞など用言の活用では、現代仮名遣では「語根が変る」「ア行とワ行にまたがつて活用する」等の問題が出てきますし、名詞でも「いね」＋「つま」＝「いなづま」になる等、元の言葉を類推しづらい仮名遣になる事がありますが、この点では古来の仮名遣の方が一理ある、といへました。

仮名遣の規範

昔は一人一冊国語辞典を持つ事も、政府の定めた統一カリキュラムに基づく教育もありませんでした。ですから、「古来の書き方に倣つて書く」といつても、「自分が『これが古来の書き方だ』と思つた書き方で書く」つまり一部自己流になつてしまふ事がよくありました。これは平安時代など大昔の話だけではなく、昭和初期であつても、細かい部分の仮名遣を間違ふ人は結構多いものでした。我々が漢字を時々書き間違ふのと同じやうに、です。

そんな中、平安時代末期から鎌倉時代にかけて活躍し、皆さんもご存知の「小倉百人一首」の選者でもある藤原定家（ふぢはらのさだいへ、または、ていか）は、本の文字を綺麗にレイアウトする方法や、前の時代の本を根拠に「い・ひ・

る」「え・へ・ゑ」「お・を」の書き分け、つまり「仮名遣」についてまとめた「下官集」といふ本を書きました。ここで解説された仮名遣（「定家仮名遣」と呼ぶ）は、主に歌人の間で広まっていきました。

江戸時代になると、契沖が古典の研究から「定家の仮名遣には一部間違いがあるのではないか」と疑問を抱き、「和字正濫鈔」を著しました。定家仮名遣の修正版ともいへるこれを「契沖仮名遣」（明治以降「歴史的仮名遣」とも）と呼びます。歌人の間では引き続き定家仮名遣が使はれ続けたものの、契沖仮名遣も国学者を中心に使はれ始め、明治時代には学校教育に採用される事になりました。また、本居宣長は漢字の音読みの仮名遣（字音仮名遣）を研究し基礎を固めました。

繰り返しますが、当時、百点満点の正しい仮名遣で書けた人はほとんどいませんでした。ある人は80点、ある人は50点、ある人は30点だったかも知れません。「それ見ろ、だから『仮名遣千年の伝統』なんてものは嘘だし、現代仮名遣いにこそ理があるのだ」と言ふ人が一部にみえますが、しかし当時の発音通りに書いてみたわけでもありません。江戸時代の「いろはかるた」が「発音通りの書き方」でない事は一目見てわかります。国語学者の山田孝雄は「文部省の仮名遣改定案を論ず」（1925）の中で、「仮名遣は守られてゐないので改めよ」といふ意見に対し、ゐど ゐのしし まゐる ゐる／すゑ／をか をけ うを あをい をしい／ふぢ／みづ／けふ きふ／八行四段活用動詞の「はひふへ」／形容詞の連用形の音便の「う」／四段活用動詞及び「ある」の未然形に「う」、は現実に殆どの人が間違へてゐない、と反論してゐます。

普通教育開始

明治時代に、寺子屋での教育から、政府がカリキュラムを定めた学校教育に変わった事は、皆さんご存知の通りです。その際、仮名遣は契沖の方式が採用され、漢字も従来通り教へられました。もちろん英語ではなく日本語による教育です。別に変へる必要性を感じなかつたからです。

この頃から、学校教育が「日本の国力を付け近代化する為に重要なもの」とみなされるやうになりました。そして「国語の標準的な書き方を国が決めて、学校教育を通して普及させる」時代が始まりました。

漢字廃止の動き

江戸時代末期になると、一円切手の肖像にもなつた前島密は、「教育の難しい漢字を廃止し、かな書きの国語にする」事を提案する内容の「漢字御廃止之議」を徳川慶喜に提出したと言はれます。

ヨコガキ カタカナ ニ アラタメル 順序

カナモジカイ ノ 國字改良案ヲ ヨコガキ カタカナ デ アル。シカシ コノ 理想案ヲ イキナリ スベテノ 方面ニ オコナウ ノデワ ナイ。タクミニ 過渡期ノ 混亂ヲ サケテ、水ノ ヒツキ ニ ツク ヨウニ オノズカラ アラタメル 方法ニ ヨル ノデ アル。ソノ 順序ヲ 方面ニ ヨッテ オナジ デワ ナイ ガ、下ウ ソノ 代表的ナ 順序ヲ シシタ モノ デ アル。

1 文章ヲ 左カラ ヨコニ カク

縦書を廢して左からの横書に爲す事が國字改良を實行する上の當面の方法である。左横書は徳川時代までは殆んど無かつた事であるが、明治以後次第に左横書が増加して來た。この傾向を益々促進すべきである。

2 漢字ヲ 制限スル コト

殲滅の殲の字はこの漢語以外はほとんど用がない。このことばを根絶と改めるとか、皆殺しと言いかえるとかすれば殲の字は不用になる。漢字にはこの様に整理する事のできるものが多い。これらを整理するのが第二の仕事である。

3 カタカナ 語形ノ 採用

挨拶の字は此の コトバ 以外には用のない字であるが、サリテ ほかに適當な代用語もない。これらは元のままの發音を カタカナ で アイサツ と書くことにする。スッポン とか クシヤミ とかの ムズカシイ 漢字もこうしてドシドシ 整理してゆく。

4 ワカチガキ ノ 採用

漢字を へらして ゆくと カナ ばかりが ながく つずいて 讀みにくくなるが、このようにワカチガキ を すれば 決して 困ることはない。西洋諸國の モジ が ヲズカノ 字數で 實用に なつてゐるのも ワカチガキ を しているから である。

5 カナ ヲ カタカナ

カナ ヲ カタカナ ニ 統一シ、漢字ヲ サシアタリ ドウシテモ 漢字デ カカナケレバ 意味ノ ヲカラヌ 科學ト化學ノ ヨウナ モノ ダケニトドメ、カタワラ 用語ノ 改善ヲ ハカッテ、コノヨウナ 同音異義語 ヲ ナクスル。

6 サイゴノ メアテ ワ ヨコガキ カタカナ

コノヨウナ ススミカタ ヲ モッテ スレバ、オノズカラ ヨコガキ カタカナ ノ ヨノナカ ニ ナル。

そして、文明開化により日本人の驚いた事の一つは「タイプライター」。「数少ないアルファベットを猛スピードで叩いて手早く文書を作る欧米語に対し、我々の国語には何千もの漢字があり、タイプライターに不向きだ。そんな非効率で時代後れの漢字は早く無くし、かな書きやローマ字の国語にして、欧米に早く追いつけ」が、それ以来、一部の人の悲願となってきました。「漢字を無くした方が覚えやすく便利な国語になる」といふ善意で、決して悪い動機はありませんでした。

ただし、漢字を廃止した後の表記については、「カタカナだけの表記にする」派（「カナモジカイ」を中心としたカナモジ派）と「ローマ字だけの表記にする」派（「日本のローマ字社」等のローマ字派）に分かれてみました。なほ、ローマ字派はヘボン式派と日本式派に分かれてみました。

そして、カナモジやローマ字による本、またはそこまでいかなくとも漢字を大幅に制限した本を作る、カナモジによる店の看板や広告を作る、カタカナのモダンでお洒落な書体を作る、カナモジによるタイプライター（カナタイプ）を普及させる、といった運動も同時に行っていました。

日本が台湾・朝鮮・南洋群島・東南アジアの殖民地に進出すると、現地での日本語教育が表音仮名遣（発音に合せたかな表記）で行はれる事もありました。ただし、「日本人が使ふ本物の日本語と異なる」といふ事で不評だったとも聞きます。

横書き登場

また、日本語を横書きする事が本格的に普及したのも明治時代からです。これまでは、日本語は「縦書き」が原則で、店ののれんや寺社の扁額等では例外的に「一行一文書の縦書き」として右から左に書く事も一応あつたのですが、日本語を西洋の言葉と同じく左から右に書く（左横書き）事が広まつたのはこの頃ですし、右横書きにしても「縦書きではなく横書き」だといふ認識がだんだん広まってきました（たとへば、右横書き用の鍵括弧等の約物が使はれたりした）。

口語体

明治時代には、より会話に近い文体、つまり口語体で小説等を書く事も広まってきました。ただし、仮名遣は旧かなです。

現代は学校教育で歴史的仮名遣を「文語文法」の一つとして解説する事があつたり、夏目漱石をはじめ明治の文豪の作品が現代仮名遣いに直されて出版される事も多く、「旧かな＝江戸時代以前の文語文」「新かな＝明治以降の口語文」と誤解してゐる人も最近は多いのですが、「文語体・口語体」と「旧かな・新かな」は別の話です。当時は「口語体も文語体も旧かなで書く」事が一般的でした。

変体仮名の整理と字音棒引仮名遣

「国語を易しいものに改造しよう」といふ熱烈な運動が起こる中、政府も対応せざるを得なくなり、明治 33（1900）年、学校の教科書から変体仮名（身近な例としては、「うふぎ（うなぎ、「奈」の別の崩し方）」「生^ぢず（そば、「楚」「者」の崩し字）」等で見掛ける）が姿を消し、漢語の仮名遣も「発音を基にした書き方」（字音棒引仮名遣い）になる事が決まりました。現実問題としては、一般社会では昭和初期まで手書き文字に変体仮名が使はれ続けましたが、活字の本ではこの頃から変体仮名はあまり使はれなくなっていました。漢語の仮名遣は「蝶々」を「てふてふ」ではなく「ちょーちょー」、「小学校」を「せうがくかう」ではなく「しょーがっこー」と書く、これまでにない斬新な書き方だったためか不評で、たった 8 年で戻される事になりました。

国語調査委員会設置

明治 35（1902）年、政府に「国語調査委員会」（後の「臨時国語調査会」「国語審議会」の前身）が設置されました。「文字ハ音韻文字（フォノグラム）ヲ採用スルコトシ、仮名羅馬字等ノ得失ヲ調査スルコト」つまり「漢字廃止」の方針が最初から決まっていた。

大正 13（1924）年、臨時国語調査会により、発音を基にしたかなの書き方である「仮名遣改定案」が可決され、これは後の「現代かなづかい」のベースとなりました。昭和初期の出版物の極一部に、この「仮名遣改訂案」に基づく書き方をしてゐるものがありますが、本格的な普及には至りませんでした。

漢字制限（使用出来る漢字の数を減らす事）や漢字の字形の簡略化も戦前から検討されてゐました。後に国語審議会委員として戦後の国語改革を指揮した、カナモジカイの松坂忠則も、昭和 15（1940）年に、カナモジカイ制定の「カン字五百字制限案」と文部省国語調査会制定の「発音式カナヅカイ法」に従って書いた「火の赤十字」といふ作品を発表したり、山本有三も「路傍の石」の印刷に漢字の簡易字体（「學」を「学」と書く等）を採り入れたりしました。なほ、山本有三は振仮名（ルビ）に反対した事でも知られてゐます。

ところで、「カナモジカイは漢字廃止が目標のはずなのに、どうして『カン字五百字制限案』なんてものを出したのか」と疑問をお持ちのかたもいらつしやるかも知れません。確かにカナモジ派もローマ字派も、最終的には漢字廃止が目標ではありましたが、急激な漢字全廃を打ち出せば猛反対されるのは目に見えてゐますし、社会の混乱を避け、徐々に漢字を減らしていく事を目指してゐたのです。

また、「現代かなづかいや当用漢字表に漢字廃止を主張する人が関わっていたというのは考え過ぎだ、単なる陰謀論だ」と言ふ人も一部にゐますが、嘘だと思ひでしたら、まづはカナモジカイ・日本のローマ字社・日本ローマ字会の出してゐる資料を直接お調べ下さい。「我々の成果」として宣伝されてゐるはずです。

またとない好機訪れる

戦前は、漢字制限や仮名遣の表音化（発音に基づく表記法を採用する事）を推進する人々よりも、それに積極的に反対する人々や、反対しないまでも現状維持する人々が多数を占めてゐました。

そんな中、国語の改造を目指す人々にとつて、またとない好機が訪れました。敗戦です。今度は、日本を統治した米国が漢字の廃止を目指して動き始めたのです。

当時の欧米では、「漢字は象形文字と同じく文明の後れた人々の文字で、エリート階級が知識を独占するためにわざと難しい言語表記なのだ。だが我々の様なアルファベットによる表記は庶民にも学びやすい、進んだ国の言語表記だ」といふ偏見が広まつてゐました。これが間違ひである事は、漢字の簡略化すらしなかつた台湾・香港の成長を見れば一目瞭然です。日本人ですら、「漢字があるから戦争なんて愚かな事が起きて、戦争にも負けたのだ」と思つた人がゐたさうですが、敗戦のショックはそれほど大きかつたのでせう。

閑話休題。米国による識字率調査の結果、予想ほどには識字率が低くなかつたため、米国主導による国語改造は結局行はれない事になりました。しかし、諦めなかつたのは日本人の方でした。昭和 21（1946）年、戦前から暖められてきた国語改造案の集大成である「現代かなづかい」および「当用漢字表」が内閣告示され、漢字の字体についても後に「当用漢字字体表」（1949）によつて、従来は「略字であり、改まつた字ではない」とされてゐた字形が正式な字形に格上げされました。当用漢字表は、戦後の混乱期において、11 月 5 日に漢字表を公表後、11 月 16 日に内閣告示と、猛スピードで決まつたものですが、この改革を支持する人々はこれを「国語の民主化」と呼んで喜びました。

この時期の改革により、「仮名遣の表音化」「漢字制限」「文語体から口語体」「左横書きの普及」等、戦前から「カナモジカイ」や他の漢字廃止を訴へるグループの主張してゐた意見の多くが採り入れられる事になりました。

ただし、漢字は数が制限されてゐたとはいへ、辛うじて残る事になりました。現代の感覚では「当たり前のように存在する」漢字かな交じり文ですが、漢字廃止を訴へるグループもこの部分は「妥協」してくれたからこそ、結果として残つてくれたのです。

「歴史的仮名遣から現代かなづかいへは平和裏にバトンタッチされた」といふのは現代人的な誤解で、実際には「千何百年に一度の根本的な改革」であり「大事件」でした。これまでは「昔の書き方を基準に、かなの書き方を決める」「仮名遣は語により決まる」が原則だったのが、「現代の標準語の発音により決まる」と、根本原則がまるまる変ったのです。

しかし一般庶民の関心は、習得しやすい現代かなづかいよりも、どこまでが範囲なのか覚えづらい当用漢字表の方でした。「犬はあつても猫はない」「猫」は表外漢字）とか「鐵を鉄と書くなんて、金を失ふみたいで縁起が悪い」等と揶揄されました。従来人名に広く使われてきた漢字が使へなくなつたのも問題で、たとへば「弘」「宏」は表外字なので使へないといふ不満も多く、昭和 26（1951）年に「人名用漢字」として別途追加されました。

当初は文筆家の間でも現代かなづかいと当用漢字への反対論が根強く、旧字旧かなで書き続ける事にした人も少なくありませんでした。「罰則もないし、旧字旧かなを通していける」と安心してゐたのも束の間。官公庁や新聞や雑誌が新字新かなになっていっただけでなく、学校教育も新字新かなで進められていきました。すると、新字新かなで教育を受けた世代がどんどん社会に出ていきます。児童向けの本だけでなく大人向けの本も彼等に合せて新字新かなになっていきます。旧字旧かなで出版社に入稿しても、出版社の方で新字新かなに直されて印刷されます。それに対して文句も言ひづらい状況です。印刷所の設備も新しくなつて旧字の活字が無くなり、新字で印刷するほかないのですから。

こんな具合で、昭和 20 年代前半に仮名遣と漢字が變つて、昭和 30 年代にはもう大半の出版物が新字新かなになつてしまひました。それほど急激な改革でした。昭和 30 年代には辛うじて旧字旧かなのまま重版が続いてゐた本も、この頃から新字新かなに改版されていきました。ただ新字新かなになつただけでなく、漢字が大幅に削減されて「かなに開かれた」ので、元の文章の持つ雰囲気は台無しです。しかし、その新字新かな版で初めて明治の文豪の作品に触れた少年少女は、「夏目漱石は新字新かなで『坊っちゃん』を書いた」と信じて読むやうになりました。旧字旧かな版を読んだ事がないのですから、まあ、知らぬが仏です。

そして、戦前教育世代がリタイアしていくにつれ、出版社でも、旧字旧かなを校正出来る人がだんだん減つていきました。あちこちの出版社に「旧かなでは出せない」と次々と断られ、やつと歴史的仮名遣で出してくれる出版社が見つかったところで、今度は誤植がひどい、といった具合。旧字旧かなで本を出す事は法

律違反ではないし自由です。しかし、こんな状況では、いくら著者の要望とはいへ、「ここまで苦勞して旧字旧かなにこだはるのか、新字新かなで普通に出した方が楽なのに」といふ事になります。もう、後戻りは出来ません。カナモジ派やローマ字派をはじめとした国語改革推進派の「作戦勝ち」は明らかでした。

漢字廃止論が下火に

昭和 36 (1961) 年、「国語審議会委員の選任が表音主義者（仮名遣の表音化を推進する人々）ばかりに偏る」といふ不満を理由に、五人の委員が脱退する事件が起きました。文化庁のサイトにある国語審議会の議事録を見るとわかりますが、戦前に発足した組織の割には民間人が数多く参加する一見民主的に見える組織ではありましたが、内部では「メンバー同士の談合で次期メンバーが決められてしまひ、急進的な国語改革を進める人々が永久に居坐る体制になつてしまつてゐる」といふ不満も一部から上がつてをり、それがつひに爆発したのでした。

結局、政府は国語審議会を「文部大臣の諮問機関」とし、「委員の互選」の制度の廃止も決められました。表音主義者にとっては「これまで民主的にメンバーを選んできたのに、国家が介入した」と不満だつたやうですが、逆に急進的な国語改革に反対する人々にとっては、「民主的とは口先だけで、実態としては表音主義者に牛耳られてきた国語審議会が、やつと改善される」制度改正でした。

昭和 37 (1962) 年・40 (1965) 年に、国語審議会で吉田富三委員は「国語は漢字かなまじりをもってその表記の正則とする。国語審議会は、この前提のもとに国語の改善を審議するものである。」といふ内容を、国語審議会の名で世に公表する事を提案しました。漢字仮名交じり文で書く事を当然と思つてゐる吾々は、何だ当り前の事だらうと思ふものですが、「1,000 年、2,000 年後には漢字はなくなるだろう」と主張する人が実際に委員の中にある以上、明治 35 年の漢字廃止の方針が今でも残つてゐるのではと疑はれてもをかしくない状況でした。

それに対する回答は「文部省も国語審議会も、漢字制限はしても漢字全廃は意図してゐない」といふ趣旨のものでした。もうこの時期には戦後の混乱もだいぶ収まり、急進的過ぎた国語改革を反省する意見も出始めて来た頃で、「漢字全廃となるとやり過ぎだ」といふ風潮になつてきてゐました。上手く言質を取れたものです。そしてこの「吉田提案」は最終的に受け入れられ、そしてこの時を境に漢字全廃の主張も徐々に下火になつて現在に至ります。

現代仮名遣い・常用漢字表

昭和 61 (1986) 年に「現代かなづかい」が廃止されて「現代仮名遣い」に、昭和 56 (1981) 年に「当用漢字表」が廃止されて「常用漢字表」になりました。「常用漢字表」で「使用する漢字の範囲」ではなく「漢字使用の目安」と、制限的な意図が緩和されたり、細かな変更はあつたものの、大部分は「現代かなづかい」「当用漢字表」で決められた国語表記の追認でした。

ワープロ登場

昭和 53 (1978) 年、東芝から「かな漢字変換」を搭載した初めての日本語ワードプロセッサが登場しました。そして 1980 年代になると個人でも手の届く価格帯で日本語ワープロが手に入る様になりました。

かつて「何千もある漢字はタイプライターの鍵盤に収まらないので、カナモジだけの、ローマ字だけの国語にしよう」と言つてゐた人もゐましたが、タイプライターに似た鍵盤を使つて漢字を打てる夢の機械がやつと出来たのです。もつとも、それらの人にとっては、何千もの漢字を自在に出せる事はあまりお気に召さなかつたやうです。「ワープロは漢字の無制限な使用を助長する」と叩く人も少なからずゐました。

しかし、国語改革にまつはる漢字の問題はこれで終つたわけではありませんでした。「コンピュータ用の漢字コードが、書ける漢字の範囲を制限する」時代の到来でした。当用漢字表・常用漢字表にない漢字は、国語改革以前と同じ正字体で印刷するのが世間の常識だつた中、1983 年の JIS 日本語コード改訂（蛇足ながら、この改訂の中心となつて携はつてゐた野村雅昭は漢字廃止論者としても有名）により、一般的ではない略字体でしか表示・印刷出来ない漢字がいろいろ出た問題を覚えてゐる人も多いでせう。また、ユニコードにより中国や韓国と漢字コードを共通化させる時代が来ましたが、日本と中国本土で漢字の字形を変更しなければ問題を最小限にしていまうべく統一出来たところを、もはやそれも難しくなつてしまひました。覆水盆に返らず。もうあきらめるしかありません。

こんな具合ですつかり現代社会に定着してしまつた新字新かな。しかし時には「新字新かなで書くのが当り前」といふ常識を疑つてみるのは如何でせう。私のやうに現代の生きた言葉として新字旧かなや旧字旧かなを書く事まではしないといふ方でも、国語改革以前の著作を原文通り旧字旧かなで引用・覆刻したり、戦前を舞台にしたフィクションにと、是非いろいろ活用してみて下さい。旧字や旧かなは特別な人の為のものではなく、「みんなの為のもの」です。

国語改革を支持した人々、反対した人々

前島密 一円切手の肖像でも知られる、近代郵便制度の創設者。慶応時代に、漢字は教育の妨げとなるとして廃止を求める『漢字御廃止之儀』を徳川慶喜に宛てて書いたとされる。

福澤諭吉 『文字之教』の中で、漢字制限に言及した。

上田萬年 国語学者。国語改良運動の成果として、明治後期に「学校」を「がくかう」ではなく「がっこー」と書く様な、通称「棒引き仮名遣」が採用されたり、文部省の国語調査委員会で漢字廃止の方針が決まったりした。

山下芳太郎 「仮名文字協会」（「カナモジカイ」の前身）を設立。カナタイプライターの普及運動を進め、タイプ向けのカナ活字も設計。

伊藤忠兵衛 伊藤忠財閥の二代目当主および呉羽紡績の設立者で、カナモジカイの創立委員。伊藤忠・丸紅・呉羽紡績ではカタカナ表記が社内文書に採用されたり、カナタイプライターが導入されたりした。

山本有三 目が悪く、その原因は漢字とルビにあるとして廃止を主張した。『路傍の石』の作者としても有名だが、戦前の版でも漢字の略字の活字を一部使用して印刷された。

松坂忠則 カナモジカイ所属。国語審議会で戦後の国語改革を進めた中心人物の一人。「カン字五百字制限案」「発音式カナヅカイ法」に基づいて書いた本も。

土岐善麿 ローマ字論者。国語審議会の会長を11年間務めた。

保科孝一 国語学者。漢字制限や仮名遣改訂を主張し、国語審議会でそれを進めていった。

金田一京助 国語学者、アイヌ語研究者。漢字を全廃するのは行き過ぎとしたものの、戦時中は「文化戦」の一環として「大東亜共栄圏に新しい仮名遣の国語を広める」事を主張し（この種の主張をする者は金田一京助に限らず当時他にもゐた）、戦後はGHQの国語改革の方針を追風に、国語審議会で漢字制限や現代かなづかいなどの国語改革を進めた。

梅棹忠夫 日本ローマ字会会長を務めた。漢字廃止論者。著書「知的生産の技術」でも知られる。

野村雅昭 漢字コード改訂（83JIS）に携はった。著書『漢字の未来』では、「文字体系としての漢字に欠陥がある」「漢字カナまじり文だけが最高の表記法だと信じ込む夜郎自大的な過信から、一日もはやくぬけだすべきである。」等と、漢字廃止を主張した。

白石良夫 元文部省国語調査官。定家や契沖の仮名遣の規範は使用実態に乏しく、歴史的仮名遣は明治政府によつて作られたもので、百年ちよつとの歴史しかない、と主張し、歴史的仮名遣を擁護する意見を批判。

森鷗外 小説家。臨時仮名遣調査委員会での演説『仮名遣意見』で、発音的な仮名遣は「許容」する事はあつても「正則」にすべきではないと論じた。

与謝野晶子 歌人。仮名遣表音化を批判し、仮名遣は難しくないとは主張。

山田孝雄 国語学者。「山田文法」として知られる文法理論でも有名。「文部省の仮名遣改定案を論ず」で、歴史的仮名遣への反対意見を論駁。

芥川龍之介 小説家。『文部省の仮名遣改定案について』で、仮名遣改定案の問題点を指摘し批判した。

橋本進吉 国語学者。上代特殊仮名遣の研究で知られる他、学校文法のベースとなつた、「橋本文法」として知られる文法理論でも有名。『表音的仮名遣は仮名遣にあらず』では、仮名遣の発生当初から単に音を写すものではなく語を写すものだつた、と説き、表音的仮名遣（後の現代かなづかいもその一種）は従来の仮名遣と性質の異なるものであると指摘した。

時枝誠記 国語学者。「時枝文法」として知られる文法理論でも有名。現代かなづかいを批判したものの、歴史的仮名遣寄りの仮名遣改訂私案も提言。

新村出 『広辞苑』の編纂者。現代かなづかいを快く思つてをらず、広辞苑の前文を、歴史的仮名遣でもあり現代かなづかいでもある文章（通称「広辞苑前文方式」）で書いた。

福田恆存 評論や、英文学の翻訳、戯曲等で知られる。金田一京助との間で、仮名遣に関する論争を雑誌上で行つた。後に雑誌『聲』に連載した記事を基に、現代かなづかいの問題点を批判し歴史的仮名遣を擁護する『私の国語教室』を書いた（歴史的仮名遣擁護論の種本として今でも愛読される）。国語改革の見直しを求める「国語問題協議会」の初期メンバーの一人。

石井勲 「子供には漢字よりかなの方が易しい」とする小学校の教育方針を批判し、直接漢字で言葉を教へる幼児教育法「石井式国語教育」を始めた。

丸谷才一 小説家、評論家。古典の引用を歴史的仮名遣、地の文を現代かなづかいで書く事に疑問を持つたのが切つ掛けで、歴史的仮名遣で書く事を再開したといふ。国語改革を批判する文章も多い。

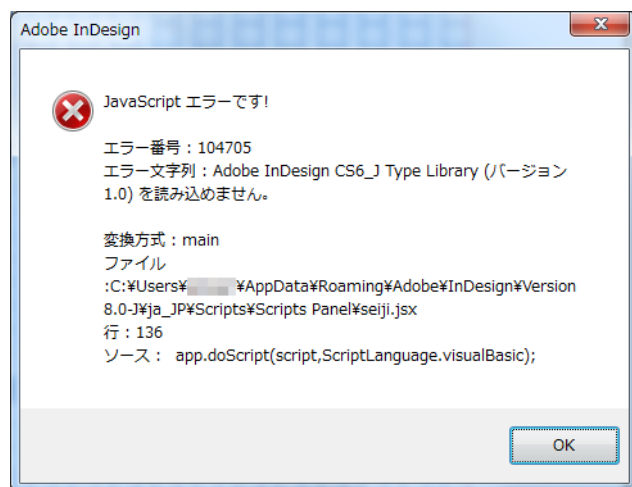
萩野貞樹 国語学者、評論家。国語問題協議会常任理事を務めた。著書『旧かなづかひで書く日本語』で、旧かなには合理的な面があると説き、現代仮名遣いやその背後にある精神を批判した。

附録：InDesign スクリプトについて

■ Adobe InDesign CS6 で VBScript が使用出来ない？

Adobe InDesign には、JavaScript/VBScript (Windows 版) や AppleScript (Mac 版) で記述されたスクリプトを実行する機能があります。

ところが、InDesign CS6 では以前のバージョン (私の場合従来は CS4 を使用) と異なり一つの問題があります。VBScript で記述されたスクリプトファイルを実行しようとしても全く反応が無かつたり、JavaScript から `app.doScript` を使用して VBScript を実行しようとするこんなエラーが表示される事があるのです。



JavaScript だけでしかサポートされない機能や、VBScript でしかサポートされない機能がそれぞれある為、どの場合も JavaScript に移植すれば良いなんて単純な話ではなく、何とか VBScript を実行出来る様にしなければなりません。

どの環境でも当てはまるかどうかは不明ですが、私の PC にインストールされた InDesign CS6 の場合、下記のレジストリの内容に誤りがありました (インストーラのバグかも知れません)。


```
[HKEY_CLASSES_ROOT\TypeLib\{F4B43528-68EA-4c29-8A18-6FBD8E3C24C4}\1.0\0\win32]
```

```
"C:\ProgramData\Adobe\InDesign\Version 8.0\ja_JP\Scripting  
Support\8.0\Resources for Visual Basic.tlb"
```

よく見ると、C:\ProgramData\Adobe\InDesign\ の下の Version 8.0-J フォルダが、Version 8.0 と、-J が抜けた状態です。レジストリエディタで

```
"C:\ProgramData\Adobe\InDesign\Version 8.0-J\ja_JP\Scripting  
Support\8.0\Resources for Visual Basic.tlb"
```

と、正しいパスに修正してやる事で、VBScript が無事実行出来る様になります。

■ InDesign から外部プログラムを実行するのに役立つ関数

私が旧字による組版作業用に個人的に作成した InDesign 用スクリプトから、役に立つかも知れない関数を幾つか公開します。

なほ、エラー処理は省略してあるので、必要に応じ追加して下さい。

```
//外部プログラムの実行  
//引数 cmd : コマンドおよび引数(リダイレクトは直接使用不可、その場合はバッチファイルを使用)  
//引数 option : ウィンドウの状態(0~10)  
//引数 wait : 実行終了を待機ならtrue  
//戻り値 : エラーレベル(正常終了=0)  
function execCommand(cmd, option, wait){  
    var script="", strWait="";  
  
    app.scriptArgs.setValue("result", "0")  
  
    if (wait){  
        strWait = "True";  
    } else{  
        strWait = "False";  
    }  
  
    script += "Set objWShell = CreateObject(\"\"WScript.Shell\"\")\n";  
    script += "result = objWShell.Run(\"\" + cmd.replace(/\"/g, "\\\"") + "\", " + option + ", "  
+ strWait + ")\n";  
    script += "Set objWShell = Nothing\n";
```



```

script += "app.scriptArgs.SetValue \"result\",CStr(result)\n";
app.doScript(script,ScriptLanguage.visualBasic);
return app.scriptArgs.getValue("result");
}

//環境変数の展開
//引数 name : 環境変数を含む文字列 例"%TEMP%\test.txt"
//戻り値 : 環境変数の展開された文字列
function expandEnv(name){
    var script="";

    app.scriptArgs.setValue("result","")

    script += "Dim result\n";
    script += "Set objWShell = CreateObject(\"WScript.Shell\")\n";
    script += "result = objWShell.ExpandEnvironmentStrings(\"\" + name + "\")\n";
    script += "Set objWShell = Nothing\n";
    script += "app.scriptArgs.SetValue \"result\",result\n";
    app.doScript(script,ScriptLanguage.visualBasic);
    return app.scriptArgs.getValue("result");
}

//Windowsファイルシステム形式のファイル名を取得
//引数 name : InDesignマクロでのファイル名 例~/Documents/test/test.txt"
//戻り値 : Windowsファイルシステム形式のファイル名
function getWinFilename(name){
    var result="";
    var homePath = expandEnv("%HOMEDRIVE%%HOMEPATH%");

    result = File.decode(name);
    result = result.replace(/\/([A-Za-z])\/g, function(){return RegExp.$1 + ':'});
    result = result.replace(/\/g, "\\");
    result = result.replace(/~/g, homePath);
    return result;
}

```

附録：「契沖」のインストール

管理工学研究所によるかな漢字変換システム「松茸」（「契沖」に同梱）に、「正字・正かな」（いはゆる旧字・旧かな）の辞書を載せたソフトです（平成 30（2018）年販売終了）。平成 5（1993）年からあり、この種のソフトでは古参です。

開発者自身、「正字・正かな」を現代の生きた言葉として使つてをられる方です。ATOK の文語モード等と異なり、「正字・正かな」に新字・新かなが混じる事が少く、スムーズに入力可能です。残念ながら「松茸」は管理工学研究所による開発がストップしてしまいましたが、最近の OS での利用も、制限事項（64 ビット版アプリで使用不可等）はあるものの一応可能との事です。本書執筆時点では、Windows10 で動作検証済である旨、申申閣から告知されてゐます。

このソフトの特徴は「字音仮名遣（漢字の音読みの仮名遣）対応」である事です。つまり、同じ「コーイ」と読む単語でも、入力する仮名により

こうい……厚意

かうい……好意、更衣

かうゐ……行爲、高位、綱維

くわうゐ……皇位、皇威

と、それぞれ異なる候補が表示されます。

そして、「学習版」といつて、現代仮名遣いで入力すると自動的に歴史的仮名遣に直してくれる辞書もあります。

後述しますが、同梱の正漢字フォント「文字鏡契沖」も便利です。

また、申申閣では「正漢字」や「正仮名遣」による組版サービスも行つてゐました。本蘭明朝体（写研の電算写植機専用書体）による綺麗な出力でした。

■申申閣

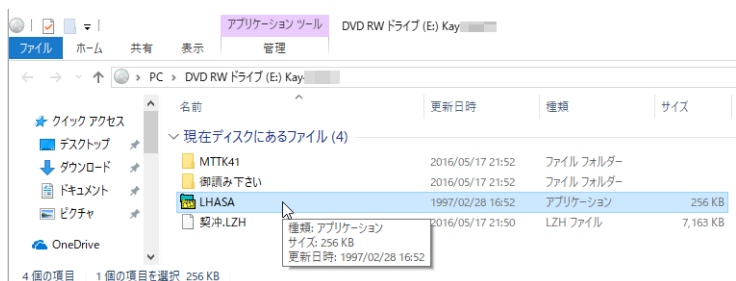
<http://www5a.biglobe.ne.jp/~keichu/>

附属マニュアルには Windows XP 以前の OS へのインストール方法の説明と、Vista ～ 10（32 ビット・64 ビット）での補足説明（別紙）がありますが、Windows 10 の 64 ビット版向けに、両方を一つにまとめて画面で詳しく説明したものを作成したので、次頁以降に掲載します。

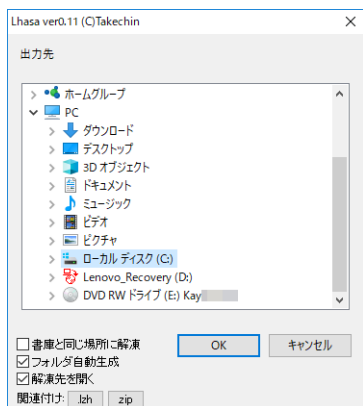




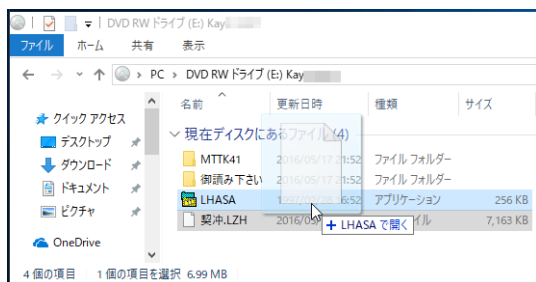
- ① 「契沖」のCDをPCに入れると、上記左のメッセージが表示されるのでクリックし、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択する（中）。
表示されない場合は、画面下の「エクスプローラー」ボタン（右）をクリックし、CDドライブ（機種により「DVD RW ドライブ」等別の表記の事も）を選択する。



- ② 「LHASA」のアイコンをダブルクリックする。



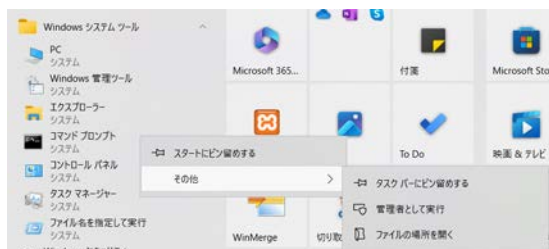
- ③ 「ローカルディスク (C:)」を選択して「OK」ボタンを押す。



④ 「契沖.LZH」をシングルクリック（ダブルクリックではない）し、一旦マウスボタンを離す。次に、「契沖.LZH」を「LHASA」のアプリケーションのある行までドラッグする。



⑤ C: ドライブに、フォルダ「契沖」が作成され、辞書ファイルやフォントファイルが入る。



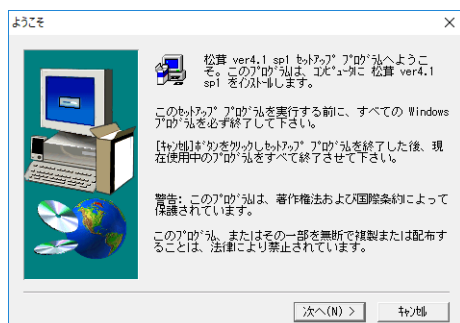
⑥ 管理者権限のあるコマンドプロンプトを開く。Windows10 ではスタートメニューから [Windows システムツール]-[コマンド プロンプト] を右クリックし [その他]-[管理者として実行]。

⑦ 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」の確認画面で「はい」を押すとコマンドプロンプトが表示される。

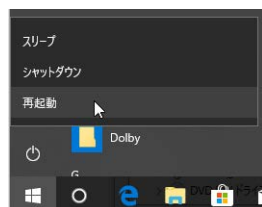


⑦ CD ドライブのドライブ名+「¥MTTK41¥setup.exe」と入力し [Enter] キーを押す。E: ドライブの場合は「E:\¥MTTK41¥setup.exe」。

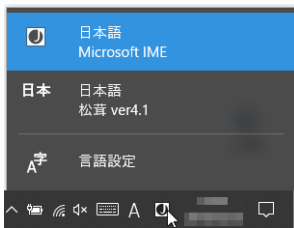
※ Windows10 の新しいバージョンや Windows11 では、「松茸」のやうな古いプログラムのインストールがブロックされる事があります。上で説明した通り、管理者権限を持つコマンドプロンプトからインストールプログラムを起動することで、ブロックを回避できます。



⑧ かな漢字変換システム「松茸」のセットアッププログラムが表示されるので指示に従ってインストールする。特に何もなければ、「次へ」や「はい」を選ぶだけで良い。

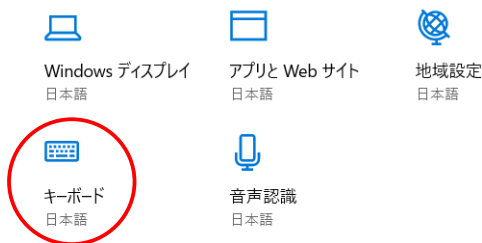


⑨ 「松茸」のインストールが完了したら、Windows を再起動する。



⑩ Windows が起動したら、通知領域（タスクトレイ）の「言語」アイコンをクリックし「言語設定」を選択する。

言語



⑪ 「キーボード」のアイコンを選択する。

← 設定

キーボード

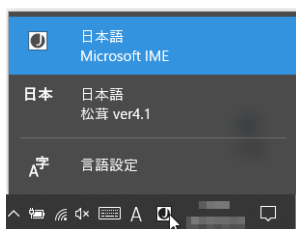
既定の入力方式の上書き

言語リストの最初の入力方式と異なる入力方式を使用する場合は、ここで選択します

日本語 - Microsoft IME ▼

⑫ 「既定の入力方式の上書き」で、「日本語 - Microsoft IME」（または ATOK、Google 日本語入力等、64 ビットアプリに対応した IME なら何でも良い）を選択する。

※松茸は 64 ビットアプリで動作しないので、既定の IME にはせず、正字正かな入力が必要な時のみ都度切り替えるようにする。



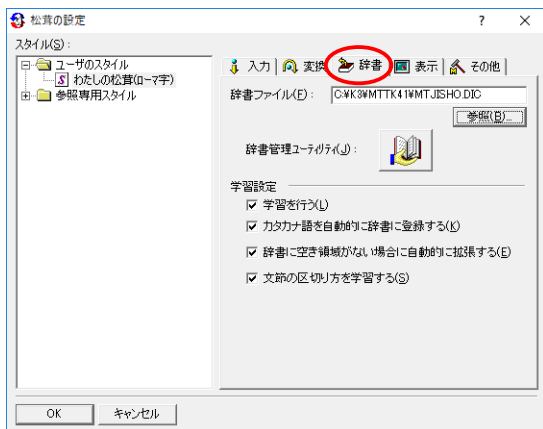
⑬テキストエディタやワープロソフト（32ビットアプリ）を起動し、通知領域（タスクトレイ）の「言語」アイコンをクリックし「松茸」を選択する。



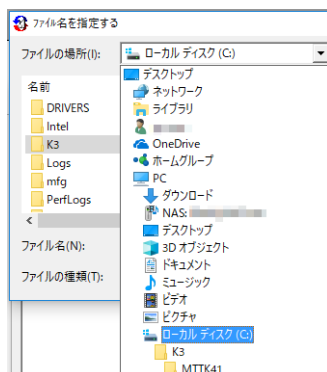
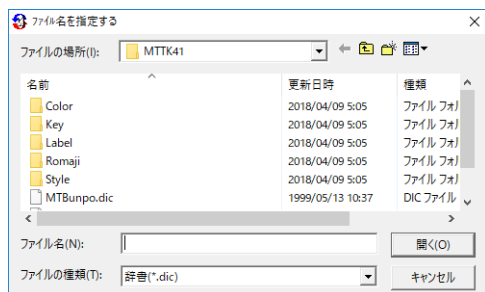
⑭すると、画面右下に「松茸ボタン」が表示される（左）。クリックすると入力モードの表示・変更が出来るボタンが表示される（右）。また、ドラッグして好きな場所に移動する事も出来る。



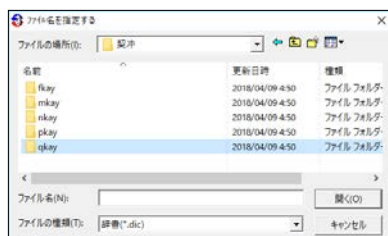
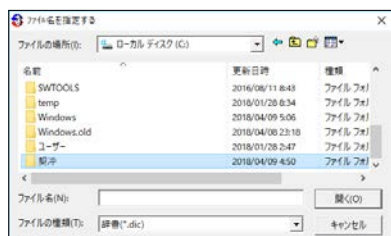
⑮同時に、画面下に「ファンクションバー」も表示される。松茸インストール直後は新字新かなの辞書になってゐるので、これから「契沖」附属の辞書に切り替へる。そのために、「設定」ボタンを押す（ファンクションキーの F5 でも可）。



⑯「松茸の設定」画面が表示されるので、「辞書」タブをクリックする（上）。次に、「辞書ファイル(F):」の右にある「参照(B)」ボタンを押す。

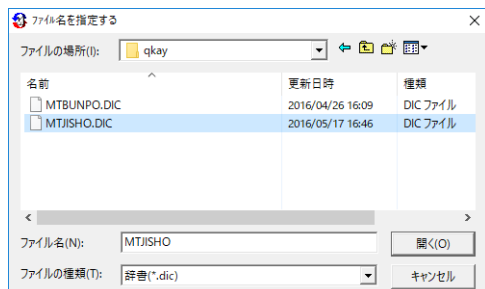


⑰ファイル選択画面が表示される（左）ので、「ファイルの場所 (I):」の右側のドロップダウンリストをクリックし、「ローカルディスク (C:)」を選択する。

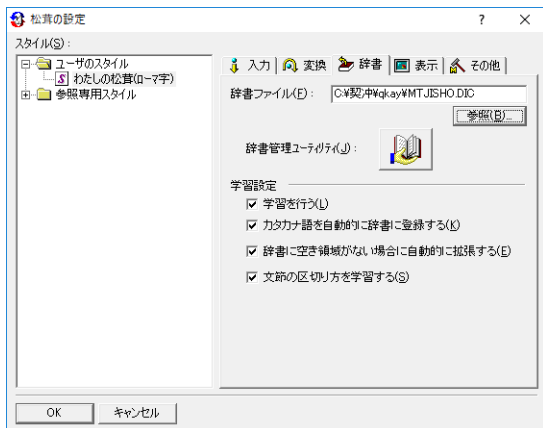


⑱「契沖」フォルダをダブルクリックし、使用したい辞書のフォルダをダブルクリックする。

フォルダ名	辞書名	漢字	仮名遣
mkay	常用漢字版	新字	正かなのみ
nkay	正漢字版	正字	正かなのみ
pkay	常用漢字学習版	新字	正かな・新かな
qkay	正漢字学習版	正字	正かな・新かな



⑲「MTJISHO.DIC」をダブルクリックするか、選択して「開く」ボタンを押す。



⑳ 「辞書ファイル (F:)」 に選択した辞書が指定された事を確認し、「OK」 ボタンを押す。後で辞書を変更する場合は⑬～㉑の手順でまた変更出来る。

せうがくかうにゐるといふ

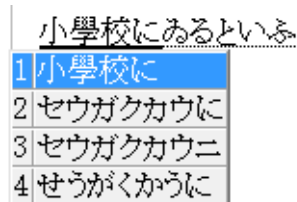
㉑ 歴史的仮名遣で文字を入力する。上の例の場合は

SEUGAKUKAUNIWI RUTOI HU

となる。つまり「ゐ」は「WI」、「ゑ」は「WE」で入力する。残念ながらかな入力で「ゐ」「ゑ」は入力出来ないので、ローマ字入力する（「やまぶき」「Dvorak」等のキーボード配列エミュレータにも残念ながら未対応）。

拗音・促音は大書きしても小書きしても大書きの変換候補が出る（ただし字音仮名遣の「わ」「ゐ」「ゑ」は必ず大書きする）。

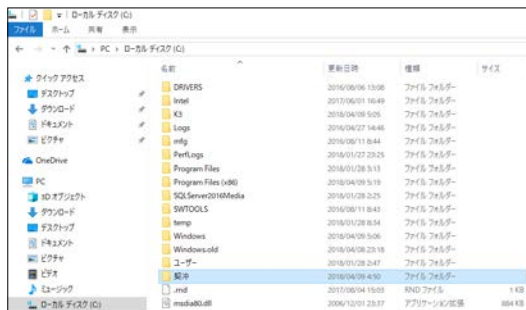
なほ、かな漢字変換のオン・オフは、「半角／全角」キー単独ではなく、「Alt」キーを押しながら「半角／全角」なので注意。



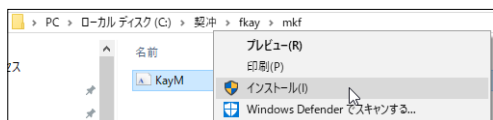
㉒ スペースキーを押すと漢字に変換される。



㊸なほ、附属の正漢字フォント「文字鏡契冲明朝」をインストールする事も出来る。その場合は、画面下の「エクスプローラー」ボタンをクリックし、「ローカルディスク (C:)」を選択する。



㊹「契冲」フォルダをダブルクリックし、その中の「fkay」フォルダをダブルクリックする。



㊺「KayM.ttf」(パソコンの設定によっては「KayM」とだけ表示されてゐる)といふ名前のファイルがあるので、右クリックし「インストール」を選択すると、フォントがインストールされる。

通信状況 通信状況

㊻上がMS明朝、下が文字鏡契冲明朝。一般的なフォントと異なり、JIS第一水準・第二水準の範囲内で書いても所謂康熙字典体で表示される。

附録：「Japanist」で旧字旧かな入力

昔、富士通のワープロ専用機で採用されてゐた「親指シフトキーボード」をご存じの方もいらっしゃるでせう。一般的なキーボードではスペースキーのある位置に、左手親指・右手親指用のシフトキーがあり、そのキーとの組合せにより、小書きのものや濁音付きのものを含め、かなをキーボード三段分にうまく収めてあり、素早い入力を可能にしています。

富士通から発売されてゐる、Windows 用のかな漢字変換システム「Japanist」（2021 年販売終了）には、Windows 用の一般的なキーボードの「無変換」「変換」キー（またはスペースキーも割当可）を親指シフトキーとして使用する「快速親指シフト」のモードがありました。また、富士通から発売されてゐた、物理的に親指シフトキーのある Windows 用キーボードにも対応してゐるやうです。

Japanist では、「八行四段活用動詞」の単語登録が出来るので、旧字旧かな変換辞書の移植が可能です。ここでは、野嶋氏による「Google 日本語入力用正字正せいじせいかな辞書じしょ」を Japanist に移植したものをインストールする方法を紹介します。

■餅辞書 Japanist 版

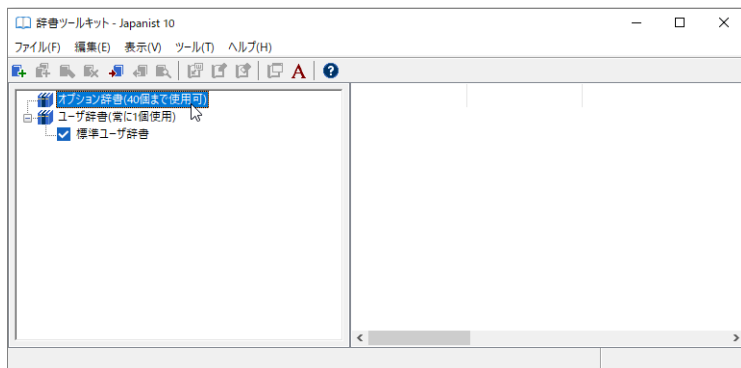
<https://osito.jp/minkana/ime/mochidic/>



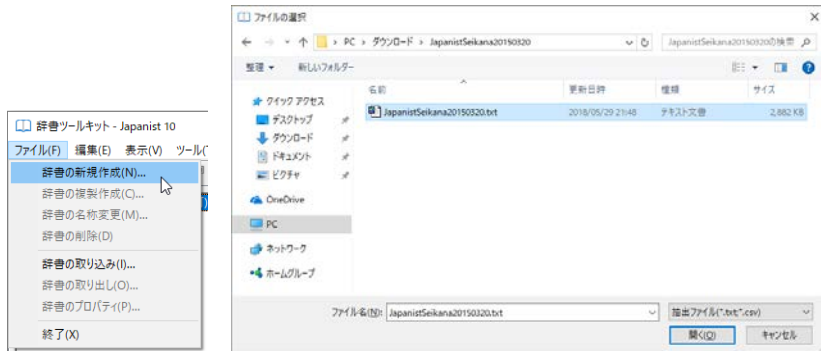
①辞書ツールキットを呼び出す。Japanist10 の場合は通知領域の「入力モード」

アイコン（「あ」等と表示された部分）を右クリックし、「辞書ツールキット」を左クリックする（左）。Japanist2003 では、IME のツールバーにある「辞書ツールキット」のアイコンを左クリックする（右）。

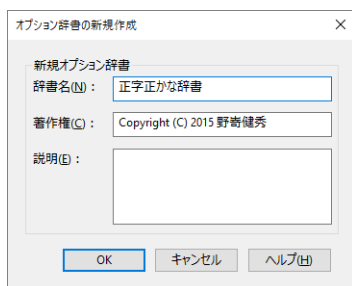
ここから先は、Japanist10 と Japanist2003 でほぼ同じ操作になるので、Japanist10 の画面で説明する。



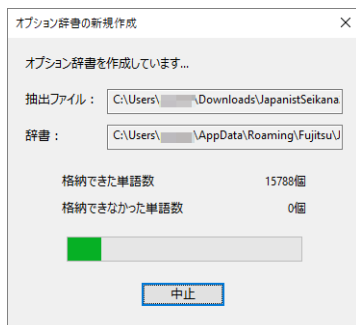
②「オプション辞書」をクリックして選択する。



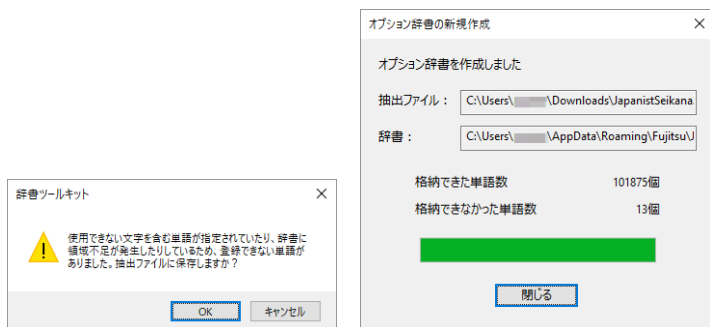
③ファイル (F) > 辞書の新規作成 (N)... を選択する。あらかじめダウンロード・圧縮ファイルの展開（解凍）をしておいた「餅辞書 Japanist 版」のテキストファイルを選択する。



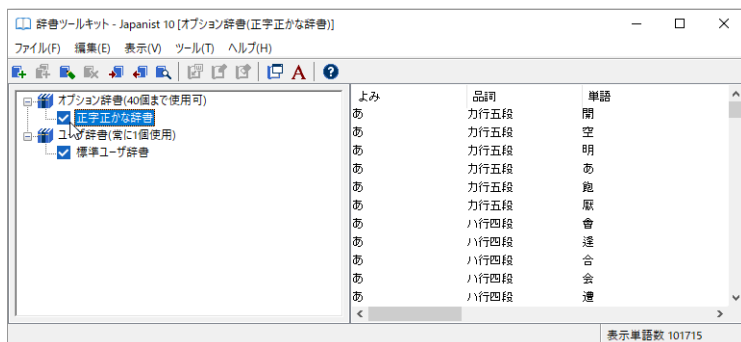
④任意の辞書名を付け（必須ではないが必要ななら「著作権」「説明」にも入力可能）、OK ボタンを押す。



⑤辞書ファイルに単語が取り込まれるので、しばらく待つ。



⑥「登録できない単語がありました」と出る場合があるが、必須の単語ではないので「キャンセル」を押して無視して構はない（もしどの単語か知りたければ「OK」を押して、未登録単語の一覧をテキストファイルに出力する事も可能）。「オプション辞書を作成しました」のメッセージが出たら、「閉じる」ボタンを押す。



⑦「オプション辞書」に、④で付けた名前の辞書が追加されるので、辞書名の左にチェックを付けて、辞書を有効にする。

歴史的仮名遣

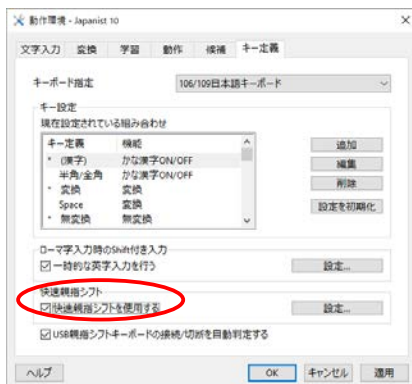
- 1 假名遣ひ
 - 2 假名遣
 - 3 仮名遣
 - 4 かなづかひ
 - 5 仮名遣ひ
 - 6 仮名づかひ
 - 7 カナヅカヒ
 - 8 カナヅカ
- 2/8

⑧ワープロソフト等で、歴史的仮名遣の文字入力テストをする。上の例の場合は
 REK I S I T E K I K A N A D U K A H I （ローマ字入力）
 れきしてきかなづかひ （JIS かな入力・親指シフト入力）
 となる。なほ、「ゐ」「ゑ」の入力は JIS かな入力・ローマ字入力・親指シフト入力とも未対応なので「うい」「うえ」で代用する。

※キーボード配列エミュレータを併用する事で、親指シフトでも「ゐ」「ゑ」が直接入力可能になります（一部ソフトでは未対応）。詳しくは以下のサイトをご覧下さい。キーボード配列エミュレータ「やまぶき」と組合せて [右シフト] + [Z] で「ゐ」、[右シフト] + [Q] で「ゑ」を入力出来る定義ファイルを配布してあります。

■コンピュータで正字正かな入力>キーボード配列エミュレータ

<https://osito.jp/minkana/ime/#kbdemu>



「文字入力」タブにある「ローマ字/かな」を「かな」にし、「キー定義」または「キーボード」タブにある「快速親指シフトを使用する」にチェックを入れると、親指シフト入力が可能になる。



100 附録：「Japanist」で旧字旧かな入力

附録：EDICOLOR での旧字入力

2016 年に販売終了しましたが、新聞の組版等に使用されてゐたソフトです。

まず、対象箇所のフォントを Adobe-Japan 1-4 以降対応のフォントにして下さい。

■手動で字形変更

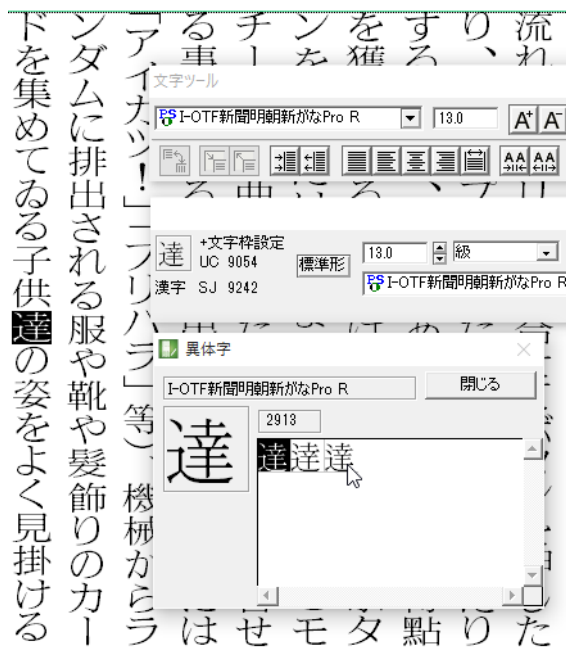
- ① [F9] キーを押すか、メニューの 表示 > ステータスパレットの表示 で、ステータスパレットを表示
- ② 文字枠の中の、旧字にしたい文字を選択
- ③ Unicode やシフト JIS での文字コードの表示
されてゐる右側に「標準形」とある部分をクリック
(標準形以外のものを選んだ後は、この部分には CID が表示されます。)
- ④ 適切な字をダブルクリック

■異体字セレクト付き Unicode テキストを貼り付け

このソフトでは、残念ながら出来ない様です。

■「正字君」で出力したタグ付きテキストの読込

- ① 「正字君」で作成したタグ付きテキストをテキストエディタに張り付け、テキストファイルとして保存
- ② 貼り付け先の文字枠を選択し、貼り付け先にカーソルを移動
- ③ InDesign のメニューの ファイル > テキスト取込、②のファイルを選ぶ



附録：文書サンプル

私の作成した同人誌から、旧字旧かなや新字旧かなで版を組んだ例を幾つか紹介します。

間違ひを恐れるな

外国語學習では「間違ひを恐れるな」とよく言はれる。

發音や文法の間違ひを恐れて一言も言ひ出せない、一言も書けないではいつになつても上達しない。特に最初は「間違つて當然」くらゐに構へた方が良く、それを日々訂正していきながら慣れていくもので、それが上達の早道である。

正字や正かなも「間違ひを恐れるな」が合言葉なのは語學と同じである。間違ひへの恐れなんて捨てて、先づ使つてみる事。誤りがあつてもその都度訂正して憶えていけばいい。私も當初は讀むには讀めても、いざ書くとなると最初は間違つてばかりだったが、特に本誌の原稿を書いていくうちに段々慣れていつたのを思ひ出す。いつやるか？
今でしょ！（押）

「正かなづかひ 理論と實踐 第5號」 48頁（旧字旧かな）
まづは短い文章からでもいいので、思ひ切つて始めてみませう。

スマホでも正字正假名を

押井徳馬

正字正假名を愛する人は、コンピュータのかな漢字変換システムで正字正假名を入力出来るやう設定してゐる事が多いと思ふ。しかし多くのスマートフォンやタブレット端末では、「ユーザー辞書の登録に制限がある」「ハ行四段活用動詞の登録に對應してゐない」「フリック入力で『ゐ』『ゑ』が入力出来ない」といふ弱點があり、正字正假名入力を諦める事が多かった。

字認識辞書にないのか、候補に出て来ない」といふイラ／＼もほとんど無い。その分、思ひのまゝ入力出来るのだ。私は三年以上前に出た非力な端末にインストールして使つてゐるのだが、それでも「動作が重い」と感ずる事なく、快適に動作してゐる。Androidスマートフォンやタブレット端末をお持ちの方は、是非一度お試しを。

そんな中、嬉しい知らせがあつた。Android端末向けの「Google 手書き入力」がリリースされたのだ。Google Play からダウンロードして實際に使つてみると、意外や意外、正字正假名入力が非常に捗る。かな入力して漢字に變換するのではなく、かなも漢字も直接手書きしなければならぬが、從來の他社から出てゐた手書き入力ソフトとは異なり、「ひ」「ゐ」を勝手に「い」「る」に補正したり、正字を新字に補正したりといふ「餘計なお世話」が省略されてゐる。「非常に正確な形で正字を書かないとなか／＼認識してくれない」「正字を書いても文



事はありません。正字正かなの祖父母の蔵書を「わあすごい」と言ひながらペラペラめくる事ありません。歴史的假名遣に接するのは國語の古文の授業だけで、現代文の歴史的假名遣の存在など知りません。夏目漱石や芥川龍之介も現代假名遣に變へられた版しか見た事が無いので、「戦前は文語文は旧仮名遣で、口語文は最初から新仮名遣だった」と誤解してゐる人さへあります。決して少くない人々が新字新かなに抵抗して正字正かなを使ひ續けてきた歴史も忘れられつゝあり、「現代仮名遣いは戦後の民主化政策の一環で自由の象徴」「歴史的仮名遣から現代仮名遣への移行はバトンリレーのやうにスムーズに平和裡に行われた」と思ひ込んでゐる人ばかりです。

歴史的假名遣で現代文を書く人々は、昔も今も非難される事がありました。最近はその内容も變つてきたのを感じます。「現代人として、現代仮名遣いを使うのが当然だ」の類は昔からよく聞いたものですが、「歴史的仮名遣は文語体の古文の為のもので、口語体の現代文を書くのは日本語として変だ」などと云ふ主張は、かつてあまり聞かなかつたものです。正字正か

なで書く人を「最新の教養に附いていけない、遅れた知識の持ち主」と見下す態度の代りに、「旧字旧仮名で書いて見せびらかすのは術学的だ、知識のひけらかしだ」の類の非難を受ける事が多いのも新しい傾向です。「デザインが古風なのに屋根も壁も天井もピカピカの新しい建材だらけなのは変だ」とか「大正当時の姿に戻すなら、自動改札も新幹線も廃止して硬券や蒸気機関車に戻せ」等と無粋な事を言ふ人が殆ど居らず、本來の姿を取り戻した事を純粹に喜ぶ人ばかりだつた、丸の内驛舎の復原。東京驛は「二階建てに八角形の屋根」が「當然」と思ひ込み、大正當時の姿に復原する意味がわからない、と思ひ込んでゐた戦後生まれの人々も、實際に復元工事が完了すると、これまで知らなかつたその姿に惚れ込んで仕舞ひました。

この復原工事とは、單に「昔の姿に戻す」だけではなく、設計者である辰野金吾の「日本の鐵道の玄關口はかうあるべきだ」と云ふ思想を再び具現化し、後世に傳へていく事でもあるのかも知れません。

本文 暫定正字明朝 15Q (10・5ポイント相當)
文字數×行數 24×20 ※新字はIPA明明朝

舊假名を知らない子供たち

押井^{おしゐ} 徳馬^{とくま}

先日、東京驛丸の内驛舎の見物に出掛けて来ました。

約七十年ぶりに大正當時の三階建とドーム屋根の姿に復原された東京驛。路上にも驛舎内にも大勢の見物客がゐました。戦前の姿を知る年配の観光客が多いかと思ひきや、意外な事に、どこを見ても二十代前後の若者達が半分位を占めてゐて、スマートフォンや一眼レフカメラを手に寫眞を撮つたり、装ひ新たにした驛舎の完成を祝福するかのやうに、嬉しさうに聲を上げながら眺めてゐる姿をあちこちで見掛けました。

戦後生れの人々にとつて、大正當時の姿の丸の内驛舎とは、白黒寫眞といふ「手を觸れる事の出来ない、二次元空間内の存在」に過ぎなかつただけでなく、「二階建てに八角形の屋根」が「東京驛として當り前の姿」だと長らく思ひ込んでゐたものです。しかし、ドーム屋根の三階建てが三次元空間の實際の建物として蘇つた今、「これまで見てゐた驛舎は飽くまでも假の姿で、

本來はこんな姿だつたんだ！」と驚いただけでなく、大正時代の設計なのに「古びてゐる」印象など殆ど無く、今なほ「高級感」を感じるデザインなのが何とも新鮮でした。

さて、「歴史的假名遣が現役で使はれてゐる姿」も、東京驛丸の内驛舎の本來の姿と同じく、次第に忘れ去られようとしてゐます。

私のやうな團塊ジュニア世代だと、祖父母が「舊字舊かな」を日常的に用ゐる姿を見るのは、決して珍しい事ではありませんでした。年配の人が經營してゐる商店では、店内の掲示が正字正かなになつてゐるのは時々見掛ける風景でした。私の祖父も一生涯正字正かなで書き續けてきた人で、家族宛の手紙となると、所々に變體假名も混ざつた達筆の草書で書かれてゐるのを、母が「解讀」しながら讀むといつた具合でした。しかし、今では祖父母も戦後教育世代といふ人が多くなりました。昔のフォークソングの題名を振つて云ふなら「舊假名を知らない子供たち」です。「元々はかう書くんだ」と、祖父母が正字や正かなを教へてくれる

正假名漫画

熊

の

ズ

ボ

ラ

飯



〈お揚げ〉

材ニ 油揚げ

人 出汁(カツオコンブ)

100 ml

2枚

料(前) 砂糖

大サジ1杯

1杯

淡口醤油

1杯

1杯

〈うどんのつゆ〉

出汁(カツオコンブ)

400 ml

(水 400 ml + だし 400 ml)

日本酒

大サジ1杯

淡口醤油

1杯

※うどん、ネギやカマボコ等の具も必要

お揚げを炊いて
お湯を捨てる
それを三面位
繰返します(油抜き)



「ニャ」
「フ」
「シヤキン」
「空気が抜けて
ニャ〜に
なると
味がしみます
のです」

⑤ 出汁と

砂糖

をいれ

落しみてをし

炊く事十分

※保温調理鍋があると便利!



豆知識

この漫画に正字と略字が混在するのは、戦前の手書き文字の實態(略し方は飽くまでも一例)を再現したため。

或る月夜

押井徳馬

瞬く星影　蒼き月　憂ふ心を　たゞ照らす

煌く細波　海風も　悩む心を　ざわめかす

翼有れども　飛べぬ身を　思うて泪　一滴

小鳥唄ひて　夜は明けぬ　後には眞紅の　花一輪

参考文献

TeX Wiki

<https://texwiki.texjp.org>

関聯ソフトの紹介、導入や使用方法、和文独特の機能等。

安岡孝一『Adobe-Japan1-6 と Unicode —異体字処理と文字コードの現実』

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390001205474625152>

巻末に Shift-JIS/Unicode/CID の対応表あり。

The Adobe-Japan1-7 Character Collection

<https://github.com/adobe-type-tools/Adobe-Japan1>

Adobe-Japan 1-7 の詳細と収録文字の一覧。(英文)

小形克宏の「文字の海、ビットの舟」——文字コードが私たちに問いかけるもの

<http://internet.watch.impress.co.jp/www/column/ogata/>

文字コード改定の歴史や、それにまつはる問題について扱ふ。

国語施策・日本語教育（文化庁）

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/

国語表記の基準、国語改革の歴史に関する資料等。国語審議会の議事録も。

言葉 言葉 言葉

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~w3c/kotoba/>

国語改革の問題をまとめたサイト。作者は戦後の国語改革に反対する立場。

新しい国語表記ハンドブック【第六版】（三省堂、2013 年）

常用漢字表（対応する正字体は字形差の大きなもののみ掲載）、常用漢字の筆順、同音異義語の使い分け、「同音の漢字による書き換え」、人名用漢字、現代仮名遣い（歴史的仮名遣との対応も）、公用文作成の手引き、ローマ字表、外来語表記、表外漢字字体表等。

楷行草 筆順・字体字典 第三版（江守賢治、三省堂、2018 年）

書道的な楷書体の伝統（戦前の学校教科書の楷書と一部異なる）を基準として、楷書・行書・草書での筆順や字体を解説。楷書で旧漢字を書く際の参考にもなる。

日本語大博物館（紀田順一郎、ちくま学芸文庫、2001 年）

活版印刷、写植、謄写版、和文タイプ、ワープロ、カナ文字運動、ローマ字国字論、人工文字、漢字廃止論、横書きといった近・現代の日本語にまつはる逸話を、豊富な図版と共に紹介する。

増補版 私の国語教室（福田恆存、新潮文庫、1975 年）

現代かなづかいや漢字制限の弊害を説いたり、歴史的仮名遣の原理や覚え方、国語改革の歴史について扱ふ。なほ、文春文庫として 2002 年に復刊された。

旧かなを楽しむ（萩野貞樹著、二見レインボー文庫、2015 年）

不便だと見られがちな旧仮名にも、特に和歌や俳句では利点がある、それなら日常の文章にも便利ではないか、と説く。仮名遣の覚え方も掲載。

国語改革を批判する（丸谷才一編著、中公文庫、1999 年）

六人による共著。戦前戦後の国語改革の経緯、漢字廃止論への反論と漢字の擁護、歴史的仮名遣にまつはる体験談、国語改革のもたらした弊害等について語る。

横書き登場（屋名池誠、岩波新書、2003 年）

元々縦書きだった日本語に、いつから横書きが取り入れられたのかに関する歴史を、豊富な図版と共に解説する。

かなづかい入門（白石良夫、平凡社新書、2008 年）

現代仮名遣いを擁護し、「歴史的仮名遣いは国語の伝統ではない」と結論付ける意見の参考として。参考までに、著者は元文部省国語調査官とのこと。

漢字の未来（野村雅昭、三元社、2008 年）

「日本語から漢字をなくすべきだ」とする意見の参考として。参考までに、著者はかつて NHK 放送用語委員や、83JIS の改定に関はつてゐる。

百漢字 正字

據 拠 096	亂 乱 091	處 処 086	顯 顕 081	收 収 076	狀 状 071	點 点 066	豫 予 061	獨 独 056	肅 肃 051
擔 担 097	圍 囲 092	圖 図 087	假 仮 082	敍 叙 077	兩 両 072	與 与 067	餘 余 062	縣 県 057	數 数 052
缺 欠 098	歸 帰 093	兒 児 088	體 体 083	爲 為 078	產 産 073	參 参 068	罐 缶 063	價 価 058	戀 恋 053
盡 尽 099	對 対 094	寫 写 089	寶 宝 084	曉 暁 079	乘 乗 074	從 従 069	畫 画 064	聽 聴 059	變 変 054
晝 昼 100	稱 称 095	臺 台 090	當 当 085	遲 遅 080	拜 拝 075	將 将 070	舊 旧 065	藏 蔵 060	爭 争 055

← 使用頻度が高いが初見殺しの字

この表は正字のうち百字を厳選したもので、すべて網羅したものではありませんが、憶えると大半の字が読めるようになります。

新字一覽表

區 区 046	淺 浅 041	燈 灯 036	樂 楽 031	邊 辺 026	號 号 021	廣 広 016	傳 伝 011	澤 沢 006	氣 気 001
澁 渋 047	權 権 042	榮 栄 037	禮 礼 032	齊 斉 027	證 証 022	國 国 017	賣 売 012	驛 駅 007	學 学 002
攝 摂 048	檢 検 043	嚴 厳 038	來 来 033	實 実 028	發 発 023	會 会 018	讀 読 013	濱 浜 008	醫 医 003
齒 歯 049	雜 雑 044	單 単 039	佛 仏 034	壽 寿 029	萬 万 024	鐵 鉄 019	經 経 014	聲 声 009	關 関 004
斷 断 050	碎 碎 045	譽 誉 040	總 総 035	圓 円 030	眞 真 025	藝 芸 020	應 応 015	團 団 010	櫻 桜 005

現代も固有名詞等で見慣れた字

企畫・制作 國語問題協議會

<http://kokugomondaikyo.net>



頒布 はなごよみ

<https://osito.jp>





PC・スマートフォン・タブレット端末でも読める
PDF 版もダウンロードできます（無料）。
<https://eb.osito.jp/mf1a/>

著者プロフィール

文芸同人「はなごよみ」主宰。

「オタク」「非モテ」「旧字旧かなで現代の言葉を書く人々」など、社会で仲間外れにされがちな人々にスポットライトを当てて応援する内容の冊子を発行し続ける。特に最後については、商業出版では新字新かなに直さないと掲載自体が拒否される事が多い中で、全頁歴史的かなづかひ（記事によつては漢字もいはゆる「旧漢字」）による文芸同人誌『みんなのかなづかひ』を毎年発行。

また、1946 年の「当用漢字表」「現代かなづかい」に始まる国語改革の問題点を指摘し、それ以前の表記（いはゆる「旧字旧かな」）の良い部分に学ぶ事を勧める団体「国語問題協議会」の常任理事も務める。

コンピュータによる 旧字旧かな文書作成入門 (2024 改訂版)

平成 27 (2015) 年 10 月 25 日 初版発行
令和 6 (2024) 年 6 月 8 日 第八版発行

著者： 押井 徳馬
(国語問題協議会常任理事)

発行： はなごよみ
<https://osito.jp>
hanagoyomi.r1@osito.jp
Twitter ID: @hngymdojin

印刷所： 株式会社ポプルス
<https://www.popls.co.jp>

旧字旧かなの「読取専用フラグ」を外してみませんか

「普段は新字新かなだが、**戦前文献の引用文**だけは旧字旧かなで書きたい」

「短歌や俳句をはじめ、旧字旧かなを**現代の現役の表記**として残したい」

旧字や旧かなを選ぶ人の立場はそれぞれでも、いざ本を出すとなると一苦労。

従来は、旧字旧かなで本を出す事に理解のある出版社、旧字の活字がある印刷所、旧字や旧かなを十分理解する校正者を探すだけでも大変でした。

しかし現代はDTP (DeskTop Publishing) 、つまりパソコン上で印刷原稿を作る時代。

旧字旧かな入力に対応したIME、旧字に対応したフォント、個人でも安価に利用できる印刷所が登場し、旧字旧かなの本を作るハードルは年々下がりつつあります。**今や最大のハードルは、「技術的制約」ではなく「大人の事情」です。**

さあ、勇気を出して科学技術を活用し、国語を更に豊かにしてみませんか。

